DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

GHQ/SCAP Records (RG 331, National Archives and Records Service)

Description of contents

(1) Box no. 2818

(2) Folder title/number: (6) (end)
No Title

(3) Date: Nov. 1942 - June 1951

(4) Subject:

Classification	Type of record
750, 9750	t

(5) Item description and comment:
Japanese Publications

(6) Reproduction: * (Yes) No

(7) Film no. Sheet no.

(Compiled by *National Diet Library*)

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

主内容

1面 生動する醫藥（親水軟膏とは）
2面 ニュースフラッシュ・斜視正視
3面 ニュースフラッシュ
4面 新藥講座（醗梅酮の巻）
5.6面 新藥局方本文（第9回）
7面 週間商況（道修町）・商況ニュース
8面 大阪市場相場（醫藥品）

藥業新聞

發行所 藥業新聞社 大阪市東區川口木川岸之町1の36 電話日本大阪89550番

東京支局・東京都文京區小川町10番地
中京支局・名古屋市中區下園町4丁目地
北陸支局・金澤市橋場町
神戸支局・神戸市葺山町35番地
九州支局・福岡市上小山町56番地

昭和26年6月2日發行 June, 2 1951 WEEKLY DRUG NEWS

（毎土曜日發行） 昭和21年9月5日第3種郵便物認可 昭和24年2月25日運輸省特別扱藥業新聞紙第209號 No. 267

膏藥界の革命兒

生動する

親水軟膏とは

★Hydrophilic Ointment

軟膏類即ち基礎膏については最近革命が來たといわれている

膏藥外用療法が皮膚科においては有力な治療法であることは今も昔も變りはないのであるが、從來使用されてきた膏藥療法は、主として油性の基礎膏を主としたものであつて、チンク油、泥膏、軟膏を代表的なものとするものであつた、これらの基礎膏は四〇年前に故上肥慶藏先生がその使用法を確立されて以來今日までほぼそのまま踏襲されてきたのである、しかし、これらの基礎膏の欠點とする所は、油性であるため、塗布したとき何ともいえぬ不快感があり、また滑式にオリーブ油やベンジンを使用しても完全にこれを除去することは不可能で、皮膚に廣く薄層として擴散せしめるにすぎないことが多く、そのためかえつて病氣の治療を遷延せしめたり、或は所謂軟膏皮膚を招來したのである、また衣類や夜具を汚したり、繃帶材料はこれを被うに多量を要しかつ再生しようとすると多大の勞力を要し、いわば極めて始末の惡いものであつた

これら油性の基礎膏から脫却して、水で容易に洗い落すことができ、衣類や寢具を汚染することもなく、美容上でもすぐれており、かつ治療的効果もまさる新しい型式の基礎膏を得んとする研究が今次大戰中から戰後にかけて、主としてアメリカで急速に發達してきた、その所産が親水軟膏Hydrophilic Ointmentであり、ポリエチレングライコール（カーボワックス）Polyethylene Glycol (Carbowax)やCMC（Carboxymethylcellulose）等である、このうちHydrophilic Ointment及びPolyethylene glycolは既にアメリカ藥局方に收載されており、前者、すなわち親水軟膏は第六改正日本藥局方にも收載されている

★軟膏の理想的條件

水できれいに洗い落せる軟膏、これは確かに軟膏としては革命的なものに違いない、一体軟膏はどんな條件を備えていれば理想的かというと、一九二二年ゴロデッツが擧げたのによると次の通りである

①それ自身が皮膚に對して全く無影響であり、無刺戟性であり、且つ無色、無臭で長時間その性質が不變であること

②種々の藥劑をその中に均等に保持し、しかも、その間に藥劑の性質や効力に影響を與えないこと

③適當な粘稠度、硬度をとりうること

④基礎膏はその中に含有する藥劑を無變化のまま皮膚に與える役目——つまり藥劑滲透能力にすぐれていなければならない

⑤吸水性を有すること

この基礎膏の必要條件中「吸水性」ということは、最近前揚の新しい基礎膏を生み出したもとになることであつて、これについてはいろいろと研究が行われている、この吸水性ということは、脂肪が水と均等に混じることであつて、既に無水ラノリンにおいてこの現象が認められている、この吸水性は吸濕性の物質が水を吸い込んだら、これに溶けこんで水分を離さないのと違い、容易に水分を離すというものである、とにかく水と油がまじるのであるから、吸水性には乳化という問題が必然的に入つてくる、從つて乳化劑も新しい基礎膏には問題となつてくるのである

★わが國の研究成果

わが國では昨年來東大皮膚科北村包彥教授を中心とする研究グループがこの基礎膏の問題の研究にあたり今春の日本醫學會皮膚科學會において同教授はその研究成果を宿題報告として發表され、斯界に大きな反響を捲き起し、軟膏界に革命來るの感を深からしめた

北村教授らの研究は數多の軟膏乃至ローションに關する研究グループがこの基礎膏の問題の研究にあたり今春の日本醫學會皮膚科學會において同教授はその研究成果を宿題報告として發表され、斯界に大きな反響を捲き起し、軟膏界に革命來るの感を深からしめた

北村教授らの研究は數多の軟膏乃至ローションに關する、從つて乳化劑も新しい基礎膏には問題となつてくるのである

★わが國の研究成果

わが國では昨年來東大皮膚科北村包彥教授を中心とする

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

薬界の革命児

軟膏と親水軟膏

動

イコール(カーボワクス) Polyethylene Glycol (Carbowax) であり、CMC (Carboxymethylcellulose) 等である、このうち Hydrophilic Ointment 及び Polyethylene glycol は既にアメリカ薬局方に収載されており、前者、すなわち親水軟膏は第六改正日本薬局方にも収載されている

★軟膏の理想的條件

水できれいに洗い落せる軟膏、これは確かに軟膏としては革命的なものに違いない、一体軟膏はどんな條件を備えていれば理想的かというと、一九一二年ゴロデツツが擧げたのによると次の通りである

①それ自身が皮膚に對して全く無影響であり、無刺戟性であり、且つ無色、無臭で長時間その性質が不變であること

②種々の藥劑をその中に均等に保持し、しかも、その間に藥劑の性質や効力に影響を與えないこと

③適當な粘稠度、硬度をとりうること

④基礎軟膏はその中に含有する藥劑を無變化のまま皮膚に與える役目——つまり藥劑運搬能力にすぐれていなければならない

⑤吸水性を有すること

す

★わが國の研究成果

わが國では昨年來東大皮膚科北村包彦教授を中心とする研究グループがこの基礎膏の問題の研究にあたり今春の日本醫學會皮膚科學會において同教授はその研究成果を宿題報告として發表され、斯界に大きな反響を捲き起し、軟膏界に革命來るの感を深からしめた

北村教授らの研究は數多の軟膏乃至ローションに關するものであるが、とりわけ親水軟膏は同教授らが眞先に手がけられたものであり、既に各所で試驗的乃至實際に使用されているようであるから、ここに親水軟膏を採り上げ、若干の解說を附することとする

親水軟膏といつても、親水性を有する軟膏ならばどれでも親水軟膏であるべきわけであるが、ここでいう親水軟膏は市販されている日本藥局方親水軟膏のことである

る

この基礎膏の必要條件中「吸水性」ということは、最近前揭の新しい基礎膏を生み出したもとになることであつて、これについてはいろいろと研究が行われている、この吸水性ということは、脂肪が水と均等に混じることであつて、既に無水ラノリンにおいてこの現象が認められている、この吸水性は吸濕性の物質が水を吸い込んだら、これに溶けこんで水分を離さないのと違い、容易に水分を離すというものである、とにかく水と油がまじるのであるから、吸水性には乳化という問題が必然的に入つてくる、從つて乳化劑も新しい基礎膏には問題となつてくるのである

★わが國の研究成果

わが國では昨年來東大皮膚科北村包彦教授を中心とする研究グループがこの基礎膏の問題の研究にあたり今春の日本醫學會皮膚科學會において同教授はその研究成果を宿題報告として發表され、斯界に大きな反響を捲き起し、軟膏界に革命來るの感を深からしめた

北村教授らの研究は數多の軟膏乃至ローションに關するものであるが、とりわけ親水軟膏は同教授らが眞先に手がけられたものであり、既に各所で試驗的乃至實際に使用されているようであるから、ここに親水軟膏を採り上げ、若干の解說を附することとする

親水軟膏といつても、親水性を有する軟膏ならばどれでも親水軟膏であるべきわけであるが、ここでいう親水軟膏は市販されている日本藥局方親水軟膏のことである

醫

★その特質

さて親水軟膏の優秀性は以上述べてきたところでも若干うかがわれるが、これを要約すると、次の通りである

①親水性を有するため、皮膚面に密着し易いばかりでなく、リンパ液中にも容易に侵透するから、主藥の効力を迅速且つ的確に發揮することが出來るとともに、主藥の用量を從來の用量の五分の一乃至三十分の一に節約することができる

②汗、その他水性分泌液を吸收、蒸發させるので、皮膚を冷却し、消炎、止痒の効がある、また泌物を皮膚面に貯留させないため、二次的感染を防止することができる、たとえ水分が蒸發しすぎても適度の脂肪分が殘つて粘滑劑となり、快い皮膚保護劑になる

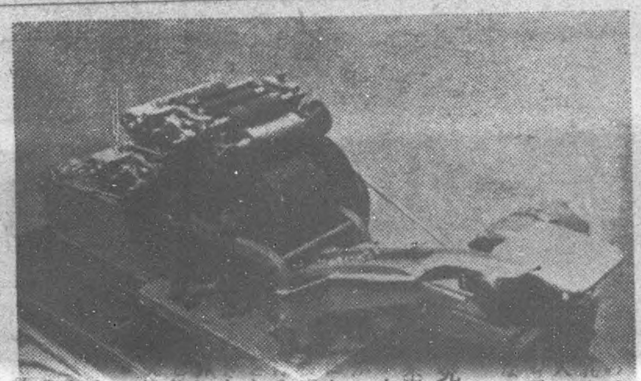
③本劑は分解し易い植物油を含んでおらず、しかもほとんど中性であるから、安定度が極めて大きい

④衣服や寢具を汚染することなく、清潔で、爽凉感が強く、しかも冷水で清拭することが出來るばかりでなく、本劑自身外觀がバニシングクリーム狀で美容的價値を多分に有している

親水軟膏は以上のような長所をもち、多方面への應用があるが、しかし從來の軟膏を全部親水軟膏で置きかえてよいものではない、例えば分泌物の少いもの及び分泌物のない初期の皮膚疾患の治療には卓効があるが、糜爛及び潰瘍期のものには不適であり、また本劑と硼酸またクリサロビンとの配合は中毒を起すとされている

とにかく親水軟膏はまだ日本には紹介されたばかりといつてもよい位であり、今後その本質が明確に把握されるとともにその使用法、適應範圍も確立され、新しい型の軟膏の先驅として今後の普及が期待されるものである（F・S）

☆ ☆ ☆



日誌

十八日 ★ゼネストに關する三回總會を開き軟膏より申入の卸販賣否決 ★日本いしゃ會の第六回總藥クラブで開水

U. S. MEDICAL NEWS

新しいアストリンゼント

(J. Am. Pharm. Assoc. Sci. Ed. 39, 663 (1950).)

進歩せる優秀な新收斂劑（アストリンゼント）の發明に苦心の研究をつづけているジョン・E・クリスチヤン，グレン・L・ジエンキンスの兩氏は，一連のアルミニウム・アルキル・二硫酸塩を合成しその性能を試驗した。これらの中で，アルミニウム・メチオネートは最も滿足すべき成績をしめし，今日，制汗收斂劑として用いられている他のアルミニウム塩よりもはるかに優秀なことがわかつた。

アルミニウム，メチオネートは，カルシウム・メチオネートと硫酸カルシウムを反應させてえられる。收斂作用試驗のための蛋白質沈澱反應ではすばらしい好成績をしめした。

織物についての試驗では，アルミニウム・メチオネートは纖維組織にたいして無害であることがわかり，衣類をかなり痛めるといわれている他の收斂劑に比し非常に優れている。またきわめて可溶性で吸濕性でありかつ毒性がないという利點がある。その吸濕性のためにアルミニウム・メチオネートを用いた製品はその硬度や乾燥などの條件が良好で，クリームに用いるのに優秀なものである。

新甘味劑

(J. Am. Pharm. Assoc. Sci. Ed. 40, 1 (1951).)

日本藥局方では親水軟膏の處方を次の通り定めている（これはほとんどアメリカ藥局方と同じである）

パラオキシ安息香酸ブチル	○・一五
ラウリル硫酸ナトリウム	一○・○
グリセリン	一二○・○
ステアリルアルコール	二五○・○
白色ワセリン	二五○・○
蒸溜水	適量
全量	一○○○・○

本劑は白色クリーム稠粥度を有し，pH 六・三，外觀は良質のバニシングクリームと同樣で無臭である

右の處方中ラウリル硫酸ナトリウムは乳化劑でありまた清淨劑としての作用を併有している，ステアリルアルコールは乳化を助長し感じのよい肌ざわりとなしまた乳劑に安定性を與える役目をしている，パラオキシ安息香酸メチル及びブチルは防腐劑として配合されている

右の處方で見られるように本來水を吸收しないワセリンが，これに乳化劑ラウリル硫酸ナトリウム及び乳化助長劑ステアリルアルコール等を加えることにより親水性を生じたことは誠に興味ありかつ有意義のことといわねばならない，グリセリンはこの際濕潤劑として入つている

親水軟膏は非常に強い浸透力をもつているので，各種の藥を配合して治療を行うことができる，このことはサリチル酸塩をもつてする長透力の試驗で既に明瞭な證明がついている，實際

各種の藥を配合した例をかかげると次の通りである

亞鉛華	五・○%
アクリノール	○・一
イクタモール	○・五
グリテール	○・五
サリチル酸	○・五～一・○
抗ヒスタミン劑	一・○
スルフアチアゾール	二・○
サルフアダイアジン	二・○

なおこの外にいくらも配合例はあろうが，現在のところではむしろ今後の研究に俟つて大いに應用範圍を擴げてゆく段階にあるというのが至當であろう

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 776013

命兒

である
日本藥局方では親水軟膏の處方を次の通り定めている（これはほとんどアメリカ藥局方と同じである）

パラオキシ安息香酸メチル　〇・二五
パラオキシ安息香酸ブチル　〇・一五
ラウリル硫酸ナトリウム　一〇・〇
グリセリン　一二〇・〇
ステアリルアルコール　二五・〇
白色ワセリン　二五〇・〇
蒸留水　適量
全量　一〇〇〇・〇

本劑は白色クリーム様粘度を有し、pH六・三、外觀は良質のバニシングクリームと同樣で無臭である
右の處方中ラウリル硫酸ナトリウムは乳化劑でありまた清淨劑としての作用を併有している、ステアリルアルコールは乳化を助長しこの基感じのよい肌ざわりとなしあたり劑科學また乳劑に安定性を與える役目をしている、パラオキシ安息香酸メチル及びブチルは防腐劑として配合されている

右の處方で見られるように本來水を吸收しないワセリンが、これに乳化劑ラウリル硫酸ナトリウム及び乳化助長劑ステアリルアルコール等を加えることにより親水性を生じたことは誠に興味ありかつ有意義のことといわねばならない、グリセリンはこの際潤劑として入つている

親水軟膏は非常に強い浸透力をもつているので、各種の藥を配合して治療を行うことができる、このことはサリチル酸塩をもつてする浸透力の試驗で既に明瞭な證明がついている、實際に各種の藥を配合した例をかかげると次の通りである

亞鉛華　五・〇%
アクリノール　〇・一
イクタモール　〇・五
グリテール　〇・五
サリチル酸　〇・五～一・〇
抗ヒスタミン劑　一・〇
スルファチアゾール　二・〇
サルファダイアジン　二・〇

なおこの外にいくらも配合例はあろうが、現在のところではむしろ今後の研究に俟つて大いに應用範圍を擴げてゆく段階にあるというのが至當であろう

★その特質

さて親水軟膏の優秀性は以上述べてきたところでも若干うかがわれるが、これを要約すると、次の通りである

①親水性を有するため、皮膚面に密着し易いばかりでなく、リンパ液中にも容易に侵透するから、主藥の効力を迅速且つ的確に發揮することが出來るとともに、主藥の用量を從來の用量の五分の一乃至三十分の一節約することができる

②汗、その他水性分泌液を吸收、蒸發させるので、皮膚を冷却し、消炎、止痒の効がある、また泌物を皮膚面に貯留させないため、二次的感染を防止することができる、たとえ水分が蒸發しすぎても適度の脂肪分が殘つて粘滑劑となり、快い皮膚保護劑になる

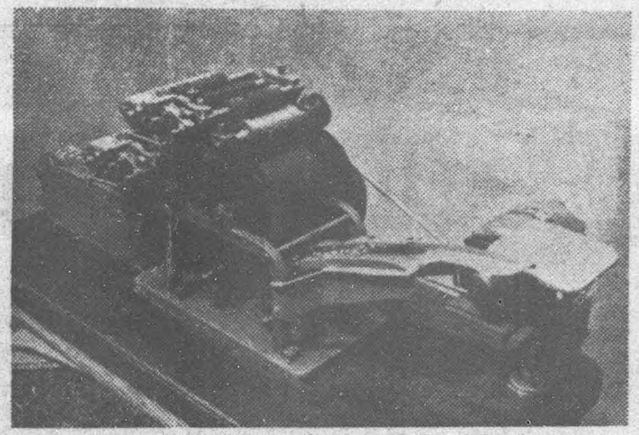
③本劑は分解し易い植物油を含んでおらず、しかもほとんど中性であるから、安定度が極めて大きい

④衣服や寢具を汚染することなく、清潔で、爽凉感が強く、しかも冷水で清拭することが出來るばかりでなく、本劑自身外觀がバニシングクリーム狀で美容的價値を多分に有している

親水軟膏は以上のような長所をもち、多方面への應用があるが、しかし從來の軟膏を全部親水軟膏で置きかえてよいものではない、例えば分泌物の少いもの及び分泌物のない初期の皮膚疾患の治療には卓効があるが、糜爛及び潰瘍期のものには不適である、また本劑と硼酸またクリサロビンとの配合は中毒を起すとされている

とにかく親水軟膏はまだ日本には紹介されたばかりといつてもよい位であり、今後その本質が明確に把握されるとともにその使用法、適應範圍も確立され、新しい型の軟膏の先驅として今後の普及が期待されるものである（F・S）

☆　☆　☆



★ 自働式アンプール二色印刷機 ★
（第7面記事參照）日本曲面体印刷研究所提供

日誌 ＝五月＝

十八日　★試藥協會では第三回總會を開催、西部協會より申入の名稱變更の件を否決　★日本ペニシリン協會の第六回總會は丸ノ内工業クラブで開催

二十一日　★總司令部公衆衞生福祉局長サムス准將は現職を雕任★四エチル鉛取扱基準令が政令第一五八號で公布、卽日施行　★東西藥工合同藥事法規研究會は京都永觀堂で開催、ポイズンの英米法を檢討

二十三日　★參院厚生委員會では委員會を開催、各委員より政府側に質疑を行う　★物價廳ではアルコール專賣法の規定により、局方及び試藥を除く一般用及び工業用アルコールの賣捌人販賣價格を二十三日付告示第一二九號で制定公布　★關東ブロック衞生部長會議は東京鰮町都道府縣會館で開催　★大阪醫藥協では藥藥クラブで第八回總會を開き二十五年度報告、收支決算を承認決定

二十五日　★日本醫學會では東大醫學科講堂でアゾメトリー（超ミクロ法）實驗公開を金澤大岩崎寮氏を講師として開催　★厚生省濫用防止對策官として來日中のアメリカ麻藥局ハリー・J・アンスリンガー氏は厚生省を訪問、麻藥問題について懇談　★厚生省藥務局では藥劑師國家試驗事務所では第四回國家試驗學說試驗の合格者三二六名を發表

★サムス准將は空補羽田發歸米　★毒、劇物の指定等に關する厚生省令が公布　★大阪アルコール協力會ではアルコール興業株式會社で役員會を開催、小賀入指定免許更新手續等を協議

醫藥

U. S. MEDICAL NEWS

新しいアストリンゼント

(J. Am. Pharm. Assoc. Sci. Ed. 39, 663 (1950).)

進歩せる優秀な新收斂劑（アストリンゼント）の發明に苦心の研究をつづけているジョン・E・クリスチャン、グレン・L・ジェンキンスの兩氏は、一連のアルミニウム・アルキル・二硫酸塩を合成しその性能を試驗した。これらの中で，アルミニウム・メチオネートは最も滿足すべき成績をしめし，今日、制汗收斂劑として用いられている他のアルミニウム塩よりもはるかに優秀なことがわかつた。

アルミニウム，メチオネートは，カルシウム・メチオネートと硫酸カルシウムを反應させてえられる。收斂作用試驗のための蛋白質沈澱反應ではすばらしい好成績をしめした。

織物についての試驗では，アルミニウム・メチオネートは纖維組織にたいして無害であることがわかり，衣類をかなり痛めるといわれている他の收斂劑に比し非常に優れている。またきわめて可溶性で吸濕性でありかつ毒性がないという利點がある。その吸濕性のためにアルミニウム・メチオネートを用いた製品はその硬度や乾燥などの條件が良好で，クリームに用いるのに優秀なものである。

新甘味劑

(J. Am. Pharm. Assoc. Sci. Ed. 40, 1 (1951).)

R・K・リチャード，J・D・テーラー，J・L・オブライエンおよびH・O・デュシャーの四氏の報告によれば，Cyclamate Sodium（サクリル・ナトリウム）は甘味劑としてサッカリンよりもすぐれているということである。サッカリンは無害な甘味劑として認められてきているが，その熱にたいする不安定性と苦い後味があるということが欠點である。

新甘味劑チクラメート・ソジウム（チクロヘキシル・サルファメート）は甘味の點ではサッカリンよりもヤヤ劣るが，煮沸してもよいし後味もすつきりしていて甘い。藥理學的研究によれば，種々の試驗をしても，なんら急性あるいは慢性の毒性をしめさない。また異常な生物學的影響も全く見られない。

チクラメート・ソジウムは大部分腎臟によつて變化されないで排泄される。また生体の酸素消費や消化酵素に影響をあたえない。また他の藥品の尿中での試驗に障害をあたえない。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

週間の動き

★サ准將離任にあたりメッセージ

サムス准將

連合軍最高司令部公衆衛生福祉局長サムス准將は二十五日歸國の途についたが、五月二十一日日本を去るについて次のようなメッセージを發表した

かえりみれば過去六年間連合軍最高司令部公衆衛生福祉局長として日本に在任し、私達もその速かな實現を願つて止まないが、今や講和條約の調印もつい間近に迫つてきた、この時に至つて私はこゝに現職の解任をねがい米國に歸る事を懇請した譯である

日本における衛生並びに福祉の分野に於ては、偉大なる進歩がなされた、私は此の進歩が將來も日本の人々によつて續行されることを願うものである、既に基礎となる軌範はうちたてられており、もしもこれが將來においても保持され改善されるならば、必ずや日本の國が衛生福祉の面における近代的民主國家の中の指導者の一つとして認められることに至るであろう

此の過去六年間においてなされた進歩は一に日本の人々にこと衛生福祉の專門分野、即ち醫學、藥學、衛生工學、齒科醫學、獸醫學、榮養學、社會事業及び看護の仕事に携る人々の熱意のこもつた協力と勉勵によつて達成し得たのである

今回私が歸國するにさいし連合軍最高司令部の衛生福祉業務の實施に當りかくまでも熱心に仕事をされた日本の人々に對し私として心からなる感謝の意を表わしたい、まだその人達の仕事は終つたわけではない

折角これまで進んだ業積が後退しないように前進を繼續して行かねばならない、この樣な業務はじつと一所に止つていることは出來ない、必ずや進歩するか後退するかの何れかである私は日本の人々並びにその將來について大いなる信頼を有するものである

又日本人が衛生及び福祉の分野において、更に前進を繼續して行く事にも萬腔の信頼を有しているものである

なおサムス准將の後任には二十五日付でモノファン大佐が任命された

★サムス准將に感謝狀

去る二十五日總司令部公衆衛生福祉局長の任を去つて歸國したサムス准將に、日本藥劑協會では同日役員及會員一同の名をもつて感謝狀を送つた

★分業法案は繼續審議に參院で決定

休會明けの國會では五月七日醫藥分業に關する法案が參議院厚生委員會に審議されたのを皮切りに、八日、十一日、十五日、十六日、十九、二十一日を公聽會證人喚問等に、活潑な動きがみられ衆議院においても豫備審査ではあるが十八、十九、二十一日と審議が行われ、その結論が、二十二日か二十三日に、たとへ參議院で可決しても、今國會に間に合はず、しかもやゝ悲觀的な觀測に、實議未了か繼續審議かのいづれかに裁斷が下されるか、險惡な空氣の中に二十六日注目の參院厚生委員會が開かれたが結局繼續審議に決定された

當日は去る二十一日中村藥事課長の、「醫藥分業について」の放送について谷口委員から、質問の矢が放たれ、その答辯に、平澤政務次官、慶松藥務局長、中村藥事課長が當り、その後草場委員から繼續審議の動議があり、これに藤原委員が贊成の意を表し、山下委員長から、繼續審議を採決により決定したいとの發言があつて一旦休憩したが結局繼續審議を行うことに決定し、こゝに藥劑師側にとつて危く難をのがれることができたわけである

★大阪アルコール協力會役員會

大阪アルコール協力會では大阪通産局指定のアルコール小賣人指定免許期日が五月三十一日をもつて滿了になるので更新手續その他當局よりの通達事項報告のため、期日末役員會を五月二十五日アルコール興業KKにて開催した會長岡彌三氏外二十五名の地區役員出席し、大阪通産局より大下課長、名劍事務官、井狩アルコール興業大阪支店長列席の上、菊井理事司會のもとに岡會長開會の主旨、指定免許更改に付書證とりまとめ協力方をのべ、かつ先般の近畿二府七縣の連合會議の模樣を報告ついで大下課長、湊事務官より、それぞれ取扱手續上の注意があり、井狩支店長からも專賣ビン詰アルコールの實際上の解説があつた

なお指定免許證は五日におまでに協力會の方で[illegible]りまとめ、大阪通産[illegible]出するよう申合せ、[illegible]ぎ散會した

共立事件

父兄も學生に同調す

宮本教授あくまで潔白を主張

絶對多數をもつて宮本教授の退陣と三教授の復職を要求する學生、教職員側と新聞記事を全部デマだと主張する宮本教授側の對立によつて、共立藥大事件の早急解決は困難とされていたが事の成行を憂慮した在校生父兄は二十五日午後同校で有志會を開き、理事と各教授の言い分をそれぞれ聽取した結果この際事件を最も圓滿に解決する途として多數者の意見どおり、宮本氏の退職と、さきに解職された貴志、綿貫、野崎三教授の復職を勸告することになりこの旨決議した模樣である

しかし傳えられるところによれば、この日も工藤理事長は人事權は一切自分にあることを再强調、また宮本氏は身の潔白であることを縷々訴えたが具体的な點で父兄側を納得さすに至らず前記の結論となつたもので、このため二十七日に豫定されていた會談は中止され、直接交渉による解決の望みは薄らいだとみられている

★毒・劇物指定等に關する令公布

毒物、劇物指定等に[illegible]省令が廿五日公布さ[illegible]指定個所は毒物及び劇[illegible]締法の第十一條第二項[illegible]二條第二項の四號、[illegible]二十二條第一項である施[illegible]お本令は公布の日か[illegible]日の準備期間を經て[illegible]施される

因みに條文は次の通り[illegible]

第十一條第二項

毒物、劇物營業者は[illegible]物又は厚生省令で定[illegible]劇物については、そ[illegible]器として飲食物の容[illegible]して通常使用される[illegible]使用してはならない[illegible]

第十二條第二項四號

毒物又は劇物の取扱[illegible]使用上特に必要とみ[illegible]て、厚生省令で定め[illegible]項

第二十二條

第十一條第一項、第十[illegible]條第一項及び、第三[illegible]第十七條並びに前條の[illegible]定は、毒物、劇物營業[illegible]以外の者であつて厚生[illegible]令で定める毒物又は劇[illegible]を業務上取り扱う者に[illegible]用する

斜視正視

ある藥業勞組の機關紙に、死期の近ずいた結核病患者が、パスを一度のんでから死にたい、と叫んでいる漫畫が載つていたことがある、實際に、これは笑いごとではない、筆者の周圍にも九名程の同病人がいるが、パスを飲める身分は僅かに二名である、効く効かぬの能書よりも、治療したくも出來ない人が大部分なのである、全國的に見ても、最近のパス販賣量は、月平均二〇トン前後（厚生省調）であるから、消費量は更に下廻るものと見て、約七万人程度の患者にしか使用されていない譯になる、日本の結核病患者總數は二百万を下るまいから、この數字は僅か四%にも達しないことになる、まことに驚くべき實狀ではないか、この事實を目して、それは、社會政策の分野であり、藥屋の與り知らぬことだ、と云つてしえまばそれまでだが、藥者にしても、この事實を正しく知つておればこそ、皮肉なことだが、パスメーカーの前途は、〃洋々〃たるものがあるのである七萬人に更に七万人の病人が、この新藥の恩惠に浴するとすれば、藥屋は今の倍賣れる勘定になる

貧者の一筆

一年前、田邊のニッパス、森永のパスモリンが、先ず名乘りをあげた頃は、瓦・四十五圓位したものだが、一年後の今では、瓦・十二、三圓程である、パスで立直つた會社がある、と評判になる程、一時パスは儲かつたに違いない、さればこそ、パス日新、パス科研、パスシリン武田等が續々として名乘りをあげた譯である、價格は月毎に下つたし、いる、貧乏人爲に、止むな[illegible]とにかく結[illegible]れば、最近の[illegible]を盡して競り[illegible]である由、[illegible]限界に於て[illegible]る、近代經濟[illegible]由經濟の良[illegible]あるから、[illegible]パスメーカ[illegible]更に何万か[illegible]と必定であ[illegible]」、「より多[illegible]カーにとつて[illegible]チビオンの[illegible]ではないか、[illegible]げる

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

サムス准將

ものである
又日本人が衛生及び福祉の分野において、更に前進を繼續して行く事にも萬腔の信頼を有しているものである
なおサムス准將の後任には二十五日付でモノファン大佐が任命された

★サムス准將に感謝狀

去る二十五日總司令部公衆衛生福祉局長の任を去つて歸國したサムス准將に、日本藥劑協會では同日役員及會員一同の名をもつて感謝狀を送つた

★分業法案は繼續審議に參院で決定

休會明けの國會では五月七日醫藥分業に關する法案が參議院厚生委員會に審議されたのを皮切りに、八日、十一日、十五日、十六日、十九、二十一日を公聽會證人喚問等に、活潑な動きがみられ衆議院においても豫備審査ではあるが十八、十九、二十一日と審議が行われ、その結論が、二十二日か二十三日に、たとへ參議院で可決しても、今國會に間に合はず、しかもやゝ悲觀的な觀測に、實議未了か繼續審議かのいづれかに裁斷が下されるか、險惡な空氣の中に二十六日注目の參院厚生委員會が開かれたが結局繼續審議に決定された

當日は去る二十一日中村藥事課長の、「醫藥分業について」の放送について谷口委員から、質問の矢が放たれ、その答辯に、平澤政務次官、慶松藥務局長、中村藥事課長が當り、その後草場委員から繼續審議の動議があり、これに藤原委員が賛成の意を表し、山下委員長から、繼續審議を採決により決定したいとの發言があつて一旦休憩したが結局繼續審議を行うことに決定し、こゝに藥劑師側にとつて危く難をのがれることができたわけである

★大阪アルコール協力會役員會

大阪アルコール協力會では大阪通産局指定のアルコール小賣人指定免許期日が五月三十一日をもつて滿了になるので更新手續その他當局よりの通達事項報告のため、期日末役員會を五月二十五日アルコール興業KKにて開催した會長岡彌三氏外二十五名の地區役員出席し、大阪通産局より大下課長、名劍事務官、井狩アルコール興業大阪支店長列席の上、菊井理事司會のもとに岡會長開會の主旨、指定免許更改に付書證とりまとめ協力方をのべ、かつ先般の近畿二府七縣の連合會議の模樣を報告ついで大下課長、湊事務官より、それぞれ取扱手續上の注意があり、井狩支店長からも專賣ビン詰アルコールの實際上の解說があつた

なお指定免許證は五月末日までに協力會の方で一括とりまとめ、大阪通産局へ提出するよう申合せ、五時すぎ散會した

共立事件

父兄も學生に同調す

宮本教授あくまで潔白を主張

絶對多數をもつて宮本教授の退陣と三教授の復職を要求する學生、教職員側と新聞記事を全部デマだと主張する宮本教授側の對立によつて、共立藥大事件の早急解決は困難とされていたが事の成行を憂慮した在校生父兄は二十五日午後同校で有志會を開き、理事と各教授の言い分をそれぞれ聽取した結果この際事件を最も圓滿に解決する途として多數者の意見どおり、宮本氏の退職と、さきに解職された貴志、綿貫、野崎三教授の復職を勸告することになりこの旨決議した模樣である

しかし傳えられるところによれば、この日も工藤理事長は人事權は一切自分にあることを再强調、また宮本氏は身の潔白であることを縷々訴えたが具体的な點で父兄側を納得さすに至らず前記の結論となつたもので、このため二十七日に豫定されていた會談は中止され、直接交渉による解決の望みは薄らいだとみられている

★毒・劇物指定等に關する省令公布

毒物、劇物指定等に關する省令が廿五日公布されたが指定個所は毒物及び劇物取締法の第十一條第二項、十二條第二項の四號、及び第二十二條第一項である、なお本令は公布の日から三十日の準備期間を經てから實施される

因みに條文は次の通り

第十一條第二項

毒物、劇物營業者は、毒物又は厚生省令で定める劇物については、その容器として飲食物の容器として通常使用される物を使用してはならない

第十二條第二項四號

毒物又は劇物の取扱及び使用上特に必要とみとめて、厚生省令で定める事項

第二十二條

第十一條第一項、第十二條第一項及び、第三項、第十七條並びに前條の規定は、毒物、劇物營業者以外の者であつて厚生省令で定める毒物又は劇物を業務上取り扱う者に準用する

★東京藥貿協會總會

廿六年度事業計畫等を決定

東京藥貿協會では去る五月二十五日午后二時から同會館において總會を開き昭和二十五年度事業報告、收支豫算、昭和二十六年度事業計畫、歳入歳出豫算決定及び役員の任期滿了による改選を行つた

事業計畫

①藥業に關する各種法規の解說會
②會員中永年勤續者の表彰
③藥業に關する講習會、談話會
④法規に基く諸手續その他斡旋
⑤卸賣業者の實情調査、資料作成
⑥卸賣業に對する適正課税の調査研究
⑦藥業に關連する技術、研究等の奬勵啓發
⑧醫藥品展示會等

役員

會長守隨彦太郎商店、副會長中村瀧商店、岩城商店

理事＝万有、塩ノ義、鳥居、大日本、友田、大羽、大木、金原、東京田邊、玉置、中外、山ノ内、八洲、市川、藤田、藤澤、武田藥工、小堺化學、三共、ふそう、第一、日絆、三井化學、東光、堀内、田中

監事＝國産化學、小林、稲畑

科視正視

ある藥業勞組の機關紙に、死期の近ずいた結核病患者が、パスを一度のんでから死にたい、と叫んでいる漫畫が載つていたことがある、實際に、これは笑いごとではない、筆者の周圍にも九名程の同病人がいるが、パスを飲める身分は僅かに二名である、効く効かぬの能書よりも、治療したくも出來ない人が大部分なのである、全國的に見ても、最近のパス販賣量は、月平均二〇トン前後（厚生省調）であるから、消費量は更に下廻るものと見て、約七万人程度の患者にしか使用されていない譯になる、日本の結核病患者總數は二百万を下るまいから、この數字は僅か四％にも達しないことになる、まことに驚くべき實狀ではないか、この事實を目して、それは、社會政策の分野であり、藥屋の與り知らぬことだ、と云つてしまばそれまでだが、藥者にしても、この事實を正しく知つておればこそ、皮肉なことだが、パスメーカーの前途は、〝洋々〟たるものがあるのである七萬人に更に七万人の病人が、この新藥の恩惠に浴するとすれば、藥屋は今の倍賣れる勘定になる

貧者の一筆

一年前、田邊のニッパス、森永のパスモリンが、先ず名乘りをあげた頃は、瓦・四十五圓位したものだが、一年後の今では、瓦・十二、三圓程である、パスで立直つた會社がある、と評判になる程、一時パスは儲かつたに違いない、さればこそ、パス日新、パス科研、パスシリン武田等が續々として名乘りをあげた譯である、價格は月毎に下つたし、今後も下ることが豫想されている、貧乏人の爲にではなく、自由競爭の爲に、止むなくではあるが

とにかく結構なことである、聞く所によれば、最近のパス販賣戰は、各社とも秘策を盡して競り合つており、正に壯觀の極みである由、つまりは、生産費プラス利潤の限界に於て、競爭する所まで來たようである、近代經濟の、則として當然であり、自由經濟の良さも、この一點に存する次第であるから、とことんまで競爭して欲しい、パスメーカー諸氏よ、價格が今より下れば更に何万かの病人が、有効需要者となること必定である、「より安く」、「より良く」、「より多く」の目標が、今のパスメーカーにとつて勝利への正道であり、同時にチビオンの出現に對しても絶對必要な構えではないか、病人を持つ貧者はかく申し上げる

（エス・ジー）

新発売！
複合ルチンコーワ
糖衣錠
興和化学
近日中に宣傳開始……
レスタミン、コルゲン等弊社の製品に關しては毎々格別の御引立を賜り、厚く御禮申し上げます。弊社技術陣もお蔭樣で充實、發展を遂げ、今度新しい構想によるルチン劑の完成を見、新發賣にともない近日中に本格的宣傳を開
新發賣品「複合ルチン」「ルチン」販賣價格御通知及び「コルゲン」改訂價格御通知

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDC NO. 77503

策の分野であり、薬屋の與り知らぬこと、と云つてしまえばそれまでだが、業者としても、この事實を正しく知つておれば、皮肉なことだが、バスメーカーの前途は、〝洋々〟たるものがあるのである七人に更に七万人の病人が、この新薬の恩に浴するとすれば、薬屋は今の倍賑れる筈になる

〝貧〟者の一筆

一年前、田邊のニッパス、森永のバスモンが、先ず名乗りをあげた頃は、瓦・四五圓位したものだが、一年後の今では、中・十二、三圓程である、バスで立直つた訳がある、と評判になる程、一時バスはかつたに違いない、さればこそ、バス日、バス科研、バスシリン武田等が續々と名乗りをあげた譯である、價格は月毎に下つたし、今後も下ることが豫想されている、貧乏人の爲にではなく、自由競爭の爲に、止むなくではあるが

とにかく結構なことである、聞く所によれば、最近のバス販賣戰は、各社とも秘策を盡して競り合つており、正に壯觀の極みである由、つまりは、生産費プラス利潤の限界に於て、競爭する所まで來たようである、近代經濟の〝則〟として當然であり、自由經濟の良さも、この一點に存する次第であるから、とことんまで競爭して欲しい、バスメーカー諸氏よ、價格が今より下れば更に何万かの病人が、有効需要者となることと必定である、「より安く」、「より良く」、「より多く」の月標が、今のバスメーカーにとつて勝利への正道であり、同時にチビオンの出現に對しても絶對必要な構えではないか、病人を持つ貧者はかく申し上げる

（エス・ジー）

學生に同調す 教授あく迄潔白を主張

大阪通產局指定のアルコール小賣人指定免許期日が五月三十一日をもつて滿了になるので更新手續その他當局よりの通達事項報告のため、期日末役員會を五月二十五日アルコール興業KKにて開催した會長岡嶋三氏外二十五名の地區役員出席し、大阪通產局より大下課長、名劍事務官、井狩アルコール興業大阪支店長列席の上、菊井理事司會のもとに同會長開會の主旨、指定免許更改に付書證とりまとめ協力方をのべ、かつ免般の近畿二府七縣の連合會議の模樣を報告ついで大下課長、濱事務官より、それぞれ取扱手續上の注意があり、井狩支店長からも專賣ビン詰アルコールの實際上の解說があつた

なお指定免許證は五月末日までに協力會の方で一括とりまとめ、大阪通產局へ提出するよう申合せ、五時すぎ散會した

★毒・劇物指定等に關する省令公布

毒物、劇物指定等に關する省令が廿五日公布されたが指定個所は毒物及び劇物取締法の第十一條第二項、十二條第二項の四號、及び第二十二條第一項である、なお本令は公布の日から三十日の準備期間を經てから實施される

因みに條文は次の通り

第十一條第二項

毒物、劇物營業者は、毒物又は厚生省令で定める劇物については、その容器として通常使用される物を使用してはならない

第十二條第二項四號

毒物又は劇物の取扱及び使用上特に必要とみとめて、厚生省令で定める事項

第二十二條

第十一條第一項、第十二條第一項及び、第三項、第十七條並びに前條の規定は、毒物、劇物營業者以外の者であつて厚生省令で定める毒物又は劇物を業務上取り扱う者に準用する

★東京藥賣協會總會

廿六年度事業計畫等を決定

東京藥賣協會では去る五月二十五日午后二時から同會館において總會を開き昭和二十五年度事業報告、收支豫算、昭和二十六年度事業計畫、歲入歲出豫算決定及び役員の任期滿了による改選を行つた

事業計畫

①藥業に關する各種法規の解說會

②會員中永年勤續者の表彰

③藥業に關する講習會、懇話會

④法規に基く諸手續その他熟旋

⑤卸賣業者の實情調査、資料作成

⑥卸賣業に對する適正課稅の調査研究

⑦藥業に關連する技術、研究等の奬勵啓發

⑧醫藥品展示會等

役員

會長守屋寅太郎商店、副會長中村龍商店、岩城商店

理事＝万有、塩ノ谷、鳥居、大日本、友田、大羽、大木、金原、東京田邊、玉置、中外、山ノ内、八洲、市川、藤田、藤澤、武田藥工、小堺化學、三共、ふそう、第一、日絆、三井化學、東光、堀内、田中

監事＝國產化學、小林、稻畑

新發売！

複合ルチン 糖衣錠 コーワ

興和化学

近日中に宣傳開始……

レスタミン、コルゲン等弊社の製品に關しては毎々格別の御引立を賜り、厚く御禮申し上げます。弊社技術陣もお蔭樣で充實、發展を遂げ、今度新しい構想によるルチン劑の完成を見、新發賣にともない近日中に本格的宣傳を開始致す手筈も備いました。皆樣方の御支援御聲援の程を切にお願い致します

新發賣「複合ルチン」コーワとは……？

(1) 廉い價格……藥店、醫家各位及び需用家の「ルチンは高すぎる」の御不滿に應え、右に示す低廉な價格で新發賣させていたゞく事になりました。

(2) 劃期的製法と効果……安い價格はその劃期的製法によるもので、その効果は……含有する中年の方の保健藥として知られる「黃芩、黃連、大黃」とルチンとの相乘作用で強い血壓降下作用を持つ上、便通、利尿を適度につけ「服用後の爽快感」を持ち、既存ルチン劑との比較使用で充分使用者に分つて頂ける事を確信します。

◎宣傳開始前、少數でも貴店にお備えおき下さらば幸甚です

新發賣品「複合ルチン」「ルチン」販賣價格
御通知及び「コルゲン」改訂價格御通知

毎々格別の御引立に預り有難く御禮申上げます
爲て此度興和化學研究所製造にかゝる高血壓治療新製品「複合ルチン」並びに「ルチン」を發賣することになり又同研究所製造「コルゲン錠」の販賣價格を改訂させて頂く事になりましたので夫々の販賣價格を下記の如く御通知申上げますから何卒宣敷御聲援の程御願ひ申上げます

	品名	容量	A	B	C	備考
新發賣品	複合ルチン	100錠	350.00	280.00	255.00	
		末 25g	330.00	265.00	245.00	
		〃100〃	1200.00	960.00	875.00	
〃	ルチン	〃 25〃	280.00	220.00	200.00	
		〃100〃	1000.00	800.00	730.00	
價格改訂	コルゲン錠	20錠	100.00	80.00	72.70	

販賣元 株式會社中村龍商店　　製造元 興服產業株式會社

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

★學說合格八割三分强

實地は第五局方で實施

第四回藥劑師國家試驗學說試驗の合格者發表は去る五月二十五日全國一齊に發表された

これによれば受驗者數三、二二六名中合格者數は二、六九三名で合格率は八三、五%の好成績であつた、これを學校別にみると百%の合格率を示す學校は東大醫學部藥學科、金澤大學、京大醫學部藥學科の三校で最底の合格率は關西學院理工專門部の五三%である（別項）

なお今回の試驗にあたつて藥事審議會藥劑師國家試驗小委員會近藤委員は記者團に對し談話を發表した

今回の試驗の程度は第二回、第三回と同じ位いと思つている、全体の受驗者は三、二二六名この內容は東京一、四七〇、大阪九〇三、岐阜三七六、福岡二〇三、宮城一五九、石川一一五、欠が三三名であつた、前回までの試驗と今回の試驗の差は、前回まで注意書を試驗日の前日にわたして受驗にのぞむことができたのを今回は試驗所で注意書をわたしたのであるが案外結果がよかつた

ただそこできづいたことは受驗番號を書き忘れたり書き違いしたり、又自分の名前を書いてはいけないものを書いているものが四十九名もいたこの人々は減點されている、これは藥劑師には注意力がもつとも必要とされるので、このようなミスはゆるされないのである

また問題中選擇問題があつたがたとへ兩方とも滿點でも二つのいづれかをせんたくして書くことになつているのでこれらも減點されている

前回緒方委員長もいわれているように今回も計算問題がよくない、一、二、二一、二八の平均が二七%という大變惡い數字が現われている、しかし生藥關係は改善されよくなつてきている

學校別合格者一覽表

學校名	受驗者數	合格者數	合格率(%)
東北藥	一六五	一〇五	六三・六
東大	三一	三一	一〇〇・〇
東藥	一七二	一五六	九〇・六
明藥	二三二	一七九	七七・一
星藥	一五一	一三一	八六・七
共立藥	二三八	二〇五	八六・一
明藥女	一八二	一三七	七五・二
東藥女	一四七	一四〇	九五・二
昭和藥	一〇四	七三	七〇・一
千葉藥	三三	三〇	九〇・九
東邦藥	一六五	一一四	六九・〇
富山藥	八九	八五	九五・五
金澤藥	二九	二九	一〇〇・〇
岐阜藥	二一〇	一九四	九二・三
靜岡藥	四三	二九	六七・四
名藥	一六一	一五五	九六・二
京大	二七	二七	一〇〇・〇
京藥	一六二	一五〇	九三・七
阪大附	一七七	一六四	九二・五
帝藥	二四七	一七一	六九・二
關學	四九	二六	五三・〇
神藥	一七七	一六一	九〇・九
德島大	三一	二四	七七・四
長崎藥	五九	四七	七九・六
熊本藥	一四四	一二九	八九・五
その他	一	一	一〇〇・〇

なお實地試驗受驗希望者は特に左記事項を留意の上出願すること

一、學說試驗に使用した寫眞を整理する都合上、合格證明書寫の左下隅に必ず學說試驗受驗地及び受驗番號を記載すること

二、各試驗場共收容人員に制限があるから、願書締切日（六月十日）間近かに出願しようとする者は場合により希望の受驗地で試驗を受けられないことがあるので受驗地は、第一、第二希望地を記載すること（受驗所設備の制限による）

三、提出濟の寫眞と現實の顏形、頭髮等その特徵が著しく相違しているものは最近撮影した寫眞を願書に添付の上提出すること、但し提出期限に間に合わない時は、寫眞だけ後送しても差支えない

四、今回の實地試驗は第五改正藥局方に基いて實施する

★四エチル鉛取扱基準令公布

改府は、毒物及び劇物取締法（昭和二十五年法律第三百三號）第十六條第一項の規定にもとずいて四エチル鉛取扱基準を五月二十一日付政令一五八號で制定したこの政令は全十條からなつており、混入の制限（第一條）四エチル鉛の着色（第二條）四エチル鉛の表示（第三條）四エチル鉛の貯藏（第四條）四エチル鉛の運搬（第五條、第六條）四エチル鉛の空容器の返送（第七條）加鉛ガソリンの表示（第八條）加鉛ガソリンの着色（第九條）加鉛ガソリンの取扱（第十條）を規定している

この政令は四エチル鉛の毒性による危害を防止するため、その取扱に關する技術上の基準を定める必要があるからである

四エチル鉛取扱基準令要綱は

一、政令案の要點

①四エチル鉛は、試驗又は研究のため厚生大臣に屆け出て取り扱う場合を除き、ガソリン以外の物に混入してはならないとともに、その混入の割合は、ガソリン一ガロンにつき四エチル鉛三立方センチメートル以下でなければならないこと（第一條）

②四エチル鉛の製造業者は、その製造した四エチル鉛を赤で着色しなければならず、又製造業者、輸入業者は、四エチル鉛の容器に內容量その他の表示をしなければならないこと（第二條、第三條）

③四エチル鉛を貯藏する倉庫は、十分な通氣裝置があるものでなければならないこと（第四條）

④四エチル鉛は、その容器として日本工業規格乙一六〇一號（鋼製ドラムかん）第一種に適するドラムかん又はこれと同等以上の强度を有するドラムかんが使用されていることとその他の要件を具え、且つ、貨車の床上又は自動車の荷台に厚いむしろの類がしいてあることその他の必要な措置が講ぜられている場合でなければ、鐵道又は自動車によつて運搬してはならないとともに、四エチル鉛又はその空容器を運搬する場合には、これらの物以外の物と混載してはならないこと

⑤四エチ鉛の消費者は、容器に收められた四エチル鉛の全部を消費したときは、そのまま密閉して直ちに製造所に返送するか、又は保健衛生上危害を生ずるおそれがないように處置しなければならないこと（第七條）

⑥四エチル鉛が混入されたガソリン（加鉛ガソリンという）は、赤で着色し、且つ、その容器に加鉛ガソリンが入つている旨その他の表示がなされなければならないこと（第九條、第八條）

⑦加鉛ガソリンを前項による表示のされている容器によらないで販賣する販賣業者は、給油塔の上部その他店舗內の見やすい場所に、一定事項の表示をしなければならないこと（第十條）

二、施行期日

公布の日から施行することとするが、加鉛ガソリンの容器の表示及び加鉛ガソリンの販賣業者の表示義務に關する規定（第八條及び第十條）は、公布の日から起算して六十日を經過した日から施行すること

★都醫藥品商組の總會

東京都醫藥品商業協同組合の第五回通常總會が去る五月二十八日午後二時から明治製菓ビル六階講堂で開かれ ①昭和二十五年度事業報告並決算報告 ②定款中一部改正の件 ③組合事業執行規定改正の件 ④昭和二十六年度事業計畫案承認の件 ⑤組合借入金最高額決定の件 ⑥一組合員に對する貸付金の最高限度決定の件 ⑦役員に對する報酬額決定の件 ⑧助成金申請に關する件を審議それぞれ承認決定した、なお同組合では昨年四月から本年三月末までに赤字二、六四八、六九〇、九一錢を出してをり今後の事業運營に奮起を要望されているが二十六年度の事業計畫は大要次の通りである

一、取扱品の仕入

①組合員の組合利用率の向上を圖る ②組合品選定品の增加を期し組合の特色を生かす ③稀用藥品取扱所設置 ④濫賣對策と藥局の距離制限 ⑤金融事業部の改正 ⑥組合員の指導 ⑦稅制對策 ⑧組合利用の普及と直賣場活用 ⑨從業員の指導と素質の向上

★日藥の全國會長會議を五日東京で

日藥では來る六月五日監事代議員會及び全國會長會議を東京上野櫻木町東京藥科大學において開催する協議事項は、分業法案審議の經過報告並に今後の對策について

★藥價基準收載品目を日藥連で取纏

既報の如く物價廳では健康保險の藥價基準を全面的に改正することになつたが、藥價基準の收載希望品目について日藥連にその調査方を依頼日藥連では六月五日までに調査票、C價表、原價計算表を提出するよう各會員に要望している

★東醫會懇親

東洋醫學會の關西支部員は去廿五日武田藥工堀川寮で久しぶり集談今回はなるべく毎月研究會を開く事を申し合せた、當日集つたのは中島大蘇、山元豐治、田村雄造、中野雅島、新妻米邨、渡邊武、細野史郎、阪口弘、高橋眞太郎、森田之皓の十氏

第四回藥劑師國試學說問題 ④

問題（午後の部）

第21問 粗製の無水酢（醋）酸ナトリウム0.25gに硫酸を添加して熱しやく（灼）し、殘留物0.092gを得た。

この殘留物が Na_2SO_4 であるとすれば酢酸ナトリウムの純度は幾%になるか。

但し、Cの原子量は12, Naは16, Sは32として計算せよ。

第22問 しよ（蔗）糖を無機の酸あるいは酵素で次式のように加水分解した場合旋光性はどのように變化するか。

$$C_{12}H_{22}O_{11}+H_2O=C_6H_{12}O_6+C_6H_{12}O_6$$

しよ（蔗）糖

ブドウ（葡萄） 糖果糖

1 右旋性から左旋性にかわる。
2 不旋光性から左旋性にかわる。
3 右旋性のものが不旋光性となる
4 左旋性から右旋性にかわる。
5 右旋性の大きさがやや減少する

第23問の1 水を溶劑として氷點降下法により物質の分子量を測定する場合、水及び物質のg數をそれぞれW及びSとし、結氷點の降下度を△とすれば、分子量Mは下記の內、どの式によつて算出されるか。（第23問の1及び2の內、どれか一方だけに答を書くこと）

1 $M=\frac{18.5\times S}{W.\triangle}$

2 $M=\frac{100\times S}{W.\triangle}$

3 $M=\frac{100\times\triangle.S}{W\times 18.5}$

4 $M=\frac{100\times S\times 18.5}{W.\triangle}$

5 $M=\frac{100\times\triangle\times 18.5}{W.S}$

第23問の2 食塩を水に溶かして氷點降下法でその分子量を測定するとどんな結果が得られるか。

1 濃度によつて Na^+ と Cl^- に解離する割合が異るから一定した値を示さない。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

るいは酵素で次式のように加水分解した場合旋光性はどのように變化するか。

$$C_{12}H_{22}O_{11}+H_2O=C_6H_{12}O_6+C_6H_{12}O_6$$

しよ(蔗)糖　ブドウ(葡萄)　糖果糖

1 右旋性から左旋性にかわる。
2 不旋光性から左旋性にかわる。
3 右旋性のものが不旋光性となる
4 左旋性から右旋性にかわる。
5 右旋性の大きさがやや減少する

第23問の 1 水を溶剤として氷點降下法により物質の分子量を測定する場合、水及び物質のg數をそれぞれW及びSとし、結氷點の降下度をΔとすれば、分子量Mは下記の内、どの式によつて算出されるか。(第23問の1及び2の内、どれか一方だけに答を書くこと)

1 $M=\frac{18.5\times S}{W.\ \Delta}$

2 $M=\frac{100\times S}{W.\ \Delta}$

3 $M=\frac{100\times \Delta.\ S}{W\times 18.5}$

4 $M=\frac{100\times S\times 18.5}{W.\ \Delta}$

5 $M=\frac{100\times \Delta\times 18.5}{W.\ S}$

第23問の 2 食塩を水に溶かして氷點降下法でその分子量を測定するとどんな結果が得られるか。

1 濃度によつてNa^+とCl^-に解離する割合が異るから一定した値を示さない。

制限があるから、願書締切日(六月十日)間近かに出願しようとする者は場合により希望の受驗地で試驗を受けられないことがあるので受驗地は、第一、第二希望地を記載すること(受驗所設備の制限による)

三、提出濟の寫眞と現實の顔形、頭髮等その特徴が著しく相違しているものは最近撮影した寫眞を願書に添付の上提出すること、但し提出期限に間に合わない時は、寫眞だけ後送しても差支えない

四、今回の實地試驗は第五改正藥局方に基いて實施する

★四エチル鉛取扱基準令公布

政府は、毒物及び劇物取締法(昭和二十五年法律第三百三號)第十六條第一項の規定にもとずいて四エチル鉛取扱基準を五月二十一日付政令一五八號で制定したこの政令は全十條からなつており、混入の制限(第一條)四エチル鉛の着色(第二條)四エチル鉛の表示(第三條)四エチル鉛の貯藏(第四條)四エチル鉛の運搬(第五條、第六條)四エチル鉛の空容器の返送(第七條)加鉛ガソリンの表示(第八條)加鉛ガソリンの着色(第九條)加鉛ガソリンの取扱(第十條)を規定している

この政令は四エチル鉛の毒性による危害を防止するため、その取扱に關する技術上の基準を定める必要があるからである

四エチル鉛取扱基準令要綱は

一、政令案の要點

①四エチル鉛は、試驗又は研究のため厚生大臣に届け出て取り扱う場合を除き、ガソリン以外の物に混入してはならないとともに、その混入の割合は、ガソリン一ガロンにつき四エチル鉛三立方センチメートル以下でなければならないこと(第一條)

②四エチル鉛の製造業者は、その製造した四エチル鉛を赤で着色しなければならず、又製造業者、輸入業者は、四エチル鉛の容器に内容量その他の表示をしなければならないこと(第二條、第三條)

③四エチル鉛を貯藏する倉庫は、十分な通氣裝置があるものでなければならないこと(第四條)

④四エチル鉛は、その容器として日本工業規格乙一六〇一號(鋼製ドラムかん)第一種に適するドラムかん又はこれと同等以上の强度を有するドラムかんが使用されていることその他の要件を具え、且つ、貨車の床上又は自動車の荷台に厚いむしろの類がしいてあることその他の必要な措置が講ぜられている場合でなければ、鐵道又は自動車によつて運搬してはならないとともに、四エチル鉛又はその空容器を運搬する場合には、これらの物以外の物と混載してはならないこと

⑤四エチル鉛の消費者は、容器に收められた四エチル鉛の全部を消費したときは、そのまま密閉して直ちに製造所に返送するか、又は保健衛生上危害を生ずるおそれがないように處置しなければならないこと(第七條)

⑥四エチル鉛が混入されたガソリン(加鉛ガソリンという)は、赤で着色し、且つ、その容器に加鉛ガソリンが入つている旨その他の表示がなされなければならないこと(第九條、第八條)

⑦加鉛ガソリンを前項による表示のされている容器によらないで販賣する販賣業者は、給油塔の上部その他店舗内の見やすい場所に、一定事項の表示をしなければならないこと(第十條)

二、施行期日

公布の日から施行することとするが、加鉛ガソリンの容器の表示及び加鉛ガソリンの販賣業者の表示義務に關する規定(第八條及び第十條)は、公布の日から起算して六十日を經過した日から施行すること

★都醫藥品商組の總會

東京都醫藥品商業協同組合の第五回通常總會が去る五月二十八日午後二時から明治製菓ビル六階講堂で開かれ ①昭和二十五年度事業報告並決算報告 ②定款中一部改正の件 ③組合事業執行規定改正の件 ④昭和二十六年度事業計畫案承認の件 ⑤組合借入金最高額決定の件 ⑥一組合員に對する貸付金の最高限度決定の件 ⑦役員に對する報酬額決定の件 ⑧助成金申請に關する件

を審議それぞれ承認決定した、なお同組合では昨年四月から本年三月末までに赤字二、六四八、六九〇、九一錢を出してをり今後の事業運營に奮起を要望されているが二十六年度の事業計畫は大要次の通りである

一、取扱品の仕入

①組合員の組合利用率の向上を圖る ②組合品選定品の增加を期し組合の特色を生かす ③稀用藥品取扱所設置 ④濫賣對策と藥局の距離制限 ⑤金融事業部の改正 ⑥組合員の指導 ⑦稅制對策 ⑧組合利用の普及と直賣場活用 ⑨從業員の指導と素質の向上

★日藥の全國會長會議を五日東京で

日藥では來る六月五日監事代議員會及び全國會長會議を東京上野櫻木町東京藥科大學において開催する協議事項は、分藥法案審議の經過報告並に今後の對策について

★藥價基準收載品目を日藥連で取纒

既報の如く物價廳では健康保險の藥價基準を全面的に改正することになつたが、藥價基準の收載希望品目については日藥連にその調査方を依頼日藥連では六月五日までに調査票、C價表、原價計算表を提出するよう各會員に要望している

★東醫會懇親

東洋醫學會の關西支部員は去廿五日武田藥工堀川寮で久しぶり集談今回はなるべく毎月研究會を開く事を申し合せた、當日集つたのは中島大蘇、山元豐治、田村雄造、中野雅晶、新妻米邨、渡邊武、細野史郎、阪口弘、高橋眞太郎、森田之皓の十氏

進展する抗生物質
本剤は各種抗生物質の中で最も新しいもので、適應範囲極めて廣く、各種細菌感染症リケッチァ、ビールス性諸疾患に有効です特に眼科領域では急慢性トラコーマ、結膜炎等に著効を示します。
効能 淋疾、赤痢、痢疫、百日咳、肺炎 トラコーマ、結膜炎、發疹チフス 恙虫病、第四性病
テラマイシン
包裝 内服用 カプセル (250瓦) 16個 8個 (100瓦) 25個
エリキサー (1.5瓦) 30cc
解熱注射用結晶 250瓦バイアル容器
眼軟膏 (0.1%) 3.5瓦 チューブ
大阪道修町 田邊製藥株式會社

パス
フジサワ
体内結核菌の成育を阻止する結核化学療法剤
滲出性肺結核・腸結核・咽頭及喉頭結核に・・
藤沢藥品工業株式会社 フジサワ 500瓦・100瓦

輸血新療法【文献贈呈】

最も理想に近づいた腦幹性催眠劑!
イソミタールは他のバルビツール酸誘導体の諸製劑と其薬理作用及び適應症を異にし特に

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

問の1及び2の内、どれか一方だけに答を書くこと）

1 $M=\frac{18.5\times S}{W.\ \triangle}$

2 $M=\frac{100\times S}{W.\ \triangle}$

3 $M=\frac{100\times \triangle . S}{W\times 18.5}$

4 $M=\frac{100\times S\times 18.5}{W.\ \triangle}$

5 $M=\frac{100\times \triangle\times 18.5}{W.\ S}$

第23問の 2 食塩を水に溶かして氷點降下法でその分子量を測定するとどんな結果が得られるか。

1 濃度によつて Na^+ と Cl^- に解離する割合が異るから一定した値を示さない。

いること（第七條）

⑥四エチル鉛が混入されたガソリン（加鉛ガソリンという）は、赤で着色し、且つ、その容器に加鉛ガソリンが入つている旨その他の表示がなされなければならないこと（第九條、第八條）

⑦加鉛ガソリンを前項による表示のされている容器によらないで販賣する販賣業者は、給油塔の上部その他店舗内の見やすい場所に、一定事項の表示をしなければならないこと（第十條）

二、施行期日

公布の日から施行すること。但し、加鉛ガソンの容器の表示及び加鉛ガソリンの販賣業者の表示義務に關する規定（第八條及び第十條）は、公布の日から起算して六十日を經過した日から施行すること

★都醫藥品商組の總會

東京都醫藥品商業協同組合の第五回通常總會が去る五月二十八日午後二時から明治製菓ビル六階講堂で開かれ①昭和二十五年度事業報告並決算報告②定款中一部改正の件③組合事業執行規定改正の件④昭和二十六年度事業計畫案承認の件⑤組合借入金最高額決定の件⑥一組合員に對する貸付金の最高限度決定の件⑦役員に對する報酬額決定の件⑧助成金申請に關する件を審議それぞれ承認決定した、なお同組合では昨年四月から本年三月末までに赤字二、六四八、六九〇、九一錢を出してをり今後の事業運營に奮起を要望されているが二十六年度の事業計畫は大要次の通りである

一、取扱品の仕入

①組合員の組合利用率の向上を圖る②組合品選定品の增加を期し組合の特色を生かす③稀用藥品取扱所設置④濫賣對策と藥局の距離制限⑤金融事業部の改正⑥組合員の指導⑦税制對策⑧組合利用の普及と直賣場活用⑨從業員の指導と素質の向上

★日藥の全國會長會議を五日東京で

日藥では來る六月五日監事代議員會及び全國會長會議を東京上野櫻木町東京藥科大學において開催する協議事項は、分業法案審議の經過報告並に今後の對策について

★藥價基準收載品目を日藥連で取纏

既報の如く物價廳では健康保險の藥價基準を全面的に改正することになつたが、藥價基準の收載希望品目について日藥連にその調査方を依頼日藥連では六月五日までに調査票、C價表、原價計算表を提出するよう各會員に要望している

★東醫會懇親

東洋醫學會の關西支部員は去廿五日武田藥工堀川寮で久しぶり集談今回はなるべく毎月研究會を開く事を申し合せた、當日集つたのは中島大蘇、山元贐治、田村雄造、中野雅晶、新妻米郷、渡邊武、細野史郎、阪口弘、高橋貞太郎、森田之皓の十氏

フジサワ

パス

渗出性肺結核・腸結核・咽頭及喉頭結核に・・

体内結核菌の成育を阻止する結核化学療法剤

藤沢藥品工業株式会社 フジサワ 500瓦・100瓦

進展する抗生物質

テラマイシン

本剤は各種抗生物質の中で最も新しいもので、適應範囲極めて廣く、各種細菌感染症リケッチァ、ビールス性諸疾患に有効です特に眼科領域では急慢性トラコーマ、結膜炎等に著効を示します。

効能 淋疾、赤痢、痢疾、百日咳、肺炎 トラコーマ、結膜炎、發疹チフス 蕊虫病、第四性病

包裝 內服用 カプセル (250瓦) 16個 8個
(100瓦) 25個
エリキサー (1.5瓦) 30cc
靜脈注射用凍結晶 250瓦バイアル容器
眼 軟 膏 (0.1%) 3.5瓦 チユーブ

大阪道修町 田邊製藥株式會社

輸血新療法【文献贈呈】

プラスマ

【本質】 乾燥無菌過健康人血漿 【特長】①血液型を考慮する事なくいかなる場合も使用可能 ②輸血後長時間体内に止つて血圧上昇又は維持に優れた作用を現わす ③輸血による病原菌感染等のおそれなし
【用途】 一般輸血適應症 【包裝】 20cc. 30cc. 50cc. 100cc. 200cc

武田販賣

製造 日本製藥株式會社 東京都台東区上野公園不忍池畔
販賣 武田藥品工業株式會社 大阪市東区道修町2丁目27

最も理想に近づいた腦幹性催眠劑！

就眠兼熟眠劑

イソミタール

發売開始

イソミタールは他のバルビツール酸誘導体の諸製劑と其藥理作用及び適應症を異にし特に精神神經科領域，精神身体醫學界，內科領域への効果的治療劑として革新的な臨牀分野を打開したものです （文献進呈）

成分 イソアミル・エチルバルビツール酸
包裝 (末) 5瓦, 25瓦, 100瓦・錠10錠(0.1)

製造發賣元 京都・東京 日本新藥株式會社 大阪・札幌

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

新藥講座

講師　醫學博士 北澤英雄（慶應大學醫學部・內科）
醫學博士 阿部達夫（國立大藤病院內科醫長）

（第十二講）

驅梅劑の巻

マファルゾール其の他

コロンブスの新大陸發見の土產として、其後僅かな期間に、燎原の火の如く世界にひろがつたといわれる梅毒に對する治療法は水銀劑、砒素劑、蒼鉛劑、更に最近に至つて、ペニシリンをはじめとする抗生劑による驅毒と多樣多岐に亘つて變遷した、今回はこれら驅毒劑の中で、戰後米國から傳えられた新砒素劑マファルゾール（以下「マ」）及び抗生劑の際既述したペニシリン等について補足講述してみることゝした

一九一〇年エールリッヒ、秦が、化學療法劑の第一歩として、强力なる驅梅劑サルバルサンを發見する迄に、實に數百にのぼる砒素化合物について、その効力及び毒性を調査したが、その研究過程において合成した酸化砒素（Arsenoxyd）は、その効力は强いがその毒性も强いということで省みられないで終つた、併しそのサルバルサンも實際に使用していると、なかなかわずらわしい副作用が多々あることがわかり、この副作用はその操作中に、この酸化砒素が出來るためとさえ考えられていた

ところが、一九三四年に米國の藥理學者、Tatum 及び Cooper は、この酸化砒素即ち一五九號 3-Amino-4 Hydroxyphenylarsinoxide Hydrochloride Hemialcoholate を再びとりあげて研究の結果、寧ろこの毒性は最初考えられた1/10で、而もその効力も强力であることがわかり、これに呼應して、Fcestor. Weider. Rin 等の臨床實驗により、寧ろサルバルサンに優ることが實證されてこゝに新驅梅劑マファルゼンとして再登場したわけである

其後この½アルコールの結合したものは安定性も乏しく、効果の上でも劣る點があるので Bancks 等により、更に改良を重ねて、安定性も、臨床効果も優れた現在の製品となり、本邦においても、マファルゾール（maphalsol）と命名され發賣されている

「マ」がサルバルサンに勝れる點としては、靜注時洩れた場合疼痛が輕い、注射時惡臭が殆どない、殊に後述する如く副作用が殆どない等の點で、その効果については、尙諸說があるが「マ」は早期梅毒や先天及び姙婦梅毒において優秀性を示し、陳舊梅毒では大差はないといわれている

用量は一號（〇・〇四瓦）二號（〇・〇六瓦）の二種があり、体重、耐性等によつて異るが、大雜把にいつて、前者は婦人に後者は男子に用う、通常一〇cc の滅菌蒸留水に溶解し、調製後は、なるべく早く使用した方がいゝ、サルバルサンと同樣靜注にのみ使用するが一〇～三〇秒以內に注射し終るようにしないと、靜脈に沿うて疼痛を訴える場合がある

「マ」は進駐軍によつて我國に招介された當時は、第一―一〇週「マ」週二回、第一一―一四週休藥第一五週―二四週「マ」週二回、第一―一四週蒼鉛劑週一回、第一九―二四週蒼鉛劑週一回の併用療法を指示されたものであるが、その後我國の經驗から、種々の用法が招介されているが、我々は休藥期間なしに「マ」週二回、蒼鉛劑一回の併用を行い、四〇本を一クールとして血淸反應を檢査（早期梅毒ではもづと頻回に檢査）して、更に副作用なき限りは連續に使用している、尙蒼鉛劑に最近水溶性の製品（ブルクラン山之內）があることを附記する

サルバルサンには、發熱、惡心、嘔吐、腎肝障碍、腦炎、顆粒細胞減少症、皮疹、皮膚炎、時としてはサルバルサン死等かなりの副作用があるが、「マ」劑は副作用としても惡心、嘔吐等一過性のものぐらいで、重篤な副作用は皆無といつてよい、從つてサルバルサンの使用できない患者に「マ」劑を使用することができる

「マ」劑として、我國では第一製藥、武田、万有、三共、山之內、塩野義、大日本製藥等から發　されている

クロラルゾールは「マ」と同樣エールリッヒ、秦の研究中發見された砒素劑で改正米國藥局方に集錄されているが、このものは「マ」に比して毒性は更に少いか、効力において劣るともいわれ、或は毒性も反つて强いという說もあり、「マ」に比して廣く使用されるに至つていない

驅梅劑としてのペニシリン、一九四三年に Mahoney が、驅梅劑として「ペ」が早期梅毒に有効なことを發表して以來、內外においてその驅梅成績は相次いで報告され、現今米國においては「ペ」が驅梅劑の主流をなしているかの觀があり、我國においても「ペ」の低廉化に伴い廣く使用されるに至つている

「ペ」の驅梅劑としての使用法は、梅毒という疾患の複雜性と、慢性病たることゝ、「ペ」使用後尙日淺きことゝ相まつて、未だ決定的なものはないが、油性「ペ」を一日四五―六〇万單位七―一〇日連續使用するのが普通に行われる方法で、「ペ」單獨よりは、やはり砒素、蒼鉛劑併用の方が成功率が高いという說が有力に支持されている、即ち上述の「ペ」療法開始と同時に、「マ」劑週二回、蒼鉛劑週一回（一〇週又はそれ以上）を併用するのである

「ペ」療法は第一期（感染後三週間）第二期（感染後三ヶ月）には有力であるが、陳舊になるにつれて、やはりその効果は劣るとはいえ、今まで砒素劑を以てしては何等の効果をみなかつた進行性麻痺や脊髓癆に對しても、かなり優秀な成績をあげた報告にも接し、殊にそれに對しては、オーレオマイシンが「ペ」に優る成績をあげているとのことである

「ペ」以外の抗生劑も驅梅劑として近時盛に使用されはじめているが、我國ではまだその域に達していない

以上を通覽して、驅梅劑としては、我國においても、「ペ」及び其他の抗生劑が、將來その主流をなすであろうことは容易に考えられるが、やはり「ペ」單獨で充分な効果をあげることは困難で、砒素劑、蒼鉛劑、水銀劑の存在價値が失われるが如きことはまず考えられない、寧ろこれらの藥劑のたくみなる併用によつてこそ一層の治癒率があげられることであろう、同時に治療はできるだけ早期に開始すべきであり、陳舊になればなる程醫師も患者も根氣よく治療の徹底を期すことが必要である

（本講終り）

ミクニの消化劑
ミクニパンク
房含糖ペプシン
局方パンクレアチン
ピスパン創造元
ミクニ化学産業株式會社
特約店 島居・骨城・田邊

催し
会と

◇實際藥學講習會
（府藥學術部主催）

五月二十日（日）第一日開催して好評を博したがひきつづき

六月三日（日）午前＝食品衞生、午後＝生藥鑑定及試驗、寄生虫檢査

六月十七日（日）午前＝藥品鑑定、午後＝藥品試驗

なお當日會員も二十日同樣受付けるので希望者は府藥又は當日阪大藥學科（會場・螢ヶ池）まで申込むこと

また當日出席できない人にもテキスト（全會期の講義錄）だけを配布するので希望者は〒共一六〇圓を府藥まで送ればよい

◇塩化ビニール講演會

近畿化學工業會塩化ビニール樹脂部會では塩化ビニール工業の技術的展望をこころみる

日時　六月九日（土）午後

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

大連部阿 醫學博士
（長醫科内院病藏大立國）

（講二十第）

驅梅劑の巻

他

の結果、寧ろ
初考えられた
その効力も強
がわかり、こ
Fcestor.
等の臨床實
ろサルバルサ
が實證されて
剤マファルゼ
場したわけで

ルコールの
は安定性も乏
でも劣る點
ncks等によ
を重ねて、安
効果も優れた
り、本邦に
アルゾール
と命名され

バルサンに
は、靜注時
が輕い、注
ない、殊に
作用が殆ど
その効果に
説があるが
毒や先天及
いて優秀性
毒では大差
ている
・〇四瓦）
九）の二種
性等によ
把にいつ
に後者は男
〇ccの減
、調製後
使用した
ルサンと
用するが

一〇～三〇秒以内に注射し終るようにしないと、靜脈に沿うて疼痛を訴える場合がある

「マ」は進駐軍によつて我國に招介された當時は、第一―一〇週「マ」週二回、第一一―一四週休藥第一五週―二四週「マ」週二回、第一―一四週蒼鉛劑週一回、第一九―二四週蒼鉛劑週一回の併用療法を指示されたものであるが、その後我國の經驗から、種々の用法が招介されているが、我々は休藥期間なしに「マ」週二回、蒼鉛劑一回の併用を行い、四〇本を一クールとして血清反應を檢査（早期梅毒ではもづと頻回に檢査）して、更に副作用なき限りは連續に使用している、尚蒼鉛劑に最近水溶性の製品（ブルクラン山之内）があることを附記する

サルバルサンには、發熱、惡心、嘔吐、腎肝障碍、腦炎、顆粒細胞減少症、皮疹、皮膚炎、時としてはサルバルサン死等かなりの副作用があるが、「マ」劑は副作用としても惡心、嘔吐等一過性のものぐらいで、重篤な副作用は皆無といつてよい、從つてサルバルサンの使用できない患者に「マ」劑を使用することができる

「マ」劑として、我國では第一製藥、武田、万有、三共、山之内、塩野義、大日本製藥等から發されている

クロラルゾールは「マ」と同樣エールリッヒ、秦の研究中發見された砒素劑で改正米國藥局方に集錄されているが、このものは「マ」に比して毒性は更に少いか、効力において劣るともいわれ、或は毒性も反つて強いという説もあり、「マ」に比して廣く使用されるに至つていない

驅梅劑としてのペニシリン、一九四三年に Mahoney が、驅梅劑として「ペ」が早期梅毒に有効なことを發表して以來、内外において その驅梅成績は相次いで報告され、現今米國においては「ペ」が驅梅劑の主流をなしているかの觀があり、我國においても「ペ」の低廉化に伴い廣く使用されるに至つている

「ペ」の驅梅劑としての使用法は、梅毒という疾患の複雜性と、慢性病たることゝ、「ペ」使用後尚日淺きことゝ相まつて、未だ決定的なものはないが、油性「ペ」を一日四五―六〇万單位七―一〇日連續使用するのが普通に行われる方法で、「ペ」單獨よりは、やはり砒素、蒼鉛劑併用の方が成功率が高いという説が有力に支持されている、即ち上述の「ペ」療法開始と同時に、「マ」劑週二回、蒼鉛劑週一回（一〇週又はそれ以上）を併用するのである

「ペ」療法は第一期（感染後三週間）第二期（感染後三ヶ月）には有力であるが、陳舊になるにつれて、やはりその効果は劣るとはいえ、今まで砒素劑を以てしては何等の効果をみなかつた進行性麻痺や脊髓癆に對しても、かなり優秀な成績をあげた報告にも接し、殊にそれに對しては、オーレオマイシンが「ペ」に優る成績をあげているとのことである

「ペ」以外の抗生劑も驅梅劑として近時盛に使用されはじめているが、我國ではまだその域に達していない

以上を通覽して、驅梅劑としては、我國においても、「ペ」及び其他の抗生劑が、將來その主流をなすであろうことは容易に考えられるが、やはり「ペ」單獨で充分な効果をあげることは困難で、砒素劑、蒼鉛劑、水銀劑の存在價値が失われるが如きことはまず考えられない、寧ろこれらの藥劑のたくみなる併用によつてこそ一層の治癒率があげられることであろう、同時に治療はできるだけ早期に開始すべきであり、陳舊になればなる程醫師も患者も根氣よく治療の徹底を期すことが必要である

（本講終り）

消化剤の
ミクニパンク
男含糖ペプシン
局方パンクレアチン
ビスパン製造元
ミクニ化学産業株式會社
特約店 鳥居・岩城・田邊

催し会と

◇實際藥學講習會（府藥學術部主催）

五月二十日（日）第一日を開催して好評を博したがひきつづき

六月三日（日）午前＝食品衛生、午後＝生藥鑑定及試驗、寄生虫檢査

六月十七日（日）午前＝藥品鑑定、午後＝藥品試驗

なお當日會員も二十日同樣受付けるので希望者は府藥又は當日阪大藥學科（會場・螢ヶ池）まで申込むことまた當日出席できない人にもテキスト（全會期の講義錄）だけを配布するので希望者は〒共一六〇圓を府藥まで送ればよい

◇塩化ビニール講演會

近畿化學工業會塩化ビニール樹脂部會では塩化ビニール工業の技術的展望をこころみる

日時 六月九日（土）午後一時―五時

會場 大阪市大理工學部大講堂（北區扇町一二、梅田より曾根崎警察北側の道路を大阪プールに向い東へ約八百米南側）

開會の辭

市大 阪大 教授 工博 井本 稔

可塑剤の蒸溜

京大 教授 工博 小森三郎

ポリ塩化ビニールの製造

京大 教授 工博 岡村誠三

ポリ塩化ビニールの化學

東京工 試技官 工博 水谷久一

塩化ビニールの加工

住友電工 技師長 工博 大北忠男

無水フタール酸系可塑劑に關する諸問題

日本觸媒社長 工博 八谷泰造

閉會の辭

日本ダンロップ研究部長 工博 遠藤英麿

◇大藥同窓會

大阪藥專同窓會では第二十三回總會を左記の通り開催する

一、日時

六月九日（土）午後二時

一、場所

大阪市東區道修町四丁目 藥業クラブ

時局講演＝朝日新聞社 松浦直治氏

母校近況報告＝村上先生

右終了後懇親會（會費三百圓當日持參）がおこなわれる

皮膚吸收による…
200円
女性ホルモンの美肌力
天然女性ホルモン 60.000單位
クリーム状 強力美肌薬
滲透性の強い特殊クリーム基剤に高単位女性ホルモンを配合した強力美肌薬です
皮膚吸収による女性ホルモンの偉効で小じわや肌アレを原因的に解消し美しい若肌を短時日に再生します。
アネホルモンA

世界的著名強壯剤
トニクム「ロシユ」
新入荷
食慾を速かに増進し体重を増す、倦怠沈鬱感を除去すること迅速顕著、佳味服用快適小兒

ほんもの
これが眞正品
藥局方 皇國葡萄酒
皇國人參規那鉄葡萄酒
藥局方 皇國コニアク
皇國キナテツ葡萄酒
安心して売れる品

に至つている

「ペ」の驅梅劑としての使用法は、梅毒という疾患の複雑性と、慢性病たることゝ、「ペ」使用後尚日淺きことゝ相まつて、未だ決定的なものはないが、油性「ペ」を一日四五—六〇万単位七—一〇日連續使用するのが普通に行われる方法で、「ペ」單獨よりは、やはり砒素、蒼鉛劑併用の方が成功率が高いという說が有力に支持されている、即ち上述の「ペ」療法開始と同時に、「マ」劑週二回、蒼鉛劑週一回（一〇週又はそれ以上）を併用するのである

「ペ」療法は第一期（感染後三週間）第二期（感染後三ケ月）には有力であるが、陳舊になるにつれて、やはりその効果は劣るとはいえ、今まで砒素劑を以てしては何等の効果をみなかつた進行性麻痺や脊髓癆に對しても、かなり優秀な成績をあげた報告にも接し、殊にそれに對しては、オーレオマイシンが「ペ」に優る成績をあげているとのことである

「ペ」以外の抗生劑も驅梅劑として近時盛に使用されはじめているが、我國ではまだその域に達していない

以上を通覽して、驅梅劑としては、我國においても、「ペ」及び其他の抗生劑が、將來その主流をなすであろうことは容易に考えられるが、やはり「ペ」單獨で充分な効果をあげることは困難で、砒素劑、蒼鉛劑、水銀劑の存在價値が失われるが如きことはまず考えられない、寧ろこれらの藥劑のたくみなる併用によつてこそ一層の治癒率があげられることであろう、同時に治療はできるだけ早期に開始すべきであり、陳舊になればなる程醫師も患者も根氣よく治療の徹底を期すことが必要である

（本講終り）

催し
会と

◇實際藥學講習會

（府藥學術部主催）

五月二十日（日）第一日を開催して好評を博したがひきつづき

六月三日（日）午前＝食品衛生、午後＝生藥鑑定及試驗、寄生虫檢査

六月十七日（日）午前＝藥品鑑定、午後＝藥品試驗

なお當日會員も二十日同樣受付けるので希望者は府藥又は當日阪大藥學科（會場・螢ケ池）まで申込むことまた當日出席できない人にもテキスト（全會期の講義錄）だけを配布するので希望者は〒共一六〇圓を府藥まで送ればよい

◇塩化ビニール講演會

近畿化學工業會塩化ビニール樹脂部會では塩化ビニール工業の技術的展望をこころみる

日時　六月九日（土）午後一時—五時

會場　大阪市大理工學部大講堂（北區扇町一二、梅田より曾根崎警察北側の道路を大阪プールに向い東へ約八百米南側）

開會の辭

市大阪大教授　工博　井本　稔

可塑劑の蒸溜

京大教授　工博　小森三郎

ポリ塩化ビニールの製造

京大教授　工博　岡村誠三

ポリ塩化ビニールの化學

東京工試技官　工博　水谷久一

塩化ビニールの加工

住友電工技師長　工博　大北忠男

無水フタール酸系可塑劑に關する諸問題

日本觸媒社長　工博　八谷泰造

閉會の辭

日本ダンロップ研究部長　工博　遠藤英麿

◇大藥同窓會

大阪藥專同窓會では第二十三回總會を左記の通り開催する

一、日時

六月九日（土）午後二時

一、場所

大阪市東區道修町四丁目

藥業クラブ

時局講演＝朝日新聞社　松浦直治氏

母校近況報告＝村上先生

右終了後懇親會（會費三百圓當日持參）がおこなわれる

ミクニの消化剤
ミクニパンク
局方含糖ペプシン
局方パンクレアチン
ビスパン製造元
ミクニ化学産業株式會社
特約店　島居・府城・田邊

皮膚吸收による…
200円
女性ホルモンの美肌力
天然女性ホルモン 60.000單位
クリーム状 強力美肌薬
滲透性の強い特殊クリーム基剤に高単位女性ホルモンを配合した強力美肌薬です皮膚吸収による女性ホルモンの偉効で小じわや肌アレを原因的に解消し美しい若肌を短時日に再生します。
アネホルモンA

安心して売れる品
ほんもの
これが眞正品
藥局方 皇國葡萄酒
皇國人參現那鉄葡萄酒
藥局方 皇國コニアク
皇國キナテツ葡萄酒

皇國葡萄酒株式会社

世界的著名強壯剤
トニクム「ロシユ」
新入荷

食慾を速かに増進し体重を増す、倦怠沈鬱感を除去すること迅速顕著、佳味服用快適小兒も欣んで服用す
包裝 240瓦入壜

頭痛神経痛 かぜに速効
別府散
岩里天然堂KK
別府市鶴水園

商標登録
宗の万金膏
品質優良・効能第一
ムネ製藥株式会社
淺野尾崎

田邊醫藥品大阪配給所
田邊藥品株式會社
大阪市東區道修町二丁目四番地

最古の歴史・最高の品質
最も新しい染色の色止
桐山の定着劑新發賣
1反分　小賣定價　25圓
南局區内 大阪市
桐山染料

無痛水性ビタミンA注射剤
カツロゲン 皮下
ビタミンA1000圓明単位
5A
25A
50A
製造元 須崎製藥株式會社　代理店 小堺藥品産業株式會社

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

とし，N/10 過マンガン酸カリウム液で滴定する．終末點は液が緑色から橙黄色に變る點とする．

N/10過マンガン酸カリウム液 1cc = 11.66mg $C_{16}H_8O_8N_2S_2Na_2$

貯　法　氣密容器に貯えなければならなら．

常用量　1回 80mg（皮下又は筋肉注射）1回 20mg（靜脈注射）

インシュリン注射液

INJECTIO INSULINI

Inj. Insulin.

インシュリン注射液は食用獸又は魚類のランゲルハンス組織の 血糖降下成分の水溶液を滅菌したもので，表示單位の 95～105% に對應する力價を有する．本品には塩化ナトリウムを加えてはならない．

性　狀　本品は無色～微黄色澄明の液で，通例 pH は 2.5～3.5 である．本品には防腐劑として石炭酸又はクレゾール 0.1～0.25 w/v % 及び安定劑としてグリセリン 1.4～1.8 w/v % を含む．

確認試驗　(1) 本品は pH を 5.1～5.3 にすると沈澱を生ずる．この沈澱は pH を 2.5～3.5 にすると再び溶ける（インシュリン）．

(2) 本品の 5 單位量をあらかじめ 18～24 時間絕食させた体重 1.8～2.2kg の家兎 6 匹に皮下注射するとき，その內少くも 3 匹は痙攣を起し，これに 50w/v % ブドウ糖注射液約 5cc を靜脈內注射すれば痙攣は直ちに止まる．この家兎が更に痙攣を起したときには，痙攣が止まるまで 50w/v % ブドウ糖注射液を注射する．ブドウ糖注射液により痙攣を止めた家兎に食物を與えて飼育するとき，その過半數は少くも 3 日間生存する（インシュリン）．

純度試驗　夾雜蛋白質　本品を一般試驗法第 11 項のセミミクロゲルダール法により窒素を定量するとき，その量は表示した 100 單位量について 1.2mg 以下でなければならない．

定量法　(1) 標準原液　インシュリン標準品を精密に秤り，溶劑（石炭酸又はクレゾール 0.1～0.25 w/v % 及びグリセリン 1.4～1.8

ウ イ キ ョ ウ

FOENICULUM

Foenic 茴香

ウイキョウはウイキョウ *Foeniculum vulgare* Miller (*Umbelliferae*) の果實を乾燥したものである．

性　狀　本品は長圓柱狀の双懸果で，長さ 4～15mm，幅 1～4mm，往々長さ 2～10mm の果柄を有する．表面の色は灰黄緑色～灰黄色で，各懸果は 5 本のロク線を有し，懸果が互に密接している．邊縁のロク線は他より著しく隆起し，各ロク線間に 1 個の大きな油室があり，懸果の合生面には 2 個の油室がある．本品はアネトール臭の芳香と特異の味とを有する．

純度試驗　異物　本品は異物を 4 %以上混有してはならない．

灰　分　本品の灰分は一般試驗法第 8 項により試驗を行うとき，10 %以下でなければならない．

酸不溶性灰分　本品の酸不溶性灰分は一般試驗法第 8 項により試驗を行うとき，1.5 %以下でなければならない．

成分含量　本品 50 g をとり，一般試驗法第 8 項の精油定量法（A）を行うとき，その量は 1.5 cc 以上でなければならない．

常用量　1回 1 g　1日 3 g

ウ イ キ ョ ウ 油

OLEUM FOENICULI

Ol. Foenic. 茴香油

ウイキョウ油はウイキョウを水蒸氣蒸留して得た精油である．

性　狀　本品は無色～類黄色の液で，しばしば白色の固形物を析出している．本品は特異の香氣を有し，味は初め甘く後惡に苦い．比重は

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

インスリン注射液は食用豚又は魚類のランゲルハンス組織の血糖降下成分の水溶液を減圧したもので，表示単位の 95～105% に製する．

性　状　本品は無色～微黄色透明の液で，通例 pH は 2.5～3.5 である．本品には防腐剤としてフェノール 0.1～0.25 w/v % 及び緩衝剤としてグリセリン 1.4～1.8 w/v % を含む．

確認試験　(1) 本品は pH を 5.1～5.3 にすると沈澱を生ずる．この沈澱は pH を 2.5～3.5 にすると再び溶ける（インスリン）．

(2) 本品の 5 単位量をとり，18～24 時間絶食させた体重 1.8～2.2kg の家兎 6 匹に皮下注射するとき，その内少くも 3 匹に痙攣を起し，これに 50w/v % ブドウ糖注射液約 5cc を静脈内注射すれば痙攣は直ちにとまる．この家兎が更に痙攣を起したときには，痙攣が止まるまで 50w/v % ブドウ糖注射液を注射する．ブドウ糖注射液によっても痙攣をとめた家兎に食物を与えて飼育するとき，その過半数は少くも 3 日間生存する（インスリン）．

純度試験　炎症蛋白質　本品を一般試験法第 11 項のセミミクロケルダール法によっても窒素を定量するとき，その量は表示した 100 単位量について 1.2mg 以下でなければならない．

定量法　(1) 標準原液　インスリン標準品を荷電に秤り，燐酸(石炭酸又はクレゾール 0.1～0.25 w/v % 及びグリセリン 1.4～1.8

(6) 定量操作法　家兎の 1 群は少くも3匹とし6群を用い，1 匹ずつ飼育箱に入れ，試験前 24 時間は水以外の食物を與えず，試験中は最後の採血時まで水をも與えない．家兎の取扱いは不必要な興奮を避けるように注意する．各家兎の耳の周縁の靜脈を小切開し，各 0.1cc よりやや過剰で，試験を行うに充分な量の血液を採取する．最初の採血後直ちに検体稀釈液及び標準液の注射量を (5) に從い次のように皮下注射する．

第 1 群　標準液
第 2 群　検体稀釈液 (a)
第 3 群　標準液
第 4 群　検体稀釈液 (b)
第 5 群　標準液
第 6 群　検体稀釈液 (c)

インフルエンザウイルス・ワクチン

VACCINUM VIRI INFLUENZAE

Vac. Viri Influen.

インフルエンザウイルス・ワクチンはインフルエンザウイルスをホルマリンその他適當な藥品によつて不活化し，これを生理食塩液又は他の適當な等張液中に懸垂し防腐劑を加えたものである．これに用いるインフルエンザウイルスは，これを感染させた發育鷄卵の鷄胚外液，なるべく膿尿膜腔液から採取し，赤血球による吸着誘出又はその他の適當な方法により精製する．

本品は A 型ウイルスと B 型ウイルスを含む．本品はインフルエンザの流行型により成分，含量の比及び單位數を異にすることがある．本品は別に定める生物學的製劑基準に適合しなければならない．

性　狀　本品は無臭のほとんど無色澄明の液で，ホルムアルデヒド 0.02%以下及び防腐劑としてエチル水銀チオサリチル酸ナトリウム 0.01 %を含む．

貯法及び有効期間　生物學的製劑基準に定める標示を表示し，遮光した無色の密封容器に入れ 2～10° で貯え，檢定合格の日から 18 カ月以內に使用しなければならない．

常 用 量　1 回 1 cc（皮下又は筋肉注射）
但し 12 才以下は 1 回 0.5 cc 以下

オイキョウ油

OLEUM FOENICULI

Ol. Foenic. 茴香油

オイキョウ油はウイキョウを水蒸氣蒸留して得た精油である．

性　狀　本品は無色～類黃色の液で，レモンに似た香氣を有し，味は初め甘く後僅に苦い．比重は 0.960～0.985 である．本品は 2 倍の油重量;あるいは本品はアネトール 80%以上含有し，融点は 19～21° である．

純度試験　異物　本品は異物を 4 %以上混有してはならない．

灰　分　本品の灰分は一般試驗法第 8 項により灰化するとき，10 %以下でなければならない．

酸不溶性灰分　本品の酸不溶性灰分は一般試驗法第 8 項により灰化するとき，1.5 %以下でなければならない．

成分含量　本品 50 g をとり，一般試驗法第 8 項の精油定量法（A）を行うとき，その量は 1.5 cc 以上でなければならない．

常用量 1 回 1 g　1 日 3 g

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

w/v % を含む N/100 塩酸）に溶かし，その 1cc 中に正確に 20 単位を含むようにし，凍結を避け冷所に貯える．本液は調製後 6 カ月以内に使用しなければならない．

(2) 標準液　標準原液を，標準原液の溶剤を用いて 1cc 中に正確に 1 単位を含むようにうすめる．

(3) 検体のうすめ方　検体を標準原液と同じ溶剤を用いてうすめて，1cc 中約 0.8～1.0 単位と豫想される力価を含むように検体稀釈液 (b) を製し，その力価の 89.3 % を含むものを製して検体稀釈液（a）とし，更に検体稀釈液 (b) の力価 112 % を含むものを製して検体稀釈液 (c) とする．

(4) 試験動物　体重 1.8～2.2kg の健康な家兎を用い，試験前少くも 1 週間は実験室で適当な一定の食物と，常に水とを與えて飼育する．各家兎には判別のため印をつける．この試験には同じ家兎を數回使用することができるが，その間隔は 6 日間以上をおく．

(5) 標準液及び検体稀釈液の注射量　最後の採血時の各家兎の平均血糖量が注射前の平均血糖量の 90 % 以下を示す程度の充分な量を注射する．但しその量は試験に用いた家兎數の 25 % 以上が痙攣を起す量より多くてはならない．家兎体重 2 kg につき通例 0.8～1.0 単位を皮下注射する．体重 2 kg に對する検体稀釈液の注射量と標準液の注射量は等容量とする．

(6) 定量操作法　家兎の 1 群は少くも3匹とし6群を用い，1 匹ずつ飼育箱に入れ，試験前 24 時間は水以外の食物を與えず，試験中は最後の採血時まで水をも與えない．家兎の取扱いは不必要な興奮を避けるように注意する．各家兎の耳の周縁の靜脈を小切開し，各 0.1cc よりやや過剰で，試験を行うに充分な量の血液を採取する．最初の採血後直ちに検体稀釈液及び標準液の注射量を (5) に從い次のように皮下注射する．

第 1 群　標 準 液
第 2 群　検体稀釈液 (a)
第 3 群　標 準 液
第 4 群　検体稀釈液 (b)
第 5 群　標 準 液
第 6 群　検体稀釈液 (c)

分間加熱した後デシケータ（硫酸）中で放冷し秤量するとき，殘留物は 0.5mg 以下でなければならない．

貯　法　密封容器に入れ 1～15° で貯え，検定合格の日から 2 年以内に使用しなければならない．

製　品　通例 1cc 中 10, 20, 40, 80 又は 100 単位を含む．

インフルエンザウイルス・ワクチン

VACCINUM VIRI INFLUENZAE

Vac. Viri Influen.

インフルエンザウイルス・ワクチンはインフルエンザウイルスをホルマリンその他適當な藥品によつて不活化し，これを生理食塩液又は他の適當な等張液中に懸垂し防腐劑を加えたものである．これに用いるインフルエンザウイルスは，これを感染させた發育鷄卵の鷄胚外液，なるべく蛋尿膜腔液から採取し，赤血球による吸着誘出又はその他の適當な方法により精製する．

本品は A 型ウイルスと B 型ウイルスを含む．本品はインフルエンザの流行型により成分，含量の比及び單位數を異にすることがある．本品は別に定める生物學的製劑基準に適合しなければならない．

性　狀　本品は無臭のほとんど無色澄明の液で，ホルムアルデヒド 0.02 %以下及び防腐劑としてエチル水銀チオサリチル酸ナトリウム 0.01 %を含む．

貯法及び有効期間　生物學的製劑基準に定める標示を表示し，遮光した無色の密封容器に入れ 2～10° で貯え，検定合格の日から 18 カ月以内に使用しなければならない．

常 用 量　1 回 1 cc（皮下又は筋肉注射）
但し 12 才以下は 1 回 0.5 cc 以下

第六改正日本藥局方本文(　　)

0.951～0.975, α_D^{20} は +6° 以上である.

純度試驗 (1) アネトール　本品は 0° に冷却するとき白色の結晶を生じて凝固し, この結晶は 5° 以上の溫度で再び全く溶けなければならない.

(2) 偽和物　本品はアルコールの等容量に澄明に溶け, 更に10倍容量のアルコールを加えるとき, 變化してはならない.

(3) 溶狀　本品を蒸留したものは 80 % アルコールの 8 倍容量に澄明に溶け, その液は中性でなければならない.

(4) 重金屬　本品は一般試驗法第 7 項の精油の重金屬試驗を行うとき, これに適合しなければならない.

貯　法　遮光した氣密容器に入れ, なるべく全滿して貯えなければならない.

ウ レ タ ン

URETHANUM

Ureth.

$H_2N{\cdot}CO{\cdot}OC_2H_5$

$C_3H_7O_2N$ = 89.09

性　狀　ウレタンは無臭の無色柱狀結晶又は白色粒狀の粉末で, 清涼な鹽味がある. 本品 1 g は水 0.5 cc, アルコール 1 cc, グリセリン 3 cc, クロロホルム約 1 cc, エーテル約 2 cc 又はオリブ油約 35 ccに溶ける. 本品の水溶液は中性である.

確認試驗 (1) 本品 1 g に硫酸 5cc を加え徐々に加熱するとき, 分解して二酸化炭素を發生する.

(2) 本品 1 g に水酸化ナトリウム試液 5 cc を加え加熱するとき, アンモニアを發生する.

(3) 本品 0.5 g を水 5 cc に溶かし, 無水炭酸ナトリウム 1 g 及びヨウ素 10 mg を加えて加溫するとき, 冷後ヨードホルムの黃色結晶を生ずる.

第六改正日本藥局方本文 (65)

性　狀　本品は無臭の青色～暗青色の粉末又は粒で, 壓縮するとき銅樣の光澤を呈する. 本品は水に暗青色を呈してわずかに溶け, アルコールにはほとんど溶けない.

確認試驗 (1) 本品の水溶液は暗青色で, この色は硝酸, 臭素試液又は鹽素試液を加えると消える. 又この色は水酸化ナトリウム試液及び亞鉛末を加えて加溫すると消える.

(2) 本品を熱灼して得た殘留物は, 一般試驗法第 3 項のナトリウム及び硫酸鹽の反應を呈する.

純度試驗 (1) 不溶物　本品 1g に水 200cc を加えふりまぜて濾過し, 濾紙上の殘留物を洗液が青色を呈しなくなるまで水で洗い 100° で乾燥するとき, その量は 10mg 以下でなければならない.

(2) 酸又はアルカリ　本品 1g を熱湯 20cc に溶かし, 塩化ナトリウム5g を加えてふりまぜ, 冷後濾過し, 濾液 10cc に水 10cc を加えメチルレッド試液を指示藥として中和するとき, N/10 水酸化ナトリウム液又は N/10 塩酸の消費量はいずれも 0.2cc 以下でなければならない.

(3) 澱粉又はヨウ素澱粉　本品 0.2g に水 10cc を加えて2分間煮沸し, 冷後青色が消えるまで臭素試液をふりまぜながら少量ずつ加え, 次にヨウ素試液 2～3 滴を滴加するとき, 青色を呈してはならない.

(4) フェリシアン化物又はフェロシアン化物　本品 0.2g に過酸化水素試液 15cc 及び水酸化ナトリウム試液 10cc を加え青色の消えるまでふりまぜ, 次に液を約 10cc になるまで蒸發し冷後塩酸を加え酸性とし, 硫酸第一鐵試液 2～3 滴を加えるとき, 青色を呈してはならない.

(5) 砒素　本品 0.2g に硝酸カリウム及び無水炭酸ナトリウム各 1g を加えて弱く熱灼し, 殘留物を稀硫酸 30cc に溶かし三酸化硫黃の蒸氣が出始めるまで蒸發し, 水を加えて 10cc としたものにつき一般試驗法第 15 項の砒素の試驗を行うとき, これに適合しなければならない.

乾燥減量　本品を 105° で 2時間乾燥するとき, その 減量は 10 %以下でなければならない.

熱灼殘留物　本品を 105° で 2 時間乾燥し, 硫酸で潤し熱灼し, 再び硫酸で潤して熱灼するとき, 殘留物は 28～38% でなければならない.

定 量 法　本品を 105° で 2 時間乾燥し, その約 200mg を精密に秤り水 30cc に溶かし, 硫酸 1cc を加え磁皿中に入れ水を加えて約 600cc

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 776013

0.2	0.331	0.329	0.327	0.325	0.323	0.321	0.318	0.316	0.314	0.312
0.3	0.310	0.308	0.306	0.304	0.302	0.300	0.298	0.296	0.294	0.292
0.4	0.290	0.288	0.286	0.284	0.282	0.280	0.278	0.276	0.274	0.272
0.5	0.270	0.268	0.266	0.264	0.262	0.260	0.259	0.257	0.255	0.253
0.6	0.251	0.249	0.247	0.245	0.243	0.241	0.240	0.238	0.236	0.234
0.7	0.232	0.230	0.228	0.226	0.224	0.222	0.221	0.219	0.217	0.215
0.8	0.213	0.211	0.209	0.208	0.206	0.204	0.202	0.200	0.199	0.197
0.9	0.195	0.193	0.191	0.190	0.188	0.186	0.184	0.182	0.181	0.179
1.0	0.177	0.175	0.173	0.172	0.170	0.168	0.166	0.164	0.163	0.161
1.1	0.159	0.157	0.155	0.154	0.152	0.150	0.148	0.146	0.145	0.143
1.2	0.141	0.139	0.137	0.136	0.134	0.132	0.131	0.129	0.127	0.125
1.3	0.124	0.122	0.120	0.119	0.117	0.115	0.113	0.111	0.110	0.108
1.4	0.106	0.104	0.102	0.101	0.099	0.097	0.095	0.093	0.092	0.090
1.5	0.088	0.086	0.084	0.083	0.081	0.079	0.077	0.075	0.074	0.072
1.6	0.070	0.068	0.066	0.065	0.063	0.061	0.059	0.057	0.056	0.054
1.7	0.052	0.050	0.048	0.047	0.045	0.043	0.041	0.039	0.038	0.036
1.8	0.034	0.032	0.031	0.029	0.027	0.025	0.024	0.022	0.020	0.019
1.9	0.017	0.015	0.014	0.012	0.010	0.008	0.007	0.005	0.003	0.002

※ N/200 チオ硫酸ナトリウム液の消費量を示す．例えば 1.28 cc ならば上表により血糖量 0.127 % となる．

(8) 計算法

$$\text{血糖減少率} = \frac{\text{注射前血糖量} - \text{注射後3回採血時の平均血糖量}}{\text{注射前血糖量}} \times 100$$

$$\text{指　数} = \frac{\text{検体稀釈液の平均血糖減少率}}{\text{標準液の平均血糖減少率}} \times 100$$

検体稀釈液3種について計算した各指数を縦坐標にとり，初めに検想した検体稀釈液 3 種の 1cc 中の単位を横坐標にとり，このグラフ内に3点の坐標を定め，この 3 點を結ぶ曲線を書く．縦坐標の 100 より水平に直線を引き，先の曲線との交叉點の横坐標を求めると，検体 1cc 中に含まれる単位數となる．

灰　分　本品の表示 500 單位に對應する量を重量既知の白金皿にとり，水浴上で徐々に蒸發乾燥し，硝酸 2 滴を加え，初め弱く後强く加熱して灰化する．次にマッフル爐中で弱い赤熱から中等度の赤熱狀態に 15

注射のときから 1 時間半後，3 時間後及び 5 時間後に採血し各その血糖量を定量する．上記の操作法に從い少くも 6 群 18 匹の家兎を用い，標準液及び 3 種の検体稀釋液を後記の計算法により比較定量する．

(7) 血糖定量法　内徑 15mm，長さ 150mm の試驗管中に 0.45 % 硫酸亜鉛溶液 5cc をとり，これに N/10 水酸化ナトリウム液 1 cc を加え，生ずる膠狀沈澱をよく混和し，これに血糖用ピペット（後記）を用いて血液 0.1cc を加え，ピペットでこの混合液を吸上げて内容物を完全に管内に吹出し，更に 1 回この操作を繰返した後試驗管の内容をよく混和し水浴中で 3 分間加熱する．この液を徑 3～4 cm の漏斗に少量の潤した脫脂綿を輕くつめて濾過し，濾液は内徑 30mm，長さ 90mmの試驗管にとり，漏斗及び脫脂綿を水 3cc ずつで 2 回洗い，洗液は濾液に合し，これにアルカリ性フェリシアン化カリウム試液 2cc を加え，水浴中で 15 分間加熱した後冷却し，ヨウ化カリウム硫酸亜鉛試液 3cc を加え更に氷酢酸 3cc に水を加えて 100cc とした液 2cc を加え，遊離したヨウ素を N/200 チオ硫酸ナトリウム液で滴定する（指示藥澱粉塩化ナトリウム試液 2～4 滴）．別に同樣の方法で空試驗を行う．又使用する N/200 チオ硫酸ナトリウム液は毎回 M/1200 ヨウ素酸カリウム液 2cc を用いて標定する．N/200 チオ硫酸ナトリウム液の消費量（cc）から次表により糖量の % を求める．

血糖用ピペット：全長約 20cm，尖端から 0.1cc の標線まで 10～12 cm とする．ピペットの検定は，これを用いて M/60 ヨウ素酸カリウム液を標線までとり，採血の場合と同じ方法で内容物を水 10cc 中に吹出し，3 % 酢酸 2cc 及び 5 % ヨウ化カリウム液 0.5cc を加え N/200 チオ硫酸ナトリウム液で滴定する．又別に同じ M/60 ヨウ素酸カリウム液 10cc を採り，水を加えて 200cc とし，その 2cc に水 10cc を加え

ウレタン
URETHANUM

Ureth.

$H_2N{\cdot}CO{\cdot}OC_2H_5$　　$C_3H_7O_2N$ = 89.09

性　狀　ウレタンは無臭の無色甘味結晶又は白色粒狀の粉末で，清涼な味がある．本品 1 g は水 0.5 cc，アルコール 1 cc，グリセリン 3 cc，クロロホルム約 1 cc，エーテル約 2 cc 又はオリブ油約 35 cc に溶ける．本品の水溶液は中性である．

確認試驗　(1) 本品 1 g に硫酸 5cc を加え強く加熱するとき，分解して二酸化炭素を發生する．

(2) 本品 1 g に水酸化ナトリウム試液 5 cc を加え加熱するとき，アンモニアを發生する．

(3) 本品 0.5 g を水 5 cc に溶かし，無水炭酸ナトリウム 1 g 及びマグネシウム 10 mg を加えて加溫するとき，冷後ヨードホルムの黃色結晶を生ずる．

乾燥減量　本品を 105° で 2 時間乾燥するとき，その減量は 10 % 以下でなければならない．

強熱殘留物　本品を 105° で 2 時間乾燥し，硫酸で潤し熱灼し，再び硫酸で潤して熱灼するとき，殘留物は 28～38% でなければならない．

定量法　本品を 105° で 2 時間乾燥し，その約 200mg を精密に秤り水 30cc に溶かし，硫酸 1cc を加え磁皿中に入れ水を加えて約 600cc

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

1 週間後，檢体稀釋液及び標準液の等量を次のように皮下注射する．

第 1 群　檢体稀釋液 (a)
第 2 群　標 準 液
第 3 群　檢体稀釋液 (b)
第 4 群　標 準 液
第 5 群　檢体稀釋液 (c)
第 6 群　標 準 液

注射のときから 1 時間半後，3 時間後及び 5 時間後に採血し各その血糖量を定量する．上記の操作法に從い少くも 6 群 18 匹の家兎を用い，標準液及び 3 種の檢体稀釋液を後記の計算法により比較定量する．

(7) 血糖定量法　内徑 15mm，長さ 150mm の試驗管中に 0.45 % 硫酸亜鉛溶液 5cc をとり，これに N/10 水酸化ナトリウム液 1 cc を加え，生ずる膠狀沈澱をよく混和し，これに血糖用ピペット（後記）を用いて血液 0.1cc を加え，ピペットでこの混合液を吸上げて内容物を完全に管内に吹出し，更に 1 回この操作を繰返した後試驗管の内容をよく混和し氷浴中で 3 分間加熱する．この液を徑 3～4 cm の漏斗に少量の潤した脫脂綿を輕くつめて濾過し，濾液は内徑 30mm，長さ 90mmの試驗管にとり，漏斗及び脫脂綿を水 3cc ずつで 2 回洗い，洗液は濾液に合し，これにアルカリ性フェリシアン化カリウム試液 2cc を加え，水浴中で 15 分間加熱した後冷却し，ヨウ化カリウム硫酸亜鉛試液 3cc を加え更に氷酢酸 3cc に水を加えて 100cc とした液 2cc を加え，遊離したヨウ素を N/200 チオ硫酸ナトリウム液で滴定する（指示藥澱粉塩化ナトリウム試液 2～4 滴）．別に同様の方法で空試驗を行う．又使用する N/200 チオ硫酸ナトリウム液は毎回 M/1200 ヨウ素酸カリウム液 2cc を用いて標定する．N/200 チオ硫酸ナトリウム液の消費量（cc）から次表により糖量の % を求める．

血糖用ピペット：全長約 20cm，尖端から 0.1cc の標線まで 10～12 cm とする．ピペットの檢定は，これを用いて M/60 ヨウ素酸カリウム液を標線までとり，採血の場合と同じ方法で内容物を水 10cc 中に吹出し，3 % 酢酸 2cc 及び 5 % ヨウ化カリウム液 0.5cc を加え N/200 チオ硫酸ナトリウム液で滴定する．又別に同じ M/60 ヨウ素酸カリウム液 10cc を採り，水を加えて 200cc とし，その 2cc に水 10cc を加え

N/200 チオ硫酸ナトリウム液で滴定するとき，前後の滴定値の誤差は 0.5 % 以内とする．

血糖量 (%) 換算表

※cc	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0.0	0.385	0.382	0.379	0.376	0.373	0.370	0.367	0.364	0.361	0.358
0.1	0.355	0.352	0.350	0.348	0.345	0.343	0.341	0.338	0.336	0.333
0.2	0.331	0.329	0.327	0.325	0.323	0.321	0.318	0.316	0.314	0.312
0.3	0.310	0.308	0.306	0.304	0.302	0.300	0.298	0.296	0.294	0.292
0.4	0.290	0.288	0.286	0.284	0.282	0.280	0.278	0.276	0.274	0.272
0.5	0.270	0.268	0.266	0.264	0.262	0.260	0.259	0.257	0.255	0.253
0.6	0.251	0.249	0.247	0.245	0.243	0.241	0.240	0.238	0.236	0.234
0.7	0.232	0.230	0.228	0.226	0.224	0.222	0.221	0.219	0.217	0.215
0.8	0.213	0.211	0.209	0.208	0.206	0.204	0.202	0.200	0.199	0.197
0.9	0.195	0.193	0.191	0.190	0.188	0.186	0.184	0.182	0.181	0.179
1.0	0.177	0.175	0.173	0.172	0.170	0.168	0.166	0.164	0.163	0.161
1.1	0.159	0.157	0.155	0.154	0.152	0.150	0.148	0.146	0.145	0.143
1.2	0.141	0.139	0.138	0.136	0.134	0.132	0.131	0.129	0.127	0.125
1.3	0.124	0.122	0.120	0.119	0.117	0.115	0.113	0.111	0.110	0.108
1.4	0.106	0.104	0.102	0.101	0.099	0.097	0.095	0.093	0.092	0.090
1.5	0.088	0.086	0.084	0.083	0.081	0.079	0.077	0.075	0.074	0.072
1.6	0.070	0.068	0.066	0.065	0.063	0.061	0.059	0.057	0.056	0.054
1.7	0.052	0.050	0.048	0.047	0.045	0.043	0.041	0.039	0.038	0.036
1.8	0.034	0.032	0.031	0.029	0.027	0.025	0.024	0.022	0.020	0.019
1.9	0.017	0.015	0.014	0.012	0.010	0.008	0.007	0.005	0.003	0.002

※ N/200 チオ硫酸ナトリウム液の消費量を示す．例えば 1.28 cc ならば上表により血糖量 0.127 % となる．

(8) 計算法

$$\text{血糖減少率} = \frac{\text{注射前血糖量} - \text{注射後 3 回採血時の平均血糖量}}{\text{注射前血糖量}} \times 100$$

$$\text{指　数} = \frac{\text{檢体稀釋液の平均血糖減少率}}{\text{標準液の平均血糖減少率}} \times 100$$

檢体稀釋液 3 種について計算した各指數を縦坐標にとり，初めに豫想した檢体稀釋液 3 種の 1cc 中の單位を横坐標にとり，このグラフ内に 3 點の坐標を定め，この 3 點を結ぶ曲線を畫く．縦坐標の 100 より水平に直線を引き，先の曲線との交叉點の横坐標を求めると，檢体 1cc 中に含む單位數となる．

灰　分　本品の表示 500 單位に對應する量を重量既知の白金皿にとり，水浴上で徐々に蒸發乾燥し，硫酸 2 滴を加え，初め弱く後强く加熱して灰化する．次にマッフル爐中で暗い赤熱から中等度の赤熱狀態に 15

週間商況（道修町市場）

金詰りに依然軟調

北濱、本町共に好材料なく潮落、暴落と軟調を續け、その主な原因が金融の逼迫からとあつては、道修町もその影響を受けて一向に冴えないのはやむを得ない道理、新特需に直接恩惠を受けない業界ではその對策のインフレ抑制の金融引緊めの面だけがヒシ〳〵とこたえ金繰策を講めてかゝらぬと日米經濟協力が軌道に乘り出すまでに悲鳴を擧げぬとも限らない

月末ともなれば毎度のことながら「去年も悪かつたがこれ程まではおまへなんだ」とは今年は金繰金ぐり面の悪い年らしい

醫藥品

碓セリ
非鐵金屬の軟調から續落し遂に大合劑れの五〇〇瓦九〇〇圓と二五〇圓暴落

白色ワセリン
輸入の好調に品薄も解消し二〇〇圓と一氣に七〇圓下押

コンヅランゴX
一時は一〇〇〇圓を上回つていたが需要が輸入に伴はず續落して遂に五三〇圓と突込む

炭酸グアヤ
先週投物で値崩れしていたが投物一巡で三〇〇〇圓と踊り

生藥

太棗
端境期の品切れで四五〇圓と高値を唱えていたが唐物が輸入され四二〇圓と三〇圓下押

巴豆
太倉岡機輸入の好調で一氣に二〇〇〇圓下押して一五〇〇圓

麻黄
ペキスタン、香港から續々順調に輸入があり一七〇圓と又三〇圓下押

工業藥品

塩酸
變承期に入つてソーダが增産されるに反し塩酸は需要不振で要急ぎから五〇〇瓦三〇圓と値崩れ

晒紛
塩酸同樣增産されるにもかゝわらず製紙繊方面の消化不良でダブつき又五圓方續落して三〇圓と軟調

商況ニュース

前月比十億の減少

醫藥品等四月生產高

厚生省藥務局發表による四月分の醫藥品生産販賣高は三月よりかなり減じ生産高において は十億圓の差を生じているが、これは三月の報告件數九五〇件に對し四月は八〇〇件、一千万圓以上の生販會社が三月は九四件に對し四月は六四件となつたためである

しかしこれは三月の對象件數が異常で四月は平常に復したことを示すもので、二月と比較した場合は約一億圓の增となつている

四月の特徴としては脫脂綿の生産がかなり減じていることで、これに一般醫藥品、家庭藥が續いている、なお四月分の醫藥品生産、販賣高及び指定配給品の生産販賣高は次の通り（單位圓）

品目	生産高	販賣金額
醫藥品	二、八四九、〇二一、二五八	二、七四二、八四三、七四三
指定配給品	一二〇、三六八、二四〇	一二〇、三六八、二四〇
非指定配給品	二、八二〇、九四八、〇一八	二、六二一、四七四、五〇三
家庭藥	四四〇、八二七、〇二五	四四〇、八二七、〇二五
細菌製劑	三五五、〇五〇、八五五	三五五、〇五〇、八五五
醫療用品	四三五、九二七、四四〇	四三五、九二七、四四〇
歯科器械	一八、三六五、一四〇	一八、三六五、一四〇
〃材料	三一、三七七、二五〇	三一、三七七、二五〇
衛生材料	二一〇、〇四四、三五〇	二一〇、〇四四、三五〇
ガーゼ	八二、九四二、八四〇	八二、九四二、八四〇
脫脂綿	一八二、七四〇、〇〇〇	一八二、七四〇、〇〇〇
繃帶	四四、八六四、五五〇	四四、八六四、五五〇
ゴム衛生用品	四五、九二三、八四〇	四五、九二三、八四〇
合計	四、三二〇、九八九、〇一八	四、三二〇、九八九、〇一八

指定配給品生産販賣高

品目	生產高	販賣數量	販賣金額
サントニン	二、六四九、〇二一瓦	二、七四二、八四三瓦	二、六二一、四七四、五〇三
サントニン錠	九、七四四、〇〇〇錠	八、三四三、〇〇〇錠	四、一七一、五〇〇
スルフアピリミヂン	三、九二四、〇一〇瓦	三、八四三、二五〇瓦	一、九二一、五〇〇
〃錠	九四、二五〇錠	九二、五〇〇錠	四六、〇〇〇
ジウレチン	九二、七五五瓦	九一、三五〇瓦	四五、六七五
ストレプトマイシン	九二、三五六瓦	九一、三五〇瓦	四五、六七五

醫界だより

アンプル印刷に新機軸

東京の三共製藥ではこの程二色刷りのアンプル自動印刷機を試動中であるが、このタルバーアンプル印刷機によれば一分間に百本を印刷可能となり、從來の印刷機では四十四、五人の女工さんを必要としたものが僅か二、三人で間に合う、又大阪でも㊫で自動二色刷の試驗中で近く劇藥、輸入品、新製品に使用の推定で間もなくこれらの高精能の機械が美麗なアンプルを提供し、經營の合理化と製品の向上に一役買うものと期待されている

㊫武田、塩野義、第一株定總會

去る廿五日武田藥工、塩野義製藥では株主總會を開催、今期利益金處分案が可決された、附社の貸借對照表、損益計算書、利益金處分中主項目は次の通り

☆武田藥工（單位千圓）

再評價積立六二五、七二一
一般債四七二、〇〇〇
資本金一、一五〇、一六〇
資上高三、四七三、〇〇〇
當期純益三一二、五
稅金引當一〇九、七〇〇
株主配當四九、〇五〇
員賞與六、〇〇〇後期
越六、四二五

因に配當率は一割五分年三割となり、驚査役伊藤純一郎氏重任

☆塩野義製藥（單位千圓）

再評價積立二七六、三社債一二〇、〇〇〇
掛三五一、六六五
資上高四〇八、一四一
期純益五六、四〇〇
稅金引當二〇、〇〇〇
主配當二、〇〇〇後期
當賞一、〇〇〇後期と三
四、一六三

因に配當率は五分增の割となり、取締役に堀太郎、田中重猿、内山で一の三氏、驚査役に萱田氏を新任

☆第一製藥（單位千圓）

再評價積立一三五、〇借入金一三一、六九資掛一一一、六九六、七〇資上高七九四、八〇期純益九三、六七納稅引當三三、八〇主配當一〇、五〇〇賞與一、五〇〇後期二、四五六

因に配當率は普通二割特別一割

ネオドリ
富士藥品工業

疲勞の科學

××評書映畫××

とかく退屈になりがちな三標の疲勞の仕方を描きつこの種の映畫を面白く、解り、要所々はナラタージり易く見せようとした苦心ュと映畫で疲勞の生理學を說明している、撮影、音響、人物の演技、いずれも水準の作

もともとこの映畫は會社の宣傳を兼ねているのだが、將來の科學者は和歌や尺入家族の長男を置勞働者（壓延作業）、長女をタイピスト、次男を學生にして三者余り關係のない所で三共の

電飾廣告などがとび出すのは少し無理の氣味があり過ぎたるは及ばざる感じもう一つ感をいえば、常識と科學の區別をもつと鮮明に印象づけるべきだつた

もつともそれが本當にできるには、映畫技術が到達した豐富な表現能力を科學者が自らマスターし、「映畫專門家」を煩わさずとも脚本や撮影台本が書ける位にならないといけない、その店では鳥谷市兵衛三共の（南風高津西坂下）

紙上紹介

㊫大阪醫藥品協會年報

昭和二十六年版はじめに「道修町を中核とする藥都大阪の動態、それはそのまゝ日本藥業界の縮圖である」といつている如く、沿革篇には維新以前の醫藥品、明治以後の製鏈、それから現代に至るまで歷史的に記述されているそのほか企業篇、藥務篇、資料篇その他でグラフ、表をつかい、特に終戰後の藥業界の變動時期によく資料をまとめてあり、大方の參考になるだろう（大阪醫藥品協會）

㊫香料のメーカー及び專門卸問屋

問　右の住所、店名をお知らせ下さい（大分縣・安達榮局）

答　お尋ねは藥品香料の扱店と思いますが、大阪のメーカーとしては塩野化工KK（東區町三）、小川香料KK（東區平野町三）、田村KK（東區淡路町二）、KK（東區道修町二）があります、專門卸問屋としては辰造商店（東區道修町二、長岡香料KK（東區道修町二）があります

㊫黒燒の專門店

問　右の店名、住所をお知らせ下さい（大分縣のだが好評で）

答　戰後新しい店が澤山出來ていますが、古くから筋の店では鳥谷市兵衛三共（南區高津西坂下）名であります

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 77501?

商況ニュース

前月比十億の減少
醫藥品等 四月生産高

厚生省藥務局發表による四月分の醫藥品生産販賣高は三月よりかなり減じ生産高において十億圓の差を生じているが、これは三月の報告件數九五〇件に對し四月は八〇〇件、一千万圓以上の生産會社が三月は九四件に對し四月は六四件となつたためである
しかしこれは三月の對象件數が異常で四月は平常に復したことを示すもので、二月と比較した場合は約一億圓の増となつている
四月の特徴としては脫脂綿の生産がかなり減じていることで、これに一般醫藥品、家庭藥が續いている、なお四月分の醫藥品生産、販賣高及び指定配給品の生産販賣高は次の通り（單位圓）

品目	生産高	販賣金額
醫藥品	三、八四九、〇八一、三六八	三、九三五、八七七、七三三
指定配給品	一二〇、三六八、一五二	七七、〇二二、六四四
非指定配給品	三、八二〇、四四四、二一六	三、八五三、八〇五、〇九六
家庭藥	四四〇、八二七、八七六	四六八、九五九、三七六
細菌製劑	四五二、〇五〇、八五五	一三五、四二八、七二五
醫療用品	四五二、九七七、八四〇	五四四、四八六、八九六
齒科器械	一八、二八四、一五〇	一七、八五二、一三〇
〃材料	三一、七七、七五五	三三、九二二、〇四四
衞生材料	三一〇、〇四四、三五五	二七、四五九、六三一
ガーゼ	八二、四九七、〇四四	七一、〇八八、〇四四
脫脂綿	一八二、七四〇、三五五	一六八、八四四、三四〇
繃帶	四四、八六六、四三五	三九、八七九、二四四
ゴム衞生用品	四二、九二二、七二〇	四四、七四四、〇四〇
合計	四、四五〇、七〇五、三〇六	三、八八八、四六六、八四〇

指定配給品生産販賣高		
品目	生産數量	販賣數量
サントニン	二六七、〇〇〇瓦	三五六、三七五
サントニン錠	九七、一四〇、〇〇〇錠	八、三三五、九四〇
スルフアピリミヂン	三、九六五、〇一〇瓦	三、八七一、二四〇
〃錠	二六五、九四〇錠	一、七五五、四四〇
ジウレチン	九二、七五五瓦	九二、七五五瓦
ストレプトマイシン	九九、三〇六瓦	九九、三〇六瓦

紙上紹介

◉大阪醫藥品協會年報

昭和二十六年版はじめに「道修町を中核とする藥都大阪の動態、それはそのまゝ日本藥業界の縮圖である」といつている如く、沿革篇には維新以前の醫藥品、明治以後の製藥、それから現代に至るまで歷史的に記述されているそのほか企業篇、藥務篇、資料篇その他でグラフ、表をつかい、特に終戰後の藥業界の變動時期により資料をまとめてあり、大方の參考になるだろう（大阪醫藥品協會）

◉香料のメーカー及び專門卸問屋

問 右の住所、店名をお知らせ下さい（大分縣・安藤藥局）
答 お尋ねは藥品香料の扱店と思いますが、大阪のメーカーとしては塩野化工KK（東區道修町三）、小川香料KK（東區平野町三）、田村香料KK（東區淡路町二）、專門卸問屋としては關住辰巳商店（東區道修町三）、長岡香料KK（東區道修町二）があります

◉黒燒の專門店

問 右の店名、住所をお知らせ下さい（大分縣・安藤藥局）
答 殘念新しい店が澤山出來ていますが、古くからの店では鳥谷市兵衞商店（南區高津西坂下）が有名であります

業界だより

アンプル印刷に新機軸

東京の三共製藥ではこの程二色刷りのアンプル自動印刷機を試動中であるが、このクルバーアンプル印刷機によれば一分間に百本を印刷可能となり、從來の印刷機では四十四、五人の女工さんを必要としたものが僅か二、三人で間に合う、又大阪でも㊫で自動二色刷の試驗中で近く剛藥、輸入品、新製品に使用の檢定で間もなくこれらの高精能の機械が美麗なアンプルを提供し、經費の合理化と製品の向上に一役買うものと期待されている

◉武田、塩野義、第一株主總會

去る廿五日武田藥工、塩野義製藥では株主總會を開催、今期利益金處分案が可決された、兩社の貸借對照表、損益計算書、利益金處分中主項目は次の通り（單位千圓）
☆武田藥工（單位千圓）
再評價積立六二五、七二一
一株價四七二、〇〇〇圓
掛一、一五〇、一六〇
東上高三、四七三、三一〇
〇當期純益三一二、二九五
稅金引當一〇九、七〇〇
株主配當四九、〇五〇役
員賞與六、〇〇〇後期繰越四二五
因に配當率は一割五分増の年二割となり、監査役には伊藤紹一郎氏重任
☆塩野義製藥（單位千圓）
再評價積立三七六、四五三
社債一二〇、〇〇〇圓
掛三五一、六六五
賣上高四〇八、一四一當期純益五六、四〇〇
稅金引當二〇、〇〇〇株主配當二二、〇〇〇役員賞與一、〇〇〇後期繰越四、一六三
因に配當率は五分増の年一割五分となり、取締役に堀内佐太郎、田中熊穗、内山直三の三氏、監査役に芦田泰三氏を新任
☆第一製藥（單位千圓）
再評價積立一三五、九三〇借入金一三一、六〇〇賣掛一一、六九六賣上高七九四、八〇九當期純益九三、六七一納稅引當三二、〇〇〇主配當一〇、五〇〇役員賞與一、五〇〇後期繰越二、四五六
因に配當率は普通二割五分特別一割

ネオドリン
富士藥品工業社

品切れ責任取扱品 高 高橋盛大堂

渗透性の貼布藥
サロンパス
SALONPAS PLASTER
… 痛みとこりに用う …
定價 ¥40
本舗
久光兄弟株式會社
佐賀縣三〇二町代田

湿布に純綿 オスモン
軟い感觸と乾燥のない湿布藥
潤澤な原料生産工場の技術の成果
廣島・打越・十六
東邦醫化工業株式會社

白然の美しい 黒髪とふる 恋が 赤毛 染 るり羽

胃腸藥 中島正露丸
大阪府吹田市濱之堂二〇七〇番地
大幸藥品株式會社

好評の 高級通經藥 —ロカイ・サフラン— ホルモン錠配
七日分四百五十圓
★新發賣／普及型二百円（五六錠入）
代理店 高橋盛大堂
パール錠

紙上紹介

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 77503

業界だより

アンプル印刷に新機軸

東京の三共製薬ではこの程二色刷りのアンプル自動印刷機を試動中であるが、このタルバーアンプル印刷機によれば一分間に百本を印刷可能となり、従来の印刷機では四十四、五人の女工さんを必要としたものが僅か二、三人で間に合う、又大阪でも㊐で自動二色刷の試験中で近く劇薬、輸入品、新製品に使用の豫定で間もなくこれらの高精能の機械が美麗なアンプルを提供し、經營の合理化と製品の向上に一役買うものと期待されている

◉武田、塩野義、第一株主總會

去る廿五日武田藥工、塩野義製藥では株主總會を開催、今期利益金處分案が可決された、兩社の貸借對照表、損益計算書、利益金處分中主項目は次の通り

☆武田藥工（單位千圓）

再評價積立六二五、七二一社債償還六二、〇〇〇資本金一、一五〇、一六〇

資上高三、四七三、三一〇當期純益三一二、二九五

稅金引當一〇九、七〇〇株主配當四九、〇五〇役員賞與六、〇〇〇後期繰越六、四二五

因に配當率は一割五分增の年三割となり、監査役には伊藤純一郎氏重任

☆塩野義製藥（單位千圓）

再評價積立二七六、四五三社債一二〇、〇〇〇資本金一、六六五

資上高四〇八、一四一當期純益五六、四〇〇稅金引當二〇、〇〇〇株主配當一二、〇〇〇役員賞與一、〇〇〇後期繰越四、一六三

因に配當率は五分增の年二割となり、取締役に堀内佐太郎、田中熊穗、內山直三の三氏、監査役に芦田泰三氏を新任

☆第一製藥（單位千圓）

再評價積立一三五、九三〇借入金一三一、六〇〇資本金一一一、六九六資上高七九四、八〇九當期純益九三、六七一納稅引當三二、八〇〇株主配當一〇、五〇〇役員賞與一、五〇〇後期繰越二、四五六

因に配當率は普通二割五分特別一割

ネオドリン
富士藥品工業社

紙上紹介

◉香料のメーカー及び專門卸問屋

問　右の住所、店名をお知らせ下さい（大分縣・安達藥局）

答　お尋ねは藥品香料の扱店と思いますが、大阪の

資料篇その他でグラフ、表をつかい、特に終戰後の藥業界の變動時期によく資料をまとめてあり、大方の參考になるだろう（大阪醫藥品協會）

メーカーとしては

塩野化工KK（東區道修町三）、小川香料KK（東區平野町三）、田村香料KK（東區淡路町二）、專門卸問屋としては福住辰造商店（東區道修町三）、長岡香料KK（東區道修町二）があります

◉黒焼の專門店

問　右の店名、住所をお知らせ下さい（大分縣・安達藥局）

答　戰後新しい店が澤山出來ていますが、古くからの店では鳥谷市兵衞商店（南區高津西坂下）が有名であります

高橋盛大堂 ㊐ 責任取扱品

薬布貼の性透渗

サロンパス
SALONPAS PLASTER
… 痛みとこりに用う …
定價 ¥ 4·0
本舗
久光兄弟株式會社
佐賀縣田代町二〇三

純綿 湿布に
オスモン
軟い感觸と乾燥のない濕布藥
調澤な原料生產工場の技術の成果
廣島・打越・十六
東邦藥化工業株式會社

自然の美しい
黒髪とふる
志らが
赤毛 染 るり羽

胃腸藥
中島正露丸
大阪府吹田市浜之堂一〇七〇番地
大幸藥品株式會社

好評の
高級通經藥
—ロカイ・サフラン—
—ホルモン主配—
七日分四百五十圓
★新發賣！普及型二百円（五六錠入）
代理店　高橋盛大堂
パール錠

ウスキン印
後藤散
頭痛、齒痛、神經痛
感冒、ロイマチス
大分縣臼杵市　臼杵製藥株式会社

小兒食藥
宇津救命丸
消化健胃劑
胃正
頭痛眩暈藥
江戸捌
株式會社　宇津權右衞門藥房

はれものにぐんぐん
吸出し無膏
たこの吸出し
本舗　町田製藥
東京巢鴨一ノ八一

特に慢性の耳鳴、耳漏、耳内炎、聽力減退に好評、耳鳴を消し靜かに鎭痛させ心地よく回復させる獨特の療法にあり！
有名藥店にあり
東京・文京區關生町
石原製藥株式會社

くるしい、ハシカもこれで安心
たくさんのコトモを救つた
相知百咳の藥
本舗　合名會社　溝上製藥所
佐賀縣相知町

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

大阪市場値段 △印前報より高い ○印前報より安い

〔醫藥〕

(品名)	(包装及単位)	(値段円)
アーオー	#2	460
アルバジル錠	20T	145
ネオアルバジル末	500g	3600
ネオアルバジル錠	20T	155
アークレミン注	2cc10A	120
アレビアチン錠	100T	230
〃	30T	70
アクリナミン	100T	100
〃	30T	50
アクリノール末	10g	250
アトニン	6A	360
アミノコルヂン注	1cc10A	180
アストセダン注	5A	180
アクチゾール注	2cc10A	140
アクチワイス注	〃	60
アスピリン	500g	750
〃	25g	45
アスピリン錠	20T	24
アミノピリン	500g	2700
〃	25g	160
アミノピリン錠	30T	45
○アネステジン	25g	135
○〃	500g	1800
亜砒酸	25g	15
アルシリン	500g	350
アルシリンワイス	500g	品切
アルゼノベンゾール	#1.	25
ナトリウム	#2.	38
〃	#3.	44
〃	#4.	50
〃	#5.	60
アヂブロン注	10A	200
アクリフラビン末	g	13
アセトアニリド	500g	290
〃	25g	24
アルコール	500g	440
アルコール純	〃	580
アルコール稀	〃	360
○安息香酸	〃	900
○安息香酸ソーダ	〃	850
安息香チンキ	〃	500
○安ナカ	500g	2900
○ 〃	25g	170
アンチピリン	500g	2600
〃	25g	170
亜鉛華	500g	240
亜鉛華軟膏	〃	350
亜鉛華澱粉	500g	140
アセトスルフアミン	〃	2650
〃	25g	140
アクタミン	5m	70
〃	10m	120
アクリノール末	10g	250
アトニン	6A	360

エフエドリン末	5g	600
〃(ナガイ)	20T	95
エフエドリン注	1cc10A	140
エキホス粉末	500g	品切
エルスチン注	2cc10A	90
エルスチン	2×50A	350
エナルモン注	5A	600
塩酸シノメニン注	1cc10A	200
塩酸エピレナミン	25cc	75
〃 液	100cc	220
塩酸エピレナミン注	1×10	85
塩化アンモン	500g	150
塩化第二鐵液	500g	130
塩化石灰注	20×5	50
塩化石灰(食用)	500g	180
塩酸キニーネ	〃	1800
〃	25g	110
塩規錠	10T	20
〃	100T	150
〃	1000T	950
塩素酸加里	500g	130
エチル炭酸キニーネ	25g	180
〃	500g	3400
エンツアイマ	500g	品切
エキリヂン末	500g	130
〃 錠	100T	36
エモール注	2×10	90
鹽酸プロカイン注	2×10	60
〃 末	25g	350
エスチモン注	3號10A	220
〃 錠	100T	175
塩酸エメチン注	1×10	350
エタイノキシル	25g	35
液狀石炭酸	500g	290
エーテル	500g	350
エスチモンパスタ	30g	115
エネツクス	5A	85
エバクレーム	20g	95
エビオス末	500g	370
〃 錠	300T	91
〃 B_1注	10mg 10A	118
〃	20mg 10A	180
〃 B_2注	5mg 10A	500
〃 B_1 B_2	2號 10A	70
〃	5.5m 10A	125
〃 B_1末	500g	200
○〃 C注	1×10	90
〃	2×10	125
〃 C末	500g	1300
〃 無痛C注	1×10	110
〃	2×10	145
エルチン錠	30T	110
エルゴトン	1×10	102
オキシドール	500g	50
〃 (三共)	100g	27
塩化第二鐵液	500g	130

カンフルオレーフ油	1×10	40
カチーフ錠	100入	120
〃 注	10A	145
カスカラ錠 三共		125
〃 他社		40
カンフエナール注	10A	150
カフセル100入	00號	60
〃 〃	0號	55
〃 〃	1號	55
〃 〃	2號	50
〃 〃	3號	50
加香ヒマシ油	500g	230
〃	25g	27
カーボン末	500g	450
甘藷殿粉	500g	90
肝油球	250入	130
肝油 眼鏡印	250g	230
果糖注	5A	80
カルチコール注	5cc10A	150
〃	2cc 10A	100
還元鐵	500g	220
キノフエン	25g	220
〃 錠		75
杏仁水	500g	170
稀沃丁	500g	300
規鐵丸	100入	100
キナ皮	500g	350
キノヨヂン	500g	3500
吉草チンキ	500g	450
キナ流動エキス	〃	500
強メタボリン錠	100T	75
強メタボリン注	5m	80
銀エレクロイド注		10
ギナントール	10A	100
稀鹽酸	500g	65
キナボン	2×10	200
強サリソアミノン	20×5	178
苦味チンキ	500g	360
○グリセリン	〃	290
グルコン酸石灰	〃	1300
〃	25g	90
クレオソート丸	100丸	40
クレオソート	500g	750
クレゾール水	〃	90
クレゾール石鹼液	〃	160
グアヤコール	25g	120
グレラン	25g	330
グレラン注	2×10A	210
グアヤコールスルホン酸カリ	500g	3000
○クエン酸	500g	440
クロロホルム	〃	380
グリセロ燐酸石灰	〃	1900
グリセリンカリ液	500g	250
ケリゾン注	2cc10A	60
ゲリゾン錠	0.5×20T	40
ネオゲリゾン注	5cc10A	220
チフオゲリゾン注	10A	140
カーボン末	500g	450
甘藷殿粉	500g	90

サルホール	100g	165
サフラン	25g	1000
サザピリン	25g	150
サリチル酸メチール	500g	600
ザルブロ	20×5	80
〃	20×10	145
〃	20×50	700
サルカ注	20× 5	80
サリソアミノン	20× 5	130
サロメチール	20g	61
食塩	500g	40
次亜燐酸石灰	〃	450
○次硝酸蒼鉛	〃	2650
〃	25g	175
次サリチル酸蒼鉛	500g	2900
重曹	〃	45
人カル	〃	65
硝酸銀	25g	230
硝石	500g	150
酒石酸	〃	390
〃	25g	50
重酒石酸カリ	500g	360
重曹注	20×5	75
食鹽注	20×5	55
硝酸銀點眼液	10A	45
シンナピリン	25g	300
〃 錠	20T	390
四鹽化エチレン球	100入	130
シロツプ	500g	120
蓚セリ	25g	100
○蓚セリ	500g	900
昇汞	〃	1250
シーメタ	50入	190
ジンテツクス	1×10	132
〃	5×10	480
水銀軟膏	500g	900
スルフアミン	〃	650
スルフアピリヂン	100g	2250
スルフアグアニジン	500g	2200
スルフアダイアジン	g	15
スルピリン	25g	300
スベルマチン注	10A	300
スプランチンワイス末	500g	50
赤降汞	25g	80
石炭酸	500g	290
石炭酸水	〃	50
ゼラチン	〃	350
セタノール軟膏	〃	250
セネガシロツプ	〃	165
ゼツトパンク錠	〃	48
セキサノール末	500g	170
〃 錠	25g	35
〃 液	500g	150
セキマイン錠	100T	360
〃 注	10A	450
セナパス	20g	50
セラアラジチン錠A	100T	100
〃	25g	175
次サリチル酸蒼鉛	500g	2900

ヂキタリス葉カツト	25g	150
〃 末	〃	90
チクロパン錠	20T	80
ヂアスターゼ錠	100T	70
ヂキタミン液	500g	900
チンツゲン	10A	96
注射用蒸溜水	10A	70
沈降燐酸石灰	500g	170
沈降炭酸石灰	〃	16
ネオヂセプタール錠	20T	140
チオピス	1號10A	410
○チミツシン	150g	90
ツルチン	g	2
テラボール軟膏	小	27
テラボール錠	20T	58
ネオテラボール注	30% 5cc×10A	190
テラヂアヂン錠	20T	300
デルマトール	500g	2900
◁〃	25g	170
テレビン油	500g	130
テクトラール	〃	180
テオルガン	500g	180
デルモライツ	500g	60
デザミナ	10回分	290
DDT		100
デヒコール末	10g	450
〃 注	5×5	265
〃	10× 3	480
テラビア	250g	137
テラマイシン	250mg16入	3650
〃	100m25入	2700
〃	50m25入	1600
トリアノン注	2cc10A	250
トリアノン錠	100T	700
トロンボゲン	5×10	140
ドルミン	25g	300
豚脂		280
橙皮チンキ	500g	300
橙皮シロツプ	500g	140
等張糖液	20cc 5A	160
當藥散	〃	70
トニクム	240g	484
ナタゴン	100g	450
ニシチン	20g	30
ニツソカイン注	5cc10A	120
乳酸石灰	500g	390
○乳糖	〃	200
ニツパス	100g	1200
〃 錠	200入	750
ニユーロギン	2×10	182
乳酸	500g	650
ネオハツモン	2×10	60
ネオセキサノール錠	50T	50
ネオノバボン錠	50入	75
ネオヒポトニン	1×10	80
ネオロートボン	1×10	120
テラボール軟膏	小	27
テラボール錠	20T	58

〃 錠	120入	38
ハリバ	100入	110
ピチロール	500g	480
ピチロールパスタ	100g	90
ビタシミン錠	100T	92
ビタシミン注	2cc 10A	150
ビタカンフアー	10A	195
ビツイトリン注	1A	7
氷醋酸	500g	130
ビツイタン注	5A	340
ビタソート注	10A	65
ヒマシ油	500g	200
ピラビタール注	2cc10A	100
〃 錠	20T	85
〃 末	500g	4600
〃	25g	330
ビタミンB_1注	5m×10	60
〃 AD〃	6A	100
ヒスコバール	2×10	100
ビオフエルミン錠	50T	48
〃 末	500g	360
ビスアルゼン	10A	100
ビオゼニン	500g	130
ビサチン散	100g	130
フレニン錠	0.5 20T	20
ブロカ注	1A	15
ブロカ糖注	1A	15
フエノールフタレイン	500g	1700
〃	25g	110
フエナセチン	500g	1150
〃	25g	90
◁プロテイン銀	〃	85
ブロムカリ	500g	270
ブロムナトリウム	500g	280
ブロムアレリル尿素	25g	140
〃	500g	2400
ブロムヂエチルアセチル尿素	500g	4000
〃	25g	270
ブロバリン錠	30T	35
〃	100T	85
フエノバリン	500g	3000
〃	25g	165
◁プレホルモン	500E 5A	300
ブドー糖注	20% 10A	120
ブルクラン	10A	68
プロタミラーゼ末	25g	350
フラボール	2×10	200
ブルトーゼ末	500g	700
フアトシン	500g	150
フストール	〃	270
プロチン液	500g	230
ブドー酒	640	220
フラスキン	500g	550
ヘビヂ油	25g	800
ヘビヂ油	2cc10A	100
〃 錠	20T	85

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 77013

◇本票代一年分賣金五百円（廿米）・半年分賣金三百八

値段 ○△印は前回報より安い

アクリノール末 10g 250
アトニン 6A 360
アミノコルヂン注 1cc10A 180
アスパセダン注 5A 180
アクチゾール注 2cc10A 140
アクチワイス注 〃 60
アスピリン 500g 750
〃 25g 45
アスピリン錠 20T 24
アミノピリン 500g 2700
〃 25g 160
アミノピリン錠 30T 45
○アネステジン 25g 135
○〃 500g 1800
亜砒酸 25g 15
アルシリン 500g 350
アルシリンワイス 500g 品切
アルゼノベンゾール #1. 25
ナトリウム #2. 38
〃 #3. 44
〃 #4. 50
〃 #5. 60
アゼプロン注 10A 200
アクリフラビン末 g 13
アセトアニリド 500g 290
〃 25g 24
アルコール 500g 440
アルコール紳 〃 580
アルコール猫 〃 360
○安息香酸 〃 900
○安息香酸ソーダ 〃 850
安息香チンキ 〃 500
○安ナカ 500g 2900
〃 25g 170
○アンチピリン 500g 2600
〃 25g 170
亜鉛華 500g 240
亜鉛華軟膏 〃 350
亜鉛華澱粉 500g 140
アセトスルフアミン 〃 2650
〃 25g 140
アクタミン 5m 70
〃 10m 120
〃 20m 175
アドルム錠 10T 100
アンチレプリーゼ 10A 105
アテロキシン 10A 175
アテリアン末 500g 2700
〃 錠 20入 80
アドース錠 40
アスコイル末 25g 100
〃 錠 100T 80
〃 注 50m 95
〃 100m 140
○アドソルビン末 500g 110
◁アラビヤゴム末 500g 270
安息精 500g 800
アスコルチン末 25g 93
同 錠 100入 65
同 注 1×10 100
同 2×10 150
アスモン注 1×10 120
アストモリジン 3A 360
アミノン注 2×10 150
アンナカ注 20% 1×10 60
同 動物用 10× 5 170
同 〃 20×10 450
〃 50T 110
〃 25g 24
〃 500g 240
〃 500g 1300
アセパクレーム 20g 95
アセトスルフアミン 〃 2650
〃 25g 140
アクタミン 5m 70
〃 10m 120
〃 20m 175
アドルム錠 10T 100
アンチレプリーゼ 10A 105
アテロキシン 10A 175
アテリアン末 500g 2700
〃 錠 20入 80
アドース錠 40
アスコイル末 25g 100
〃 錠 100T 80
〃 注 50m 95
〃 100m 140
○アドソルビン末 500g 110
◁アラビヤゴム末 500g 270
安息精 500g 800
アスコルチン末 25g 93
同 錠 100入 65
同 注 1×10 100
同 2×10 150
アスモン注 1×10 120
アストモリジン 3A 360
アミノン注 2×10 150
アンナカ注 20% 1×10 60
同 動物用 10× 5 170
同 〃 20×10 450
〃 50T 110
〃 25g 24
〃 500g 240
〃 500g 1300
アセパクレーム 20g 95

塩化第二鐵液 500g 130
塩化石灰注 20×5 50
塩化石灰(食用) 500g 180
塩酸キニーネ 〃 1800
〃 25g 110
〃 10T 20
〃 100T 150
〃 1000T 950
塩素酸加里 500g 130
エチル炭酸キニーネ 25g 180
〃 500g 3400
エンツアイマ 500g 品切
エキリヂン末 500g 130
〃 錠 100T 36
エモール注 2×10 90
〃 末 25g 350
エスチモン注 3號10A 220
〃 錠 100T 175
塩酸エメチン注 1×10 350
エタイノキシル 25g 35
液状石炭酸 500g 290
エーテル 500g 350
エスチモンパスタ 30g 115
エネツクス 3A 85
エパクレーム 20g 95
エビオス末 500g 370
〃 錠 300T 91
〃 B₁注 10mg 10A 118
〃 20mg 10A 180
〃 B₂注 5mg 10A 500
〃 B₁ B₂ 2號 10A 70
〃 5.5m 10A 125
〃 B₁末 500g 200
〃 C注 1×10 90
〃 2×10 125
〃 C末 500g 1300
〃 無痛C注 1×10 110
〃 2×10 145
エルチン錠 30T 110
エルゴトン 1×10 102
オキシドール 500g 50
〃 (三共) 100g 27
〃 (他社) 〃 15
黄色ワセリン 500g 185
オレーブ油 〃 290
〃 25g 35
オウロパンソーダ 5A 330
オイペスチン注 10A 95
〃 錠 300T 150
〃 パスタ 15g 46
オリザニン末 500g 250
〃 液 〃 250
〃 錠 100T 60
〃 注 5m 55
オリザニンレヲド 5m 85
〃 10m 150
オパホルモン錠 100T 195
〃 注 500E 120
〃 1,000E 160
〃 10,000E 345
オムニン 2×10 95
オリザビトン 2×10 185
薑志シロップ 500g 185
カ、オ脂 500g 600
苛性カリ 〃 280
苛性ソーダ 〃 180
過酸化水素加里 〃 240
エパクレーム 20g 95

カーボン末 500g 450
甘醋殿粉 500g 90
肝油球 250入 130
肝油 眼鏡印 250g 230
果糖注 5A 80
カルチコール注 5cc10A 150
〃 2cc 10A 100
還元鐵 500g 220
キノフエン 25g 220
〃 錠 75
杏仁水 500g 170
稀沃丁 500g 300
規鐵丸 100入 100
キナ皮 500g 350
キノヨヂン 500g 3500
吉草チンキ 500g 450
キナ流動エキス 〃 500
强メタボリン錠 100T 75
强メタボリン注 5m 80
銀エレクロイド注 10
ギナントール 10A 100
稀醋酸 500g 65
キナポン 2×10 200
强サリソアミノン 20×5 178
苦味チンキ 500g 360
○グリセリン 〃 290
グルコン酸石灰 〃 1300
〃 25g 90
クレオソート丸 100丸 40
クレオソート 500g 750
クレゾール水 〃 90
クレゾール石鹸液 〃 160
グアヤコール 25g 120
グレラン 25g 330
グレラン注 2×10A 210
グアヤコールスルホン酸カリ 500g 3000
○ゲエン酸 500g 440
クロロホルム 〃 380
グリセロ燐酸石灰 〃 1900
グリセリンカリ液 500g 250
ケリゾン注 2cc10A 60
ゲリゾン錠 0.5×20T 40
ネオゲリゾン注 5cc10A 220
チフオゲリゾン注 10A 140
健胃酸 500g 100
健胃錠 100入 30
ゲドワクス注 5×5品切
コンムニン注 1cc10A 180
コアプルチン末 25g 25
〃 錠 50T 17
コータミン注 1cc10A 120
コロヂオン 500g 250
コメニン錠 100T 80
〃 30T 50
虹波 〃 15
○コンヅランゴ流動X 500g 530
コルニジン注 10A 100
コロイド銀 25g 200
胡麻油 500g 480
ザル曹糖注 1A 17
サルヲグレラン注 5A 226
サルゾール末(三共) 500g 3350
〃 (武田) 4000
サルゾール注 5A 210
サルゾール錠 20T 160
サルホール 500g 700
サツカリン錠 100T 23
サリドン錠 10T 250
サントゾール 1號5A 170
グルコン酸石灰 〃 1300

〃 25g 175
次サリチル酸蒼鉛 500g 2900
重曹 〃 45
人カル 〃 65
硝酸銀 25g 230
硝石 500g 150
酒石酸 〃 390
〃 25g 50
重酒石酸カリ 500g 360
重曹注 20×5 75
食鹽注 20×5 55
硝酸銀點眼液 10A 45
シンナピリン 25g 300
〃 錠 20T 390
四鹽化エチレン球 100入 130
シロツプ 500g 120
醋セリ 25g 100
○醋セリ 500g 900
昇汞 〃 1250
シーメタ 50入 190
ジンテツクス 1×10 132
〃 5×10 480
水銀軟膏 500g 900
スルフアミン 〃 650
スルフアピリヂン 100g 2250
スルフアグアニジン 500g 2200
スルフアダイアジン g 15
スルピリン 25g 300
スペルマチン注 10A 300
スプラシンワイス末 500g 50
赤降汞 25g 80
石炭酸 500g 290
石炭酸水 〃 50
ゼラチン 〃 350
セタノール軟膏 〃 250
セネガシロツプ 〃 165
ゼツトパンク錠 〃 48
セキサノール末 500g 170
〃 錠 25g 35
〃 液 500g 150
セキマイン錠 100T 360
〃 注 10A 450
セナペス 20g 50
セファランチン錠A 100T 100
〃 B 〃
〃 注A 〃
〃 B 〃
〃 C 〃
生理食鹽水 300cc 70
精製硫黄 500cc 90
精製ヨード 500g 80
石灰水 25g 150
石鹸カンフル鎮痛 500g 320
石炭酸亜鉛華鎮痛 250g 320
セラジンコンク 500g 250
ソボリン錠 20T 150
ソーベラン末 100g 1200
〃 錠 300T 880
ダールバスタ 500g 230
タンナルビン 〃 550
單軟膏 〃 330
◁炭酸グアヤコール 〃 3000
〃 25g 180
炭酸マグネシア 500g 120
タンニン酸 〃 850
〃 25g 90
タカリヂン 500g 450
チウレヂン 500g 2500
チフオゲリゾン注 10A 140

テラポール軟膏 小 9.27
テラポール錠 20T 58
ネオテラポール注 30% 5cc×10A 190
テラヂアヂン錠 20T 300
デルマトール 500g 2900
◁〃 25g 170
テレピン油 500g 130
テタトラール 〃 180
テオルガン 500g 180
デルモライツ 500g 60
デザミナ 10回分 290
DDT 100
デヒコール末 10g 450
〃 注 5×5 265
〃 10× 3 480
テラビア 250g 137
テラマイシン 250mg 16入 3650
〃 100m 25入 2700
〃 50m 25入 1600
トリアノン注 2cc10A 250
トリアノン錠 100T 700
トロンボゲン 5×10 140
ドルミン 25g 300
豚脂 280
醍皮チンキ 500g 300
醍皮シロツプ 500g 140
等張糖液 20cc 5A 160
當藥散 〃 70
トニクム 240g 484
ナタゴン 100g 450
ニシチン 20g 30
ニツソカイン注 5cc10A 120
乳酸石灰 500g 390
○乳糖 〃 200
ニツパス 100g 1200
〃 錠 200入 750
ニユーロヂン 2×10 182
乳酸 500g 650
尿オハツモン 2×10 60
ネオセキサノール錠 50T 50
ネオノボポン錠 50入 75
ネオヒポトニン 1×10 80
ネオロートボン 1×10 120
ネフロン注 1×10 96
ネオハリバ軟膏 15g 38
ノイスパ錠 20T 45
ノイスパ注 #3 50
◁ノルモサン 250g 280
ノルモザン錠 45T 110
ノイドリン末 25g 320
〃 錠 20入 75
ノイドリン注 1×10 132
ハルピタール 500g 4500
〃 25g 250
白降汞 25g 100
麥角X 25g 1300
麥角 25g 350
麥角流動X 25g 320
薄荷腦 500g 6500
〃 25g 350
薄荷油 500g 3000
〃 25g 180
薄荷水 500cc 60
馬鈴薯澱粉 〃 90
パンクレアチン 500g 2200
〃 25g 130
白色ワセリン 500g 200

ビオゼトール注 25g 10A 100
〃 錠 20T 85
〃 末 500g 4600
〃 25g 330
ビタミンB₁注 5m×10 60
〃 AD〃 6A 100
ビスコペール 2×10 100
ビオフエルミン錠 50T 48
〃 末 500g 360
ビスアルゼン 10A 100
ビオゼニン 500g 130
ビサチン散 100g 130
フレニン錠 0.5 20T 20
ブロカ注 1A 15
ブロカ糖注 1A 15
フエノールフタレイン 500g 1700
〃 25g 110
フエナセチン 500g 1150
〃 25g 90
◁プロテイン銀 〃 85
ブロムカリ 500g 270
ブロムナトリウム 500g 280
ブロムヲレリル尿素 25g 140
〃 500g 2400
ブロムヂエチルアセチル尿素 500g 4000
〃 25g 270
ブロバリン錠 30T 35
〃 100T 85
フエノバリン 500g 3000
〃 25g 165
◁プレホルモン 500E 5A 300
ブドー糖注 20% 10A 120
ブルクラン 10A 68
プロタミラーゼ末 25g 350
フラボール 2×10 200
ブルトーゼ末 500g 700
フアトシン 500g 150
フストール 〃 270
プロチン液 500g 230
ブドー酒 640 220
フラスキン 500g 550
ヘノポヂ油 25g 800
ベルカミン注 10A 150
ベルーバルサム 500g 1100
〃 25g 100
ヘパビリン錠 20T 30
ベナドリン 30m 10A 145
ヘクタリン錠 外用 100T 180
ベナパスタ 10g 53

ペニシリン
10万G 萬有 50 武田 60
明治 60 明乳 60
大東 55 東洋 55
10万ミツクス
萬有 45 東洋 45
明治 50 明乳 50
大東 50 東洋 50
20万G 萬有 95 明治 95 明乳 100
武田 100 Ⓟ 95
大東 95 東洋 95
萬有 95 三菱 90
30万油性 武田 200 科研 150 東洋 160 萬有 160 明治 190
アセチル尿素

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

イスウルクス錠	50T	110
〃	25g	24
アルコール	500g	440
アルコール紳	〃	580
アルコール稀	〃	360
○安息香酸	〃	900
○安息香酸ソーダ	〃	850
安息香チンキ	〃	500
○安ナカ	500g	2900
○ 〃	25g	170
アンチピリン	500g	2600
〃	25g	170
亜鉛華	500g	240
亜鉛華軟膏	〃	350
亜鉛華澱粉	500g	140
アセトスルフアミン	〃	2650
〃	25g	140
アクタミン	5m	70
〃	10m	120
〃	20m	175
アドルム錠	10T	100
アンチレプリーゼ	10A	105
アテロキシン	10A	175
アテリアン末	500g	2700
〃 錠	20入	80
アドース錠		40
アスコイル末	25g	100
〃 錠	100T	80
〃 注	50m	95
〃	100m	140
○アドソルビン末	500g	110
◁アラビヤゴム末	500g	270
安茴精	500g	800
アスコルチン末	25g	93
同 錠	100入	65
同 注	1×10	100
同	2×10	150
アスモン注	1×10	120
アストモリジン	3A	360
アミノン注	2×10	150
アンナカ注 20%	1×10	60
同 動物用	10×5	170
同 〃	20×10	450
イスウルクス錠	50T	110
イスウルクス注	5cc10A	520
イヒチオール	500g	100
〃	25g	10
イスジリン		170
イグロシン	5cc	380
イノサン	60T	80
硫黄沈降	〃	85
イガスチン	5×5	240
イヒパフ	300	95
イソミタール	25g	900
同 錠	10T	78
ウワウルシエキス	500g	280
◁ウロトロピン	〃	300
ウイルソン軟膏	〃	330
ウイルキンソン軟膏	〃	320

過満俺酸カリ	〃	240
エパクレーム	20g	95
エビオス末	500g	370
〃 錠	300T	91
〃 B_1注	10mg 10A	118
〃	20mg 10A	180
〃 B_2注	5mg 10A	500
〃 B_1 B_2	2號 10A	70
〃	5.5m 10A	125
〃 B_1末	500g	200
○〃 C注	1×10	90
〃	2×10	125
〃 C末	500g	1300
〃 無痛C注	1×10	110
〃	2×10	145
エルチン錠	30T	110
エルゴトン	1×10	102
オキシドール	500g	50
〃 (三共)	100g	27
〃 (他社)	〃	15
黄色ワセリン	500g	185
オレーフ油	〃	290
〃	25g	35
オウロパンソーダ	5A	330
オイベスチン注	10A	95
〃 錠	300T	150
〃パスタ	15g	46
オリザニン末	500g	250
〃 液	〃	250
〃 錠	100T	60
〃 注	5m	55
オリザニンレツド	5m	85
〃	10m	150
オバホルモン錠	100T	195
〃 注	500E	120
〃	1,000E	160
〃	10,000E	345
オムニン	2×10	95
オリザビトン	2×10	185
遠志シロツプ	500g	185
カヽオ脂	500g	600
苛性カリ	〃	280
苛性ソーダ	〃	180
過満俺酸カリ	〃	240
〃	25g	40
カンフル精	500g	260
カリ石鹸	〃	210
○カフエイン	〃	3800
○カフエイン	25g	220
カムラジン	2cc10A	40
カルモチン	25g	140
カルモチン錠	30入	40
カルモチン錠	100T	85
○含糖ペプシン	500g	530
〃	25g	50
カンフル酸	25g	80
カンフル軟膏	500g	230
カルシウム糖液	1A	15
カンポリヂン	1×10	70
〃	2×10	90

グルコン酸石灰	〃	1300
〃	25g	90
クレオソート丸	100丸	40
クレオソート	500g	750
クレゾール水	〃	90
クレゾール石鹸液	〃	160
グアヤコール	25g	120
グレラン	25g	330
グレラン注	2×10A	210
グアヤコールスルホン酸カリ	500g	3000
○クエン酸	500g	440
クロロホルム	〃	380
グリセロ燐酸石灰	〃	1900
グリセリンカリ液	500g	250
ケリゾン注	2cc10A	60
ゲリゾン錠	0.5×20T	40
ネオゲリゾン注	5cc10A	220
チフオゲリゾン注	10A	140
健胃酸	500g	100
健胃錠	100入	30
ゲドツクス注	5×5品切	
コンムニン注	1cc10A	180
コアブルチン末	25g	25
〃 錠	50T	17
コータミン注	1cc10A	120
コロヂオン	500g	250
コメニン錠	100T	80
〃	30T	50
虹波	〃	15
○コンブランゴ流動X	500g	530
コルニジン注	10A	100
コロイド銀	25g	200
胡麻油	500g	480
ザル曹糖注	1A	17
サルソグレラン注	5A	226
サルゾール末(三共)	500g	3350
〃 (武田)		4000
サルゾール注	5A	210
サルゾール錠	20T	160
サルホール	500g	700
サツカリン錠	100T	23
サリドン錠	10T	250
サントゾール	1號5A	170
〃	3號5A	300
サンブーン	16入	65
サイホール	15入	70
サンシーゼリー		250
醋鯛液	500g	120
醋酸	〃	80
醋酸鉛	〃	220
○サリチル酸	〃	480
○サリチル酸ソーダ	500g	650
〃	25g	45
○サロール	500g	1250
〃	25g	90
サントニン	25g	9500
〃 錠	0.02×20T	190
ザウベル	50g	2
サキシロン		70

スルフアダイアジン	g	15
スルピリン	25g	300
スペルマチン注	10A	300
スプランチンワイス末	500g	50
赤降汞	25g	80
石炭酸	500g	290
石炭酸水	〃	50
ゼラチン	〃	350
セタノール軟膏	〃	250
セネガシロツプ	〃	165
ゼツトパンク錠	〃	48
セキサノール末	500g	170
〃 錠	25g	35
〃 液	500g	150
セキマイン錠	100T	360
〃 注	10A	450
セナパス	20g	50
セフアランチン錠A	100T	100
〃 B		—
〃 注A		78
〃 B		78
〃 C		—
生理食鹽水	300cc	70
	500cc	90
精製硫黄	500g	80
精製ヨード	25g	150
石灰水	500g	55
石鹸カンフル擦劑	250g	320
石炭酸亜鉛華擦劑	500g	240
セラジンコンク	500g	250
ソボリン錠	20T	150
ソーベラン末	100g	1200
〃 錠	300T	880
タールパスタ	500g	230
タンナルビン	〃	550
單軟膏	〃	330
◁炭酸グアヤコール	〃	3000
〃	25g	180
炭酸マグネシア	500g	120
タンニン酸	〃	850
〃	25g	90
タカリヂン	500g	450
チウレチン	500g	9500
〃	25g	550
ヂウカルチン	25g	500
チウカルチン錠	100T	400
チアントール	500g	250
〃	25g	25
チアントールパスタ	50g	45
○チンク油	500g	250
○ヂアスターゼ	〃	520
〃	25g	35
ヂギタリスチンキ	500g	500
チモール	〃	4200
〃	25g	225
チフオール	15×5A	190
ヂキラノーゲン	10A	85
チトラート	5×10	100
チヨコラA	30入	200
〃	6A	250

等張糖液	20cc 5A	160
當藥散	〃	70
トニクム	240g	484
ナタゴン	100g	450
ニシチン	20g	30
ニツソカイン注	5cc10A	120
乳酸石灰	500g	390
○乳 糖	〃	200
ニツパス	100g	1200
〃 錠	200入	750
ニユーロギン	2×10	182
乳酸	500g	650
ネオハツモン	2×10	60
ネオセキサノール錠	50T	50
ネオノパボン錠	50入	75
ネオヒポトニン	1×10	80
ネオロートボン	1×10	120
ネフロン注	1×10	96
ネオハリバ軟膏	15g	38
ノイスパ錠	20T	45
ノイスパ注	#3	50
◁ノルモサン	250g	280
ノルモザン錠	45T	110
ノイドリン末	25g	320
〃 錠	20入	75
ノイドリン注	1×10	132
ハルビタール	500g	4500
〃	25g	250
白降汞	25g	100
麥角X	25g	1300
麥角	25g	350
麥角流動X	25g	320
薄荷腦	500g	6500
〃	25g	350
薄荷油	500g	3000
〃	25g	180
薄荷水	500g	60
馬鈴薯澱粉	〃	90
パンクレアチン	500g	2200
〃	25g	130
○白色ワセリン	500g	200
蜂 蜜	〃	250
バニールチン	10A	150
バグノン	2×10	150
パンセプチン	5×10	90
ハセスロール	10A	130
パラヌトリン液	500g	140
白陶土ハツプ	500g	240
蕃椒チンキ	〃	550
バクチ水	500g	75
パンギタール	10A	60
パラエス	5m 10A	85
ハリスアスミン	15T	48
〃 末	100g	1500
ハイポン注	2×10	132
〃 錠	100T	66
パイル末	500g	534

アセチル尿素		
〃	25g	270
ブロバリン錠	30T	35
〃	100T	85
フエノバリン	500g	3000
〃	25g	165
◁プレホルモン	500E 5A	300
ブドー糖注	20% 10A	120
ブルクラン	10A	68
プロタミラーゼ末	25g	350
フラボール	2×10	200
ブルトーゼ末	500g	700
フアトシン	500g	150
フストール	〃	270
プロチン液	500g	230
ブドー酒	640	220
フラスキン	500g	550
ヘノポヂ油	25g	800
ベルカミン注	10A	150
ベルーバルサム	500g	1100
〃	25g	100
ヘパビリン錠	20T	30
ベナドリン	30m 10A	145
ヘクタリン錠 外用	100T	180
ベナパスタ	10g	53

ペニシリン

10万G	萬有	50	武田	60
	明治	60	明乳	60
	大東	55	東洋	55
10万ミツクス	萬有	45	東洋	45
	明治	50	明乳	50
	大東	50	東洋	50
20万G	萬有	95	明治	95
	明乳	100	武田	100
	Ⓟ	95	大東	95
	東洋	95	萬有	95
	三菱	90		
30万油性	武田	200	科研	150
	東洋	160	萬有	160
	明治	190	明乳	190
	大東	160	三洋	150
30万水性	萬有	140	東洋	140
	明治	140	明乳	140
錠剤	科研	3T 190	萬有	3T190
	明乳	5T 320		
軟膏	東洋	5g 25	大東	5g25
	萬有	5g 25	武田	5g 30
	明治	30		
ボスミン注	1cc10A	80		
硼酸(晶)	500g	130		
硼酸(末)	〃	150		
硼酸ワセリン	〃	250		
硼酸軟膏(蜜蠟製)	〃	360		
硼砂末	〃	65		

◇本紙代＝一年分前金五百円(〒共)・半年分前金二百八十円(〒共)・一部〒共金十二円也

ヤマワ印 洗ソーダ
株式会社 山口商店
電話北浜(23)6636番
大阪市東区平野町三丁目三五番地

薬事ニュース

旬刊　毎月1.11.21日發行
(1) 近畿各府縣薬務課後援　昭和26年6月1日　第16號
定價1年600圓半年300圓
(昭和26年3月5日第三種郵便物認可)
發行所
薬事ニュース社
大阪市天王寺區清水谷町之町243
電話番號 大阪(56)5477番
振替貯金口座34691番
編輯印刷發行人 高島弘

株價にみる製薬會社の懐具合

全般的に好轉示す

優勝劣敗本格化せん

デフレ下の金詰りと購買力不足で企業合理化を強制なくされた製薬業界は朝鮮動亂の發生に生色をとり良していたが果して今期決算では全般的に增益を示し武田の三割を筆頭に增配、復配が傳へられ株價は次第に上昇、塩野義八六圓九〇、武田八七圓四〇とジリ高氣配を示している。

左表の主要製藥會社株式事情調は業務局企業課で作成したものであるがわが國醫藥品生產總額の三割以上販賣額の過半を占めている三共など十社の平均株價はいづれも堅調に伸びてきており製藥業界の好轉ぶりを物語つている。

二五年六月五〇圓台であつた武田藥工株は本年三月平均八七圓四〇で製藥株中最高となり去る廿五日の株主總會で當期利益金三億一千二百万圓計上、配當三割を決定、製藥業界に占める確固たる地位を裏書している會社の主力製品ビタミンA(全生產の四割五分)は永年にわたつて培つた信用と強固な販賣網にのつて他社の烈しい追込みをしりぞけており、ぞくぞくと設賣する新製品もよく消化されている、利益金は毎期二倍半短增大し五月一日現在例當で倍額增資本金六億七千六百万圓となるが增資後の成績を維持すれば三割五分配當持續に不安はない

田邊製藥は一昨年あたりやゝ不調と傳へられたが他社に先がけて手がけたニッパ(月產十屯)で漸く軌道に乘り、逐次增配を行い、四月增資後利益率八割、二割配當持續可能と傳へられている大日本製藥、主力エフェドリン好調、局方品など手固い經營で地盤が固く最近無菌工場を完成、飛躍を期している

山之內製藥、主力製品はサルファ劑細菌製劑特需でDDTなど同社製品の動き好調となりレソルシン、その他で受けた打撃を囘復大幅に囘復している。

以上全般的にみて製藥會社はその株價が示すように次第に好調をたどりきびしいデフレの重壓を脫しようとしているしかし製藥業界好轉の因となつた特需、今後の需要の動向と資金面の融路を考慮するとき今後この好調を持續するには相當烈しい競合いが待うけているようだ。

まず需要の動向であるが供給面は昨年度の生產總額の三一九億圓突破、國內需要量を充足し得るに至つているが、戰前總生產額の三〇%に及んでいた輸出は激減中國市場の閉鎖が手痛く響いて不振をつづけわづかにペニが氣をはいているが國際價格へのさや寄せ、コスト低下を行えば輸出伸長は望み難い、國內需要の擴起には優秀製品の研究創製、コスト低下が考へられねばならないだらう、しかも朝鮮動亂後輸入原料が高騰し製品は値上げされ正に反比例的傾向を示しているこれをカバーするために生產工程の機械化による原料高の吸收が忽せに出來ない點である、ところが機械化の爲に必要な資金の調達は仲々困難で實掛金の回收は代表的會社でさへ平均して抑末に七割囘收(振金、手形三—七よくて四—六)とゆう狀態であるのも大きな隘路となつている

以上のように總測すると製藥業界の今後の見透しは甚だむつかしい事態にある。

資金難を多少とも緩和し、限られた範圍內での競爭に打勝つ爲に資金回轉度の速が、販賣面での資金の回轉度促進が決定的にモノをゆうだろう、賣行の早い他社と競合しない主力製品の保持、强力な販賣網を擁する事が何よりも重要なポインとなるだろう、いづれにしても製藥會社の生存競爭は激化の一途をたどり優勝劣敗は本格化するものと考へられる

主要製藥會社株式事情調

昭和25年6月—26年3月

業務局企業課調

項目別		三共	武田藥工	山之內	中村	第一製藥	大日本	塩野
配當率順位		一	二	三	四	五		
二五年六月中	平均價格	二一〇	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五
	平均配當率	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分
七月中	平均價格	二一三	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五
	平均配當率	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分
八月中	平均價格	二一三	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五
	平均配當率	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分
九月中	平均價格	二一三	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五
	平均配當率	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分
一〇月中	平均價格	二一三	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五
	平均配當率	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分
一一月中	平均價格	二一三	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五
	平均配當率	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分
一二月中	平均價格	二一三	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五
	平均配當率	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分
二六年一月中	平均價格	二一三	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五
	平均配當率	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分
二月中	平均價格	二一三	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五
	平均配當率	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分
三月中	平均價格	二一三	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五
	平均配當率	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分	一五分

註 ①本表は東京證券取引所調に基いて分析したものである、②配當率は記念特別配當を除くめたものである、③平均株價は一カ月平均配當率及平均價格は十カ月間における平均値を算出したものである

NEWS ダイジェスト

廿五日午後七時羽田から歸任に

廿准將離日

総司令部公衆衛生福祉局長クロフォード・F・サムス准將は五月廿一日歩機離任

合格率八三・五%で好成績

第四回藥劑師國試學說結

第四回藥劑師國試の合格者發表は廿一齊に行はれた。

八三・五%で好成績別では東北六三・大一〇〇、京藥九明藥七七・一、星九四・共立八六・一、明治化・二、東藥女九五・和七〇・一、千葉色を東邦六九・〇、富山五、金澤一〇〇、岐・三、靜岡女六七・古屋九六・二、京大九四・京藥九三・七、阪大九一・五、大阪六九・二、三・〇、神戸九〇・島七七・四、長崎七

熊本八五・五であつた合格發表に際し近藤委員長は「試驗程度のなかつたが學力改善が見られた」と語つた

大阪府藥が總會

大阪府藥協は二十一回通常總會を開催、管日本代議員會議決事項日藥代議員會經過報あと村上會長から「本事業達成事業は總て分業達成をあげる會務運營は面に臨路があるから算を臨時代議員會に提る」と述べ前期役員に狀贈呈、時局講演をき閉會。

會館の落成式

マ…和歌山縣藥劑師協會が和歌山縣藥劑師會館として未建設中であつた縣藥劑師會館がこの程落成廿七日その

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 77501?

株価にみる製薬會社の懐具合

全般的に好轉示す

優勝劣敗本格化せん

株界は朝鮮動乱を織り込み本格化を強調する動きとりと購買力の増加、復配増配、復配は次第に上昇、武田、三共、塩野義、山之内、中村、第一、大日本、田邊、吉富、藤澤等の製薬株は軒並み高騰を示し、武田は今期決算で九〇、武田は今期決算で一割配當を行う公算大きく、三共は一割配當を行う公算大きく、三共は一割配當を行う公算大きく、三共は

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 77501?

製、コスト低下が考へられねばならないだらう、しかも朝鮮動亂後輸入原料が高騰し製品は値上げされ更に比例的傾向を示しているこれをカバーするために生産工程の機械化による原料高の吸收が忽せに出來ない點である、ところが機械化の爲に必要な資金の調達は伸々困難で賣掛金の回收は代表的會社できへ平均して四月增御配當御末に七割囘收（現金、手形三―七よくて四―六）とゆう狀態であるのも大きなネックと手詰りとなつている

以上のように觀測すると製藥業界の今後の見透しは甚だむつかしい事態にある。資金難を多少とも緩和し、限られた範圍内での競爭に打勝つ爲に資金回轉度の促進が、販賣面での資金の回轉度促進が決定的にモノをゆうだろう、實行の早い他社と協合しない主力製品の保持、强力な販賣網を擁する事が何よりも重要なポイントとなるだろう、いづれにしても製藥會社の生存競爭は激化の一途をたどり優勝劣敗は本格化するものと考へられる

NEWSダイジェスト

廿准將離日
後任に モ大佐

總司令部公衆衛生福祉局長クロフォード・F・サムス准將は五月廿一日現職離任廿五日午後七時羽田から歸米した、サ局長の後任にC・S・モロハン大佐が着任した。

合格率八三・四%
調試學說結果發表

第四回藥劑師國試學說試驗の合格者發表は廿五日全國一齊に行はれた。合格率は八三・五%で好成績、學校別では東北六三・六%、東大一〇〇、東藥九〇・六、明藥七七・一、星八六・七共立八六・一、明藥女七五・二、東藥女九五・二、昭和七〇・一、千葉九〇・九東邦六九・〇、富山九五・五、金澤一〇〇、岐阜九二・三、靜岡女六七・四、名古屋九六・二、京大一〇〇京藥九三・七、阪大九二・五、大阪六九・二、關學五三・〇、神戸九〇・九、德島七七・四、長崎七九・六熊本八五・五であつた。尚合格發表に際し近藤審議會委員長は「試驗程度は低くなかつたが學力改善のあとが見られた」と語つている

大阪府藥が總會

大阪府藥協は二十一日第三回通常總會を開催、第七、八代議員會議決事項報告、日藥代議員會經過報告等のあと村上會長から「本年度事業は總て分業達成に全力をあげる會務運營は健全財政の基礎をとつたため豫算面に餘路があるから更生豫算を臨時代議員會に提出する」と述べ前期役員に感謝狀贈呈、時局講演をきいて閉會。

會館の落成式

▽…和歌山縣藥協

和歌山縣藥劑師協會が昨年末建設中であつた縣藥會館がこの程落成廿七日その祝成式を行つた。當日厚生省組山製藥課長の外和歌山副知事、市長、縣會議長ら多數名士參列祝辭をのべ近畿各府縣藥務課長、大阪府藥等から祝電があつた。

五千名が參加
分業期成デモ

五月十六日の國民大會で決定をみた分業期成街頭デモ行進は五月廿一日晴天に惠まれ關東各地から集まつた藥劑師、藥學生約五千名參加、午後一時半手に手にプラカードを掲げて共立藥大グランド出發、ブラスバンドを先頭に御成門、新橋、虎の門、神谷町、御成門、共立グランドとデモを行い道行く人々の注目をあび午後四時頃解散した、なお當日ラヂオカーがデモをぬつて分業の必要を放送、別動隊はビラを配布した

醫藥卸協會總會

醫藥品卸賣業者協會本年度通常總會が十六日東京藥賀會館で行はれ前年度決算承認、豫算決定の後本年度事業計畫として①適正利潤の確保②資金の回收勵備などを推進する事を申合せた、

模範藥局表彰

▽…和歌山縣で

和歌山縣藥務課では廿八日午前九時縣廳で本年度模範藥局の表彰を行つた、受賞藥局は小出藥局＝和歌山市小出勇氏、大谷藥局＝橋本町大谷嘉人氏、向島藥局＝海岡村大武安彥氏、ナニワ藥局＝和歌山市濱上正二氏大賀藥局＝和歌山市上西虎信氏なお表彰式後藥務課主催第六改正藥局方講習會が開催された

七月の藥學大會
日程を最後決定

昭和廿六年度日藥協會屋衛大會は七月一日より五日間東大で開催される、その日程は

一日＝日藥臨時總會、二日＝關西部會、學校藥劑師部會、公衆衛生部會（衛生化學技術者會議）保健所藥劑師協議會、藥學教育部會、藥學教育委員會と懇談會、藥學教育委員會、三日＝全國病院藥劑部長會議、藥劑學部會、生藥學部會、衛生化學、藥化學分析化學、藥品化學、藥用植物化學、微生物藥學、日本藥學會總會、四日＝各學術部會講演、五日＝見學、アサヒビール工場、東京都汚物處理場、日本化藥工場、國會議事堂放送局、淀橋淨水場

◇人　事◇

藥事審議會新委員（四月一日付）通商產業事務官玉是敬三、同長林貞一、赤塚京治▽地區藥劑取締事務所長（四月一日付）川合義一＝北海道、久保寬＝東北、水口恒信＝關東甲信越島一郎＝近畿、同所長心得近藤正次＝東海、眞田明＝中國、古川順一＝中國、安田彌藏＝九州

◇政令・法規◇

四エチル鉛取扱基準令＝五月廿一日政令第一五八號で公布

毒物劇物指定等に關する者＝廿五日付公布、本者令＝廿五日の表示事項等を規定したもの

品名	配當率	平均價格	配當率	平均價格	配當率	平均價格	配當率	平均價格	配當率	平均價格	配當率	平均價格	配當率	平均價格
申村龍	一五分	元九、〇〇圓	一五分	三五、〇〇圓	一五分	一圓	一五分	六四、四〇圓	一五分	一圓	一五分	三〇、〇〇圓	一五分	三五、〇〇圓
第一製藥	一五分	三、二〇圓	一五分	三五、〇〇圓	一五分	一圓	一五分	六四、四〇圓	一五分	一圓	一五分	三〇、〇〇圓	一五分	三五、〇〇圓
大日本	一五分	一圓	一五分	三五、〇〇圓	一五分	一圓	一五分	六四、四〇圓	一五分	一圓	一五分	三〇、〇〇圓	一五分	三五、〇〇圓
塩野義	一五分	六四、四〇圓	一五分	三五、〇〇圓	一五分	一圓	一五分	六四、四〇圓	一五分	一圓	一五分	三〇、〇〇圓	一五分	三五、〇〇圓
田邊製藥	一〇分	一圓	一〇分	三五、〇〇圓	一〇分	一圓	一〇分	六四、四〇圓	一〇分	一圓	一〇分	三〇、〇〇圓	一〇分	三五、〇〇圓
吉富製藥	一五分	三五、〇〇圓	一五分	三五、〇〇圓	一五分	一圓	一五分	六四、四〇圓	一五分	一圓	一五分	三〇、〇〇圓	一五分	三五、〇〇圓
藤澤藥工	一五分	六、〇〇圓	一五分	三五、〇〇圓	一五分	一圓	一五分	六四、四〇圓	一五分	一圓	一五分	三〇、〇〇圓	一五分	三五、〇〇圓

（2）平均配當率　平均價格

①配當率は記念特別配當をすくめたものである、②配當率は記念特別配當をすくめたものである、③平均株價は額面五〇圓當りに換算したものである、④各社

2つの造血ビタミン

赤血球並に白血球を增加させる2つの造血ビタミン…フオリアミン（葉酸）とフレスミン（B_{12}）とが新しい貧血治療劑として昨年7月初めて日本の治療界に登場して以來好評を博して居ますが、今般更に高單位のフオリアミン錠（1錠中5mg含有）を新發賣致しました。注射液と同樣御推奬を乞う

【效能】 寄生虫性貧血、榮養性貧血、妊娠性貧血、惡性貧血（四脚の疼痛硬直、關節の痺れ等を感ずる場合はB_{12}が適し、兩劑の併用は更に效果的）

大阪市東區道修町　武田藥品工業株式会社　東京・札幌・福岡・名古屋

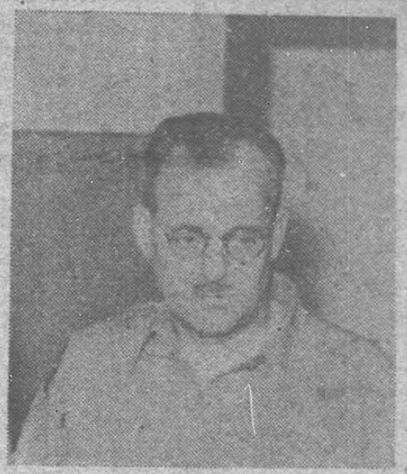
ビタミンM（葉酸）製劑
フオリアミン
錠劑（5mg）20錠、注射液 1cc（15mg）5管

ビタミンB12 製劑
フレスミン
【包裝】 注射液 1cc（15γ） 5管 【文獻贈呈】

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

進歩を續けよ

サ准將離任の聲明



連合軍の日本進駐に際し最高司令部公衆衛生福祉局長として着任、過去六年に亘り戰爭で混亂した日本の衛生行政を指導したサムス准將は醫藥問題を通じてとくにわが業界人になじみ深い人であつたが去る五月廿五日離任歸國の途についたが離日に際し次のような聲明書を發表した

日本の新聞に發表するための表明

かえりみれば過去六年間、連合軍最高司令部公衆衛生福祉局長として日本に在任し、私達もその速やかな實現を願つて止まないが、今や講和條約の調印もつい間近に迫つてきたこの時に至つて、私はこゝに現職の解任をねがい米國に歸る事を懇請した譯である。

日本に於ける衛生並びに福祉の分野に於ては、偉大なる進歩がなされた。私は此の進歩が將來も日本の人々に依つて續行される事を願うものである。既に基礎となる軌範はうちたてられており、若しもこれが將來に於いても保持され改善されるならば、必ずや日本の國が衛生福祉の面に於ける近代的民主國家の中の指導者の一つとして認められる事に至るであろう。此の過去六年間に於いてなされた進歩は、一に日本の人々、殊に衛生福祉の專門分野、即ち醫學、藥學、衛生工學、齒科醫學、獸醫學、榮養、社會事業及び看護の仕事に携る人々の熱意のこもつた協力と勉勵によつて達成し得たのである。

今回、私が歸國するに際し、連合軍最高司令部の衛生福祉業務の實施に當り、かくまでも熱心に仕事された日本の人々に對し、私として心からなる感謝の意を表わしたい。しかしまだ、その人達の仕事は終つたわけではない。

折角これまで進んだ業績が後退しないように前進を繼續して行かねばならない。この様な業務は、じつと一所に止つている事は出來ない。必ずや進歩するか後退するかの何れかである。

私は、日本の人々並びにその將來について大いなる信頼を有するものである。又日本人が衛生及び福祉の分野に於いて、更に前進を繼續して行く事にも万腔の信頼を有しているものである。

米國の問屋・藥局・製藥會社

去る一月末渡米、最近歸國した中島商事株式會社（大阪市東區京橋三、米國ウインスロップ日本總代理店）の高橋貿易部長は廿日大阪藥業二水會（問屋團体）例會でつぎのような見聞記を明らかにした。

☆一年間の全米藥局の總賣上高は十五億ドルに達しその内約四割の六億ドルが醫藥品である。醫藥品の内最も賣行のよいのは抗生物質でその半分約三億ドルを占めその種類は實に一四一に達している抗生物質以外では風邪藥がよく捌けているので各藥局でも大變これに力を入れている。

☆問屋の扱う商品の種類は二万—三万に達しているアメリカ隨一の問屋マッケンソン、ロビンソンは全米に七七の支店をもちその在庫商品總額は二五〇万ドルで商品回轉率一年六回とゆう好調を持し問屋マーヂン率は一割強とゆうところである。

☆米國の藥店にもダンピングする店があるがメーカーの要求する最低値段をくずした場合にはメーカー側から裁判所に提訴し罰金、体刑が課せられメーカー側の損害倍償要求に應じねばならない事になつているが大低は約束書を一札入れて値段を堅持するようである。

☆公正取引法は全米四八洲中三洲以外これが認められメーカーが新藥品發賣の場合販賣店一社に對し値段を指示すれば自動的に全販賣店の價格がそれに準ずる事になつている。そしてメーカーが同種製品を發賣しても同じ原價で出來るとゆう事が常識的に考へられないとされ各メーカーの値段は多少異つている。大体米國における醫藥品の取引はいづれもマーヂンを明らかにして商談を行つているがこれで結構スムースに運ぶのだから羨しい話である。

☆米國の製藥工場は急速に發展している。戰前の建物ではその施設など日本のメーカーと同じ位の水準のものも多數あるが、新しい工場は實に整備され特に研究所の充實ぶりはすばらしい、商品の品質保持には非常な犠牲が拂はれ適格でない商品が出來た場合營業上のロスを顧慮する事なく破棄されているようだ。

☆問屋のもつている力は仲々たいしたものでメーカーに對する資材の割付などにはその意見が大いに尊重される、金融機關も問屋における實績を檢對してメーカーに貸付をするといつた案配である。問屋自身又科學的營經に力を入れ各小賣店の信用調査を徹底的に行い各小賣店に等級をつけA[illegible]何、Bは幾何とゆう[illegible]内での販賣には應じ[illegible]それ以上は絶對受註[illegible]い一日—十五日迄の[illegible]はその月の廿五日支[illegible]十六日—三日の納入[illegible]月廿日拂ひが嚴守さ[illegible]いる

☆問屋が重視され資本[illegible]實しているので一流[illegible]カーはその製品の八[illegible]割を問屋に捌いてい[illegible]二、三流は問屋へ卸[illegible]率が少なくなり醫師[illegible]接販賣するのはCクラ[illegible]賣藥はチエンストア[illegible]ら市場に出る。

舞台を精進する私とお藥

中村鴈[illegible]

いろいろな職業のお方どなたでも左様でございましようが、特に私共俳優のように毎日毎日の演技を生命といたしております者は舞台をふみましたら最後、心身共にいささかの疲れを見せぬよう相勤めますために一方ならぬ苦心をしているものでございます。一興行を無事濟ませる迄には、激しい稽古からはじまつて愈々蓋をあけますと初日から千秋樂迄一月に餘る日と云うものは途中で一日の休養もとれませぬのは勿論のこと、舞台に上れば一呼吸一瞬間の怠りも出來ません。今日は身体の調子が惡うて氣が乘らんなど云うことは絶對に許されんものなのでつねづね身体の具合にはよう氣をつけまして、興行中は前日の疾れは翌日迄にはすつかり治してしまうよう出來るだけの手當をいたしますので自然お藥の力も借りることになるのでございます。疲れに良いと云うお藥はいろいろ勸められるまゝに各種のものを試して見ましたのでそのお藥がほんまに効めがあるかどうかは少し續けて用いて見ますと我身によう判ります。

疲れを出さぬようにするには先づ身体に榮養をつけることが第一やと心得まして食物に充分氣をつけまするは勿論のことビタミン劑などもしよつちゆう用いまして殊にメタボリンは隨分使いました。これは最近のことですがビタミンのBとCと一緒になつた錠劑など大層結構なようで精々使わせて貰うておりますが私共のような長い間休養をとらずに仕事を續けねばならぬものにとつてビタミンの様な榮養劑の補給は確に必要でございます。

ところが戰時中から例の覺醒劑、あれを使うことが演藝界の各方面で流行り出しまして私もつい引込まれた一人でございます。仲々あれは即効的の効果がありますので便利な藥でありますがやりだしますとだんだんと使用の量や回數もふえていきましてどうしても止められぬと云うような酷い中毒の方も見聞きしておりましたが私も仕事の關係上必要にせまられて使い出したのが始りで最初はちよいちよいと云う程度でございましたが矢張り藥の性質はおそろしいものでついつい深入りいたしまして習慣となり毎日切らしてはならないようなことになつておりました。一方ビタミン劑はずつと使つて居つたのですがこれだけではどうにも物足らず惡いとは知りつゝ覺醒劑の使用を止めることが出來ずに惱んでおりましたところが三、四年前のある時たまたま御贔屓筋のお醫者様から「今度パニールチンと云う注射藥が出たがなかなか面白い藥で私もだいぶ使つて見ての經驗からするとどの患者さんも皆身体の調子が今迄になくよくなつたと云われるのできつと良いと思うので貴方も少しやつて見なさらんか」と勸められましてしばらくその藥を打つて頂きました。そしたら確にお醫者様のおつしやるとおりで氣分もスッキリいたしまして身体も何となくシヤンとするようでございます。これは良いものを教えて頂いたと續けておりますうちに覺醒劑の方は不思議にプッツリと止めることが出來ました。それに以後いそがしい興行の度毎にはメタボリンとパニールと一緒に用いまして元氣に舞台を勤めておりますパニールチンには副作や習慣性は一つもなく又射の際の痛みもなくメタリンと混ぜて打つて頂きましても之又無痛なのはでございます何にしてもパニールチンは私をあの劑中毒から救い出してたお藥と感謝しておりますパニールチンの主成分シスチンは身体の調子を整えるのになくてならない成分だと伺つておりますが、又これは特に皮膚の養にとつて一番大切なものだそうでございますから共のようにいつも厚化粧肌を虐待していますものとつてはこの意味でもお藥のように思われます。

これからもビタミン射や錠劑それにパニールチンの力で大いに若返り[illegible]つて舞台を勤めさせて頂うと存じております。（[illegible]者は歌舞伎役者）

「石朋酸」
島薬品株式會社
[illegible]

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

生行政を指導したサムス准將は醫藥問題を通じてとくにわが業界人になじみ深い人であつたが去る五月廿五日離任歸國の途についたが離日に際し次のような聲明書を發表した

日本の新聞に發表するための表明

かえりみれば過去六年間、連合軍最高司令部公衆衛生福祉局長として日本に在任し、私達もその速やかな實現を願つて止まないが、今や講和條約の調印もつい間近に迫つてきたこの時に至つて、私はこゝに現職の解任をねがい米國に歸る事を懇請した譯である。

日本に於ける衛生並びに福祉の分野に於ては、偉大なる進歩がなされた。私は此の進歩が將來も日本の人々に依つて續行される事を願うものである。既に基礎となる軌範はうちたてられており、若しもこれが將來に於いても保持され改善されるならば、必ずや日本の國が衛生福祉の面に於ける近代的民主國家の中の指導者の一つとして認められる事に至るであろう。此の過去六年間に於いてなされた進歩は、一に日本の人々、殊に衛生福祉の專門分野、即ち醫學、藥學、衛生工學、齒科醫學、獸醫學、榮養、社會事業及び看護の仕事に携る人々の熱意のこもつた協力と勉勵によつて達成し得たのである。

今回、私が歸國するに際し、連合軍最高司令部の衛生福祉業務の實施に當り、かくまでも熱心に仕事された日本の人々に對し、私として心からなる感謝の意を表わしたい。しかしまだ、その人達の仕事は終つたわけではない。

折角これまで進んだ業積が後退しないように前進を繼續して行かねばならないこの樣な業務は、じつと一所に止つている事は出來ない。必ずや進歩するか後退するかの何れかである。

私は、日本の人々並びにその將來について大いなる信頼を有するものである。又日本人が衛生及び福祉の分野に於いて、更に前進を繼續して行く事にも万腔の信頼を有しているものである。

製藥會社

に準ずる事になつているそしてメーカーが同種製品を發賣しても同じ原價で出來るとゆう事が常識的に考へられないとされ各メーカーの値段は多少異つている。大体米國における醫藥品の取引はいづれもマーヂンを明らかにして商談を行つているがこれで結構スムースに運ぶのだから美しい話である。

☆米國の製藥工場は急速に發展している。戰前の建物ではその施設など日本のメーカーと同じ位の水準のものも多數あるが、新しい工場は實に整備され特に研究所の充實ぶりはすばらしい、商品の品質保持には非常な犧牲が拂はれ適格でない商品が出來た場合營業上のロスを顧慮する事なく破棄されているようだ。

☆問屋のもつている力は仲々たいしたものでメーカーに對する資材の割付などにはその意見が大いに尊重される、金融機關も問屋における實績を檢對してメーカーに貸付をするといつた案配である。問屋自身又科學的營經に力を入れ各小賣店の信用調査を徹底的に行い各小賣店に等級をつけAは幾何、Bは幾何とゆう限度内での販賣には應じるがそれ以上は絶對受註しない一日—十五日迄の納入はその月の廿五日支拂、十六日—三日の納入は翌月廿日拂ひが嚴守されている

☆問屋が重視され資本が充實しているので一流メーカーはその製品の八、九割を問屋に捌いている、二、三流は問屋へ卸す比率が少なくなり醫師へ直接販賣するのはCクラス賣藥はチエンストアーから市場に出る。

「石朋酸」

島薬品株式會社
大阪市東区平野町二丁目一一
電話北浜(23)6379番

医家に自由販売！乞御推奨

新抗生物質製劑

クロロマイセチン

0.25g入 カプセル 1瓶 12箇入

三共 SANKYO

パークデービス社より大量輸入

從來使用統制を受けておりました本品は今般大量輸入の見込がつき、醫家に自由販賣されることになりました。この機に尚一層御推奬下さるよう切望いたします

—適應症—

腸チフス、百日咳、赤痢、發疹チフス、淋疾、梅毒、尿路感染症、恙虫病、腸炎、潰瘍性大腸炎、細菌性肺炎、一次性不定型肺炎、淋巴肉芽腫、鼠蹊肉芽腫、その他適應極めて廣汎。

東京都中央區 三共株式會社 日本橋室町

日新の医薬 NISSIN

下痢なら

スルフアグアニジン

最も理想に近づいた腦幹性催眠劑！

イソミタールは他のバルビツール酸誘導体の諸製劑と其藥理作用及び適應症を異にし特に精神神經科領域、精神身体醫學界、内科領域

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

生福祉業務の實施に當り、かくまでも熱心に仕事された日本の人々に對し、私として心からなる感謝の意を表わしたい。しかしまだ、その人達の仕事は終つたわけではない。

折角これまで進んだ業績が後退しないように前進を繼續して行かねばならないこの様な業務は、じつと一所に止つている事は出來ない。必ずや進歩するか後退するかの何れかである。

私は、日本の人々並びにその將來について大いなる信頼を有するものである。又日本人が衛生及び福祉の分野に於いて、更に前進を繼續して行く事にも万腔の信頼を有しているものである。

出來た場合營業上のロスを顧慮する事なく破棄されているようだ。

☆問屋のもつている力は仲々たいしたものでメーカーに對する資材の割付などにはその意見が大いに尊重される、金融機關も問屋における實績を檢對してメーカーに貸付をするといつた案配である。問屋自身又科學的營經に力を入れ各小賣店の信用調査を徹底的に行い各小賣店に等級をつけAは幾何、Bは幾何とゆう限度内での販賣には應じるがそれ以上は絶對受註しない一日—十五日迄の納入はその月の廿五日支拂、十六日—三日の納入は翌月廿日拂ひが嚴守されている

☆問屋が重視され資本が充實しているので一流メーカーはその製品の八、九割を問屋に捌いている、二、三流は問屋へ卸す比率が少なくなり醫師へ直接販賣するのはCクラス賣藥はチエンストアーから市場に出る。

石朋酸

島薬品株式會社
大阪市東区平野町二丁目一一
電話北浜(23)6379番

ずつと使つて居つたのですがこれだけではどうにも物足らず悪いとは知りつゝ覺醒劑の使用を止めることが出來ずに悩んでおりましたところが三、四年前のある時たまたま御贔屓筋のお醫者様から「今度パニールチンと云う注射藥が出たがなかなか面白い藥で私もだいぶ使つて見ての經驗からするとどの患者さんも皆身体の調子が今迄になくよくなつたと云われるのできつと良いと思うので貴方も少しやつて見なさらんか」と勸められましてしばらくその藥を打つて頂きました。そしたら確にお醫者様のおつしやるとおりで氣分もスッキリいたしまして身体も何となくシヤンとするようでございます。これは良いものを教えて頂いたと續けておりますうちに覺醒劑の方は不思議にブツツリと止めることが出來ました。それに以後いそがしい興行の度毎にはメタボリンとパニールと一緒に用いまして幸に元氣に舞台を勤めておりますパニールチンには副作用や習慣性は一つもなく又注射の際の痛みもなくメタボリンと混ぜて打つて頂きましても之又無痛なのは結構でございます何にしてもパニールチンは私をあの覺醒劑中毒から救い出してくれたお藥と感謝しております

パニールチンの主成分のシスチンは身体の調子具合を整えるのになくてならぬ成分だと伺つておりまりたが、又これは特に皮膚の榮養にとつて一番大切なものだそうでございますから私共のようにいつも厚化粧で肌を虐待していますものにとつてはこの意味でもよいお藥のように思われます。

これからもビタミンの注射や錠劑それにパニールチンの力で大いに若返り張切つて舞台を勤めさせて頂こうと存じております。（筆者は歌舞伎役者）

医家に自由販売！乞御推奨

新抗生物質製劑

クロロマイセチン

0.25g入 カプセル 1瓶 12箇入

パークデービス社より大量輸入

從來使用統制を受けておりました本品は今般大量輸入の見込がつき、醫家に自由販賣されることになりました。この機に尚一層御推奬下さるよう切望いたします

—適應症—

腸チフス、百日咳、赤痢、發疹チフス、淋疾、梅毒、尿路感染症、惡虫病、腸炎、潰瘍性大腸炎、細菌性肺炎、一次性不定型肺炎、淋巴肉芽腫、鼠蹊肉芽腫、その他適應極めて廣汎。

三共 SANKYO

東京都中央區 三共株式會社 日本橋室町

下痢なら

スルフアグアニジン

エメリン

日新の医薬 NISSIN

主なる適應症
赤痢・疫痢・腸炎・腸チフス

包裝★新包裝 20錠
末 25・100・500瓦

日新化学工業株式会社
大阪北濱五 (旧住友化學)

最も理想に近づいた腦幹性催眠劑！

イソミタールは他のバルビツール酸誘導体の諸製劑と其藥理作用及び適應症を異にし特に精神神經科領域、精神身体醫學界、内科領域への効果的治療劑として革新的な臨牀分野を打開したものです （文獻進呈）

就眠兼熟眠劑

発売開始

イソミタール

成分 イソアミル・エチルバルビツール酸
包裝（末）5瓦、25瓦、100瓦・錠10錠(0.1)

製造發賣元 京都・東京 日本新薬株式會社 大阪・札幌

催眠薬の話

(上)

眠る子は太るという諺があるが人間は人生の三分の一を寝て暮している、しかしこの睡眠は決して時間の浪費でも空費でもなく、翌日よりよく働くための建設的な休養である。

春日遅々猫は鼠を取る事を忘れ、たゞ離りにねむると、之は猫の休養である。

深夜轉輾反側眠れない身体は、疲れて明日の生活力も減退する。病人は眠る事によつて恢復力をまし、治癒力を維持する、この故に適當な催眠藥を與え熟睡をもたらす事は治療上重要なことである。

文明と共に世の中は忙しくなり、晝も夜も仕事がある、時間があいた時に自分の慾する時に熟睡がとれ、健全な休養をする事が出來たらもつと能率が上るだろうと睡眠に對する慾望は際限がない。

眠り藥は非常に古くから謂い傳えや經驗的に基づいて、けし、ひよす葉、まんだら根及印度大麻草等の生藥が使用され始めた、一七〇〇年乃至三〇〇〇年位前の事である。

一八〇五年には Serturner は阿片からモルヒネを抽出分離し犬について催眠作用の最初の藥理學的實驗を行つた。

次いで一八五三年 Sirch Cloor 氏は、ブロームカリを用いて顯著性癎鎭めの慢性の不眠症を治し得ることを發見し臨床上に應用するに至つた。

然しこれらの藥は現在催眠とは目的を異にし、前者は鎭痙劑の王者として後者は鎭靜劑として發展している。

一八六九年 O. Liebrich は Liebrich のつくつた抱水クロラール（一八三二年＝天保三年）が催眠作用の有する事を發見した。之は最初の合成催眠藥である。

その後一八三年には、Cervello 氏のパラアルデヒド、一八六年にはウレタン、一八八年にはスルホナール、一九〇三年には近代的催眠藥バルビツール酸化合物の創始のベロナール（明治四〇年）にはクロールより、ブロムラール（抱カルモチン、ブロバリンが生まれた。

即ち、一九〇〇年代に入つては現在繁用せられて且つ最も誘導体の多いバルビール酸及び、尿素系催眠藥が次々と研究發表され、大進歩をして來た譯である之等催眠劑をその適應によつて分類すると次の三種になる。

①就眠困難性不眠症に適用され、副作用殆どなく安心して使用し得るもの、服用後自然の眠りに似た倦怠感の下に速に睡眠狀態に入り作用は持續的で輕度の興奮をのぞく。

②熟眠用難症に適用され、短時間内にぐつすり眠れる熟眠藥、バルビツール酸誘導体、醫師の指示又は處方により使用、劇藥扱。

イ、作用强力にして睡眠指續時間長く翌日多少後遺作用あるもの…デアール、バルビタール

ロ、熟眠作用强く短時間内によく眠り、副作用なきもの、メチル（キサビタール

③强度の不眠症に適用するもので作用の發現は遲いが作用は持續的で興奮をのぞく。

七―八時間持續して後遺症（頭痛、頭重、めまい）を殘さない…ブロムラール、カルモチン、アダリン等一錠中の含量により普通藥、醫師の指定又は處方を必要としない。

催眠藥の歷史

日傳及經驗（1700～3000年前）　罌粟、莽沃坍葉コンダラ根及印度大麻草の坐藥としての應用

1805年 Serturner 阿片より純粹な Marphin を抽出分離を犬に對して實驗し麻醉作用を認めた。

1853年 Sir ch, Lecock　ブロームカリが顯癎性痙攣を鎭め、慢性の不眼症を治す事を發見し臨牀的に應用した

1869年 O,Liebrich は 1932年 Libig のつくつた抱水クロラールが催眠作用を有する事を發見……合成催眠藥の應用の最初

1883年 V,Ceruell は Paraldehyd

1886年 O,Schmiedeberg は Urethan

1888年 E,Baumann 及 A,Kart 兩氏のスルホナール

1903年 E,Fischer 及 J, y, menng の veronal

1907年 Kviegelu, Berdem ブロムナール

メーカー・ガイド

今夏からクロマイ生産

マ：三共株式會社

パークデビス社とクロロマイセチンの製造に關する技術提携交渉を進めている三共はパ社外國部次長ラムゼー氏の訪日で近く調印完了の見込みがつき豫定通り今夏から製品を出せるもようである。

すでに中間体エルベートの製造開始契約成立により一部機械が到着し三共は月産五〇屯を目標に基準を進めている

機構改革人事異動

マ：黒田製藥

黒田製藥はこの程機構を改革、學術宣傳の二課を一本するものでアダリンに纏めて學術部を設置、總務、營業、生產、學術の四部制とし本社に企畫、監査の二室を新設し企畫室長兼學術部長に福井儀五郎、監査室長に川守祐、生產部長三園工場長に田邊晉、宣傳課長に榎本謙郎、總務課長に日原太郎の各氏が就任した

サントゾール增產

マ：日本新藥

日本新藥はサントニンの增產に伴い從來制常量が少なく品薄狀態であつたサントニン注サントゾールの制常枠の擴大を當局へ懇望中であつたのが最近許可になつたので目下增產中近く市場に潤沢される見込み

海外ニュースト ピック

プラスチックアンプル カプセル

米國ウインズプ社は硝子のアンプルの代りにプラスチックアンプルの使用を研究中であつたがこの研究完成、實驗による注射液である、血清、血漿、變質等についてのデーターを得たので特許を申請中で近く市場に現はれるものと考えられる

プラスチックアンプルの合成はアンプルカットは全然不要でアンプルに直接注射器を入れて液の吸入可能であり硝子屋さんは恐威を感じているが特級の便利、破損の心配皆無など種々利點がありやがてプラスチックアンプル万能時代が來るかもしれない…（中島商事商標部長談より）

……切……

（十三）

百日咳には

識知の療醫

最近百日咳が大變流行し子供をもつ母親は自分の子供を守るためにいろいろ氣を使つている百日咳は事實乳兒の大敵で一九四六年十月―一九四七年四月の八ヶ月間に七五六七人もの赤ちやんが百日咳で命を失ひ同期間のハシカ、ヂフテリヤによる死亡率を上廻り急性傳染病の王座を占めているのである

先づこの豫防をあるが、百日咳は發病初期就中カタル期に傳染力が最も强いのでこの期間に隔離するのが大切だがこれは仲々困難であるから次善の策として「自動免疫法」がとりあげられている

自動免疫法には死菌ワクチンの皮下注射免疫法と弱毒性菌接種法があるが、死菌ワクチン皮下注射免疫法は古來最も盛んに研究されたもの一時市販ワクチンに對する批判もあつたが最近基準及ばないが使用されているしかしワクチン、血清、血漿は免疫血清法にされる程度で他に適應する藥はないようである（日）

この豫防に使用されるワクチンは又治療に繁用されている、從來は含有菌量の僅少さ、菌株の陳舊さから治療には餘り期待出來なかつたが最近濃厚新鮮なワクチンが出ているので相當有効とされているワクチンについて治療に使用されるのは免疫血清と血液である、アメリカでは給血者の血清を凍結乾燥して使い相當な効果をあげているが日本でもブラッドバンクが發足したのでこの方面からの供給が期待できそうである血液は免疫血清法に比べて効果が劣るが使用の程度で他に適應する

液いづれも適確な効果は期待出來ないそしてこれを凌駕するような治療藥もいまだ發見されていないが最近市販段階に入つた抗生物質クロロマイセチン、オレオマイシン、テラマイシンは確定的なデータは出ていないが效果ありとの報告も相當ある。

カルモチンは大正七年市販されたと記憶している。その後これと同種製劑はブロバリン、ニプロミン、ソムナールと發賣され、第二次世界大戰後の興奮狀態の亢ぶつた神經を鎭め、眠れぬ人を眠らせる藥として廣まつて行つた。殊に神經衰弱不眠症、亢奮した病人の鎭靜に繁用された。

ブロムラールの發賣された時の發表をみると、本劑はリポイド溶性で大腦細胞中によく浸透して細胞の新陳代謝に變化を與え、鎭靜作用を來すものであるとしかし一方では睡る間が極樂と言い現世の苦しみから逃れて永久に眠りたいと、常軌をはづした希望のもとに永眠藥として使用する例が昭和二、三年頃から增加して、自殺記事をにぎわしていた。然し永眠に成功した例は極めて少く多くは覺醒している。この系統に屬

新藥カード

品名	成分	効能	使い方	備考
内服用 グアノフ	5―ニトロ2	腸内細菌性疾患	大人一日量五～	劃期的
	る24°Cに	グラム陰性、	一〇～一五才は	防疫
	には1:100に	菌に耐性を與	一〇才以下は大人	殺菌
		等に對し耐性	用	及び
		ある		治療
		赤痢、疫痢の		分類

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 77503

催眠薬の話

（上）

合成催眠薬である。

その後一八八三年には、Cervello 氏のパラアルデヒド、一八八六年にはウレタン、一八八八年にはスルホナール、一九〇三年には近代的催眠薬バルビツール酸（Barbitursäure）化合物の創始のベロナール（Veronal）が生まれた。

即ち、一九〇〇年代に入つては現在繁用せられて且つ最も誘導体の多いバルビツール酸及び、尿素系催眠薬が次々と研究發表され、一大進歩をして來た譯である。

之等催眠劑をその適應によつて分類すると次の三種になる。

①就眠困難性不眠症に適用され、副作用殆どなく安心して使用し得るもの、即ち後自然の眠りに似た徐意感の下に速に睡眠狀態に入り

七―八時間持續して後遺症（頭痛、頭重、めまい）を殘さない…ブロムラール、カルモチン、アダリン等一錠中の含量により普通藥、醫師の指定又は處方を必要としない。

②熟眠用難症に適用され、短時間内にぐつすり眠れる熟眠藥、バルビツール酸誘導体、醫師の指示又は處方により使用、劇藥扱。

イ、作用强力にして睡眠指續時間長く翌日多少後遺作用あるもの…ヂアール、ヂエチル、バルビタール、熟眠作用强く短時間内によく眠り、副作用なきもの、メチル（ヘキサビタール）

③强度の不眠症に適用するもので作用の發現は遲いが作用は持續的で翌日迄その影響を殘す…スルホナール、抱水クロラール、劇藥扱

◇ブロム含有尿素系

一九〇三年日明治三六年發見せられたブロムラールと同一組成を有している。カルモチン及びブロバリンは現在も尚催眠藥の王座として活躍している。

邦製品は第一次世界大戰が始つて獨逸の醫藥品の輸入が杜絶した際に當時の化學者が一大勇猛心をふるい起して國產化を始めた醫藥品の一つとして生れたものである。

カルモチンは大正七年市販されたと記憶している。その後これと同種製劑はブロバリン、ニブロミン、ソムナールと發賣され、第一次世界大戰後の興奮狀態の亢ぶつた神經を鎭め、眠れぬ人を眠らせる藥として廣く使つて行つた。殊に神經衰弱、不眠症、亢奮した病人の鎭靜に繁用された。

ブロムラールの發賣された時の發表をみると、本劑はリボイド溶性で大腦細胞中によく滲透して細胞の新陳代謝に變化を與え、麻醉作用を來すものであるとしている。

然し一方では睡る間が極樂と言い現世の苦しみから逃れて永久に眠りたいと、常軌をはづした希望のもとに永眠藥として使用する例が昭和二、三年頃から增加して、自殺記事をにぎわしていた。然し永眠に成功した例は極めて少く多くは覺醒している。この系統に屬するものでアダリンがバイエル會社から發賣され邦製品にもドルミン、アラボン、アーデーと市販されて來た。（武田藥工學術顧長遠藤武男）

この豫防に使用されるワクチンは又治療に繁用されている。從來は含有菌量の僅少さ、菌株の陳舊さから治療には餘り期待出來なかつたが最近濃厚新鮮なワクチンが出ているので相當有效とされている

「自家ワクチンについて治療に使用されるのは免疫血清と血液である、アメリカでは給血者の血清を凍結乾燥して使い相當な效果をあげている。

日本でもブラッドバンクが發足したのでこの方面からの供給が期待できそうである。血液は免疫血清法に及ばないが使用されている。

しかしワクチン、血清、血液いづれも適確な效果は期待出來ないそしてこれを凌駕するような治療藥もいまだ現はれていないが最近市販段階に入つた抗生物質クロロマイセチン、オレオマイシン、テラマイシンは確定的なデータは出ていないが效果ありとの報告も相當ありこの分野に光明をさしかけており特にその吸入療法は好成績が期待されている在來の醫藥ではエーテル麻醉チフオールコイフプステンが痙攣期に使用される外ビタミンC、セファランチン紅波、紫光、などが使用される程度で他に適應する藥はないようである（H）

メーカー・カイド

今夏からクロマイ生産

▽…三共株式會社

パークデビス社とクロマイセチンの製造に關する技術提携交涉を進めている三共はパ社外國部次長ラムゼー氏の訪日で近く調印完了の見込みがつき豫定通り今夏から製品を出せるもようである。

すでに中間体エルベートの製造開始契約成立により一部機械が到着し三共は月產五〇瓦を目標に基準を進めている

機構改革人事異動

▽…黒田製藥

黒田製藥はこの程機構を改革、學術宣傳の二課を一本に纒めて學術部を設置、總務、營業、生產、學術の四部制とし本社に企劃、營業の二室を新設し企劃室長に副井儀五郎、營業室長に川守祐、生產部長三園工場長に田邊晉、宣傳課長に榎本靖郎、總務課長に日原太郎の各氏が就任した。

サントゾール增產

▽…日本新藥

日本新藥はサントニンの增產に伴い從來制限生產が少なく品薄狀態であつたサントニン注サントゾールの制限枠の擴大を當局折衝中であつたのが最近許可になつたので目下增產中近く市場に潤沢される見込み

海外ニュースピック

プラスチックアンプルカプセル

米國ウインズロップ社は硝子のアンプルの代りにプラスチックアンプルの使用を研究中であつたがこの程その研究完成、臨床實驗による注射藥の變質等についてもあつたのデーターを得たので特許を申請中で近く市場に現はれるものとみられる

プラスチックアンプルの場合アンプルカットは全然不要でアンプルに直接注射針を入れて液の吸入可能であり硝子屑さんは恐威を感じているが特級の便利、破損の心配皆無など種々利點がありやがてプラスチックアンプル万能時代が來るかもしれない…（中島商事高橋氏談より）

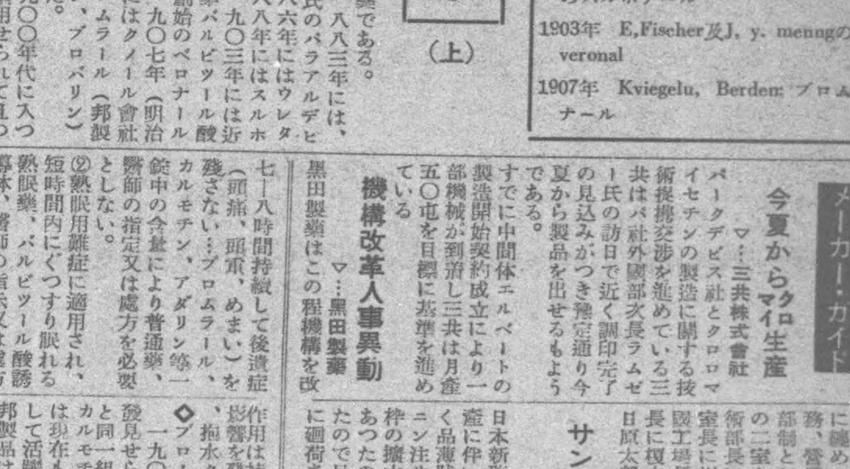
新藥カード

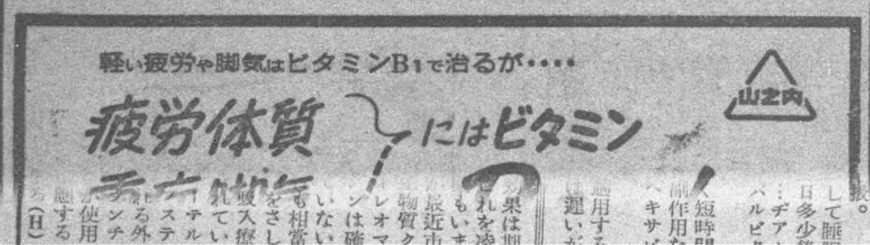
名品	成分	効能	使い方	備考	分類
内服用 グアノフラシン錠	5―ニトロ2―フルフリデンアミノグアニジン塩酸塩の集成を有する248°Cに於て分解熔融する黄色微細な短柱狀結晶であつて冷水には1:100(1%)に容易に溶解し黄色の液となる	腸内細菌性疾患とくに赤痢、疫痢に適應 グラム陰性、陽性兩程の各種細菌に對して優れた抗菌性を有し、菌に耐性を與へ難い特性あり、サルファ劑、ストレプトマイシン等に對し耐性を獲得し菌の消滅しない頑强な疾患に對して效果がある 赤痢、疫痢の治療ならびに豫防劑として用いられる	大人一日量五～一〇錠を數回に分服 一〇～一五才は大人の半量 一〇才以下は大人の三分ノ一量を使用		豫防 治療 及 試驗

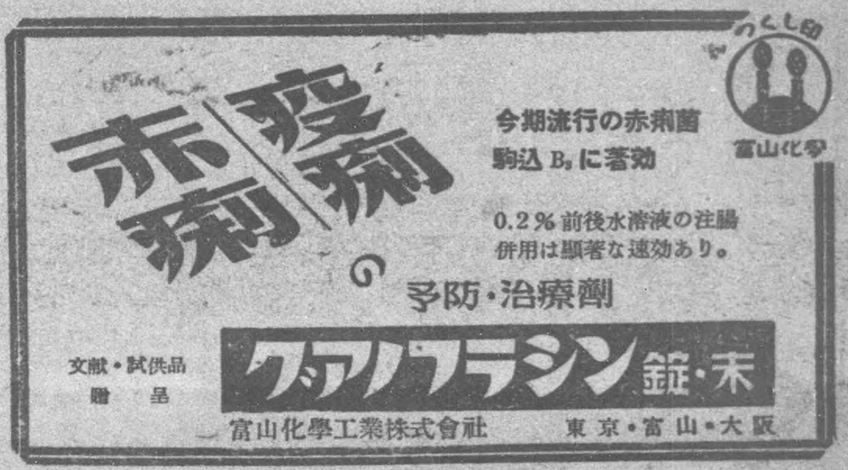
發賣元 富山化學

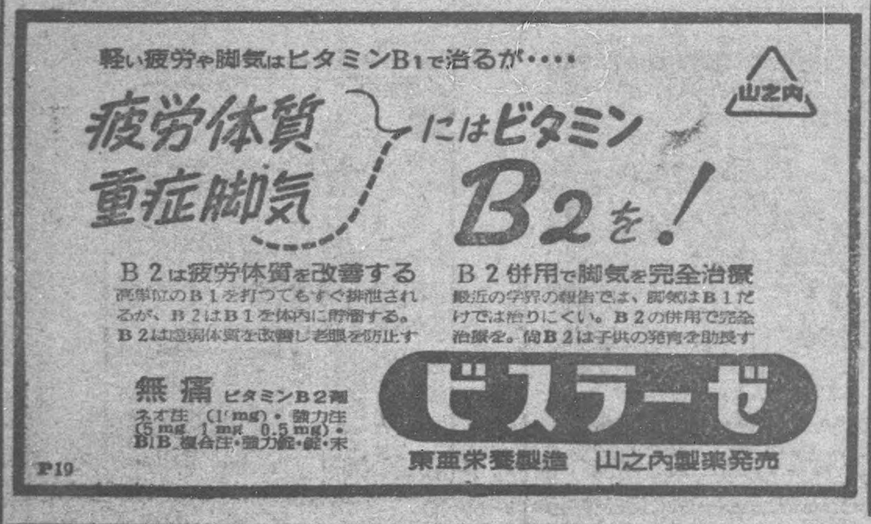
（十三）……切……り……取……り……線……

藥店の皆樣のためにこの「新藥カード」を連載し各メーカー新發賣品を紹介します。切り取つて保存して下さい。









DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

カイド

イロ生産

株式會社

クロロマ
に關する技
あている三
長ラムゼ
調印完了
定通り今
えるもよう

ベートの
により一
共は月産
準を進め

畢異動

田製藥
機構を改

革、學術宣傳の二課を一本に纏めて學術部を設置、總務、營業、生産、學術の四部制とし本社に企画、監査の二室を新設し企画室長學術部長に福井儀五郎、監査室長に川守祐、生産部長三國工場長に田邊晋、實傳課長に榎本達郎、總務課長に日原太郎の各氏が就任した

サントゾール増産

▽…日本新藥

日本新藥はサントニンの増産に伴い從來割當量が少なく品薄狀態であつたサントニン注サントゾールの割當枠の擴大を當局宛要望中であつたのが最近許可になつたので目下増産中近く市場に廻荷される見込み

海外ニューストピック

プラスチックカプセル

米國ウインズロップ社は硝子のアンプルの代りにプラスチックアンプルの使用を研究中であつたがこの程その研究完成、臨床實驗による注射藥變質等についても完璧であるとのデーターを得たので特許を申請中で近く市場に現はれるものとみられる

プラスチックアンプルの場合アンプルカットは全然不要でアンプルに直接注射針を入れて液の吸入可能であり硝子屋さんは恐威を感じているが特級の便利、破損の心配皆無など種々利點がありやがてプラスチックアンプル万能時代が來るかもしれない…（中島商事高橋氏談より）

…切…り…取…り…線…

（十三）

藥店の皆様のためにこの「新藥カード」を連載し各メーカー新發賣品を紹介します。切り取つて保存して下さい。

新藥カード

品名	内服用 グアノフラシン錠
分成	5—ニトロ2—フルフリデンアミノグアニジン塩酸塩の集成を有する248°Cに於て分解熔融する黄色微細な短柱狀結晶であつて冷水には1:100(1%)に容易に溶解し黄色の液となる
發賣元	富山化學
能効	腸内細菌性疾患とくに赤痢、疫痢に適應 グラム陰性、陽性兩程の各種細菌に對して優れた抗菌性を有し、菌に耐性を與へ難い特性あり、サルファ劑、ストレプトマイシン等に對し耐性を獲得し菌の消滅しない頑強な疾患に對して効果がある 赤痢、疫痢の治療ならびに豫防劑として用いられる
分類	赤痢疫痢治療及豫防劑
方い使用	大人一日量五～一〇錠を數回に分服 一〇～一五才は大人の半量 一〇才以下は大人の三分ノ一量を使用
價格	一五錠入 一二〇圓 三〇錠入 二〇〇圓 五〇〇錠入 二二五〇圓
一日分價格	
備考	

なつくし印 富山化學

今期流行の赤痢菌
駒込 B_3 に著効

0.2%前後水溶液の注腸
併用は顯著な速効あり。

赤痢 疫痢

予防・治療劑

文献・試供品贈呈

グアノフラシン錠・末

富山化學工業株式會社 東京・富山・大阪

軽い疲労や脚気はビタミンB1で治るが・・・・

山之内

疲労体質 重症脚気 にはビタミン B2を！

B2は疲労体質を改善する
高単位のB1を打つてもすぐ排泄されるが、B2はB1を体内に貯溜する。B2は虚弱体質を改善し老眼を防止す

B2併用で脚気を完全治療
最近の学界の報告では、脚気はB1だけでは治りにくい。B2の併用で完全治療を。尚B2は子供の発育を助長す

無痛 ビタミンB2劑
ネオ注 (1mg)・強力注 (5mg 1mg 0.5mg)・B1B 複合注・強力錠・錠・末

ビステーゼ

東亜栄養製造 山之内製薬発売

P19

仁王つりがね印 登録商標

天王寺 セメン菓子

大阪天王寺西門后の鳥居前角
岩崎太子堂
電話天王寺(77)六四番

地球印純正医薬品

品質が優秀・価格が低廉・在庫が豊富

明治薬品の代表製品

日本薬品方 アンモニヤ茴香精 250g 500g
・杏仁水 500g
・苦味チンキ 500g
・クレオソート丸 100粒 500粒
公定書外医薬品 ロートヂアス錠 120入

明治薬品工業株式會社
大阪市城東區關目町四丁目一九三

四月の醫藥生産高
二、三月より減少示す

四月中の醫藥品生産販賣高は生産總額四三億圓で三月に比し十億圓と大幅の減少これは調査對象件數の減少が大きな原因とみられているが、二月に比しても若干低下している

内譯は指定品、非指定品、家庭藥何れも生産減で細菌製劑が增産を示している、詳細は次の通り

▽四月分醫藥品等生産販賣高（單位圓）

品目	生産金額	販賣金額
醫藥品	三、八九七、〇五一、五六六	三、五〇三、八一七、七二二
指定配給品	一二〇、三六八、一七六	七七、〇二一、六〇四
非指定配給品	二、八三〇、七六四、七二八	二、六八三、六〇八、〇六六
家庭藥	六四〇、八二七、八〇七	五八九、七六九、三一七
細菌製劑	三〇五、〇九〇、八五八	一五三、四一八、七二五
醫療用品	四〇三、六五七、六四〇	三七四、六四八、八九六
齒科器械	一八、二六三、一五〇	一七、五八三、二三〇
齒科材料	三一、三七七、三八五	三三、九二三、〇四四
衛生材料	三一〇、〇六四、三八五	二七七、四三九、六二三
ガーゼ	八二、四九七、五六四	七一、〇九八、〇六八
脫脂綿	一八二、七五〇、三八二	一六六、八五四、三五〇
繃帶	四四、八一六、四三八	三九、四八七、二〇四
ゴム衛生用品	四三、九五二、七二〇	四六、七〇四、〇〇〇
合計	四、三〇〇、七〇九、二〇六	三、八七八、四六六、六〇八

▽四月分指定配給品生産販賣量

品目	生産數量	販賣數量
サントニン	二八七、〇〇〇瓦	二五六、三七九瓦
同錠	九、七一四、〇〇〇錠	八、二三三、九四〇錠
スルフアピリミジン	二、九六三、〇一〇瓦	三、一八七、二五〇瓦
同錠	六五六、九六〇錠	一、七五五、四七〇錠
ジウレチン	九一、七七五瓦	九一、七七五瓦
ストレプトマイシン	九九、二〇六瓦	九九、二〇六瓦

今期の輸入

▽厚生省の方針

厚生省は外貨ファンド困難に伴ひ四―六月の醫藥輸入に重點制をとる方針である塩酸エフエドリンは輸入不許可の方針で麻黄（十―二月分）で國内需要をまかなう方針

カフエインは國内需要不足三十屯をまかなう爲原料屑茶輸入計画が進められている、又リンゴ酸（ユアミノピリミヂン代替）は四―六月に七トン輸入の豫定

增産つづく
四月のペニ生産

四月中のペニシリン生産數量は一兆一千七百七十一億六千六百六十四万單位に達し先月に引續いて好調をつづけている。劑別生産では全体比油性プロ八五%で壓倒的、結晶六%緩衝錠二・六%無定型二%水性プロG一・六%軟膏一・五%坐藥〇・四%の順、會社別では明乳を筆頭に武田、明藥、台糖、三洋が千億單位以上つづいて万有、科研、森永と續いている

一況商一 沈滯

反潑の材料を鶴首している市場人も手がかりなく市場は凡調、沈滯している

六月の聲をきけば動き出すと樂觀している向、このまゝ梅雨相場に突入動きなしとみる筋もあるが落ちつくところに落つけば反潑するのが相場現狀が底をついたか、まだ底があるのか見る人によつて相違するが多少の好轉は期待できるのではないだろうか。傳染病の時期に入つたのでス劑系の動きが散見しだした。東京通信ではスルフアミン品薄を傳へているが大阪ではグアニジンがまづ强氣を見せはじめている。チアゾール、ダイアヂンなど投ものが出ているとの報があるが數量は大した事もないから大勢に影響なく六月に入れば反潑するだろう

大阪藥品相場

5月31日本社調査

○印 騰　△印 落

醫藥品

品名	包裝單位	單位(圓)
亞鉛華	500g	250
亞鉛華澱粉	〃	110
亞鉛華軟膏	〃	360
アスピリン	〃	650
アスピリン錠	20錠	18
アセトアリニド	500g	280
アミノピリン	〃	2,450
アルコール	〃	390
純アルコール	〃	490
消毒用アルコール	〃	320
アンチピリン	〃	2,450
△アンナカ	〃	3,000
液狀石炭酸	〃	270
塩酸エフエドリン	5g	590
塩酸キニーネ	500g	2,100
黄色ワセリン	〃	160
オレフ油	〃	330
オリザニンレツド	10mg	140
△加香ヒマシ油	500g	225
△カフエイン	〃	3,900
過マンガンサンカリ	〃	350
カルチコール	2cc×10管	75
カリ石鹼	500g	190
含糖ペプシン	500〃	650
キノフエン	〃	3,400
稀ヨーチン	〃	430
强メタ注	10mg×10管	120
メタG注	〃 〃	135
强メタボリン錠	100錠	75
〃	300〃	175
グアヤコール	500g	2,600
クエン酸	〃	500
スルフアダイアヂン錠	1錠	16
スルフアグアニジン	〃20〃	75
精製ヨード	500g	1,500
ズルチン（日新）	5〃	25
石炭酸	500〃	250
炭マグ	〃	110
炭酸グアヤコール	〃	2,800
〃	25〃	180
タンニン酸	500〃	650
チモール	〃	4,300
〃	25〃	260
ヂアスターゼ	500〃	450
ヂウレチン	〃	8,000
〃	25〃	500
乳糖	500〃	220
ネオアルバヂル錠	20錠	125
白色ワセリン	500g	200
薄荷油	〃	3,000
△ニツパス	100〃	930
△パス（日新）	〃	950
パラエス	10mg1cc×10管	145
バルビタール	25g	240
馬鈴薯澱粉	500g	90
ビタカンフアー	1×10A	175
ビタミンC	100m〃	140
フエナセチン	500g	950
ビツイタン注	5A	300
ブドウ糖	500g	580
プロパリン	25〃	150
〃	500〃	2,100
ペニシリン	10万	40
ペニシリン油性	30〃 武田	200
明乳190東レ155万有・日新・日研台糖・科研155昭和155立川145三麥135・水性10圓安		
錠	3錠入	150
軟膏	5g	20～16
硼酸	500〃	120
ホルマリン	500g	90
マーキユロクロム液	500〃	100
マグネシア	〃	200
メガネ肝油	250	200
塩酸	瓶500g	30
エーテル	瓶450g	180
塩化アンモニア	瓶500g	75
塩素酸加里	瓶500g	90
塩化鐵液	瓶500g	80
塩化石灰	瓶500g	75
塩化バリウム	瓶500g	90
黄血塩	瓶500g	250
活性炭素	袋1000g	350
活性白土	袋500g	30
苛性ソーダ	罐250g	30
苛性加里	瓶500g	180
カゼイン	袋450g	230
過酸化水素	瓶500g	150
過滿ガン酸カリ	瓶500g	250
キシロール	瓶500g	240
生石灰	罐500g	25
グリセリン	瓶500g	250
クエン酸	瓶500g	450
クロム明礬	瓶500g	45
硅酸ソーダ #1	瓶500g	45
ケレモル	〃	380
光明丹	罐 1K	260
醋酸鉛	瓶入500g	170
醋酸アミール	瓶500g	160
サリチル酸	瓶500g	430
△晒粉	瓶500g	30
四塩化炭素	瓶500g	150
蓚酸	瓶500g	140
松煙	袋100匁	90
消石灰	袋20瓩	250
	瓶500g	30
酒石酸	瓶500g	400
水酸化バリウム	瓶500g	110
硝酸	瓶500g	40
硝酸カリ	〃	150
石膏	袋 2K	70
硝酸銀 25g	瓶 25g	250
石炭酸	瓶500g	300
赤血塩	瓶500g	600
赤燐	瓶500g	280
パラフイン	袋500g	200
氷醋酸	瓶500g	120
ヒマシ油	瓶500g	200
フエノールフタレイン	瓶25g	100
ブロム加里	瓶500g	250
ベンゾール	瓶500g	150
硼酸	袋500g	120
硼砂	袋500g	35
ホルマリン	瓶500g	65
デリス末	袋250g	200
松脂	袋 1K	150
無水芒硝		40
無水亞硫酸ソーダ	瓶500g	80
燒明礬	袋500g	40
硫黄	袋 1K	120
沃度	瓶500g	1.300
沃度加里	瓶500g	1.300
リサージ	1K	300
硫酸	瓶500g	30
硫化ソーダ	瓶500g	170
燐酸	瓶500g	200
硫酸銅	瓶500g	110
硫酸鐵(化學用)	袋500g	30
硫酸ニツケル	瓶500g	400
硫肝硫(化カリ)	瓶500g	100
硫酸亞鉛	〃 〃	80
硫動パラビン		230
ロード油 1號	瓶500g	150
ログードX	袋450g	480
ロンガリツト	瓶380g	230
ワセリン(局方)	瓶500g	240

生藥

阿仙藥(生)	500g	180
伊保多花(〃)	〃	3,500
宇金(〃)	〃	150
△和黄連(刻)	〃	290
黄芩(〃)	〃	150
遠志(〃)	〃	500
甘草(〃)	〃	140
海人草(〃)	〃	500

衛生材料

注射筒 中先	2g	1個	38
〃 〃	3g	〃	40
〃 〃	5g	〃	50
〃 〃	10g	〃	70
〃 〃	20g	〃	80
〃 牧野式	10g	〃	82
〃 〃	20g	〃	95
〃 〃	50g	〃	200
〃 〃	100g	〃	380
〃 ツベルクリン用 1cc, 2cc.		〃	75
注射針 18クローム		¼1本	4.5
〃 〃		⅓ 〃	4.5
〃 〃		½ 〃	4.5
〃 〃		1/1 〃	4.5
〃 細	10g		10
〃 13クローム各30錢下リ			
注射ケース	2g用		75
〃	5g用		90
〃	20g用		250
指頭消毒器			80
ライト体温計凸型	〃		140
仁丹体温計平型	〃		100
〃 棒型	〃		120
ニユーホープ月經帶ズロース	上1組		300
〃	並〃		250
產カツパ 犬印	1枚		60
〃 (平カツパ)	〃		33
脫脂綿	50g		55
ガーゼ	1m		29
繃帶(純綿)	1反卷		480
〃 〃	半反卷		240
水枕(張製)	1ケ		200
〃シムレス(ダンロツプ)		〃	400
氷嚢 ゴム上	〃		36
〃 並	〃		33
藥包紙(模造紙)	1000枚		60

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

高
少示す
…いる
…定品、非指定品、
…れも生産減で細菌
…産を示している、
…の通り
…圓)

販賣金額
三、五〇三、八一七、七二二
七七、〇二一、六〇四
二、六八三、六〇八、〇六六
五八九、七六九、三一七
一五三、四一八、七二五
三七四、六四八、八九六
一七、五八三、二三〇
三二、九二三、〇四四
二七七、四三九、六二二
七一、〇九八、〇六八
一六六、八五四、三五〇
三九、四八七、二〇四
四六、七〇四、〇〇〇
三、八七八、四六六、六〇八

販賣數量
二五六、三七九瓦
八、二三三、九四〇錠
三、一八七、二五〇瓦
一、七五五、四七〇錠
九一、七七五瓦
九九、二〇六瓦

沈滯
…を鶴首している
…がかりなく市場
…滯している
…きけば動き出す
…いる向、このま
…に突入動きなし
…あるが落ちつく
…つけば反發する
…状が底をついた
…があるのか見る
…相違するが多少
…待できるのでは
…か。傳染病の時
…のでス劑系の動
…だした。東京通
…アミン品薄を
…が大阪ではグア
…つ強氣を見せは
…。チアゾール、
…など投ものが出
…があるが數量
…もないから大勢
…六月に入れば反

大阪藥品相場

5月31日本社調査

○印 騰　△印 落

醫藥品

品名	包裝單位	單位(圓)
亜鉛華	500g	250
亜鉛華澱粉	〃	110
亜鉛華軟膏	〃	360
アスピリン	〃	650
アスピリン錠	20錠	18
アセトアリニド	500g	280
アミノピリン	〃	2,450
アルコール	〃	390
純アルコール	〃	490
消毒用アルコール	〃	320
アンチピリン	〃	2,450
△アンナカ	〃	3,000
液狀石炭酸	〃	270
塩酸エフエドリン	5g	590
塩酸キニーネ	500g	2,100
黄色ワセリン	〃	160
オレフ油	〃	330
オリザニンレツド	10mg	140
△加香ヒマシ油	500g	225
△カフエイン	〃	3,900
過マンガンサンカリ	〃	350
カルチコール	2cc×10管	75
カリ石鹼	500g	190
含糖ペプシン	500〃	650
キノフエン	〃	3,400
稀ヨーチン	〃	430
强メタ注	10mg×10管	120
メタG注	〃 〃	135
强メタボリン錠	100錠	75
〃	300〃	175
グアヤコール	500g	2,600
クエン酸	〃	500
苦味チンキ	〃	350
グリセリン	〃	260
クレゾール石鹼液	〃	160
クレオソート	〃	700
サリチル酸	〃	500
サリチル酸ソーダー	〃	650
サルゾール	20錠	130
サントゾール注	5%1cc×5管	200
サツカリン	500g	2,000
サントニン	25〃	8,800
〃 錠	100錠	690
〃	20〃	140
ネオシロゲン	100〃	50
次硝酸蒼鉛	500g	2,550
次サリチル酸蒼鉛	〃	2,600
重曹	〃	40
食塩	〃	42
昇汞	〃	1.200
硝酸銀	25〃	200
水銀軟膏	500〃	650
スルフアチアゾール	〃 (武田)	3,500
〃 〃	(三菱・三共)	3,300
スルフアピリヂン	1g	12
スルフアダイアヂン錠	1錠	16
スルフアグアニジン	〃20〃	75
精製ヨード	500g	1,500
ズルチン(日新)	5〃	25
石炭酸	500〃	250
炭マグ	〃	110
炭酸グアヤコール	〃	2,800
〃	25〃	180
タンニン酸	500〃	650
チモール	〃	4,300
〃	25〃	260
ヂアスターゼ	500〃	450
ヂウレチン	〃	8,000
〃	25〃	560
乳糖	500〃	220
ネオアルバヂル錠	20錠	125
白色ワセリン	500g	200
薄荷油	〃	3,000
△ニツパス	100〃	930
△パス(日新)	〃	950
パラエス	10mg1cc×10管	145
バルビタール	25g	240
馬鈴薯澱粉	500g	90
ビタカンフアー	1×10A	175
ビタミンC	100m〃	140
フエナセチン	500g	950
ビツイタン注	5A	300
ブドウ糖	500g	580
ブロバリン	25〃	150
〃	500〃	2,100
ペニシリン	10万	40
ペニシリン油性	30〃 武田	200
明乳190東レ155万有・日新・日研		
台糖・科研155昭和155立川145		
三菱135・水性10圓安		
錠	3錠入	150
軟膏	5g	20~16
硼酸	500〃	120
ホルマリン	500g	90
マーキユロクロム液	500〃	100
マグネシア	〃	200
メガネ肝油	250	200
ヤトコニン大人用	15管	650
藥用石鹼	500g	400
藥用酵母	〃	300
マスチゲン注	2cc×10管	75
ミグレニン	25g	160
ヨードチンキ	500〃	460
△硫酸キニーネ	1kg	1,800
硫マ	500g	24
リンゲル液(タカラ)	500cc	90
ロートエキス	500〃	970
ロメジン錠	10錠入	125

工業藥品

亜鉛華	袋500g	220
亜硝曹	瓶500g	110
アラビヤ	袋500g	150
洗ソーダ	罐250g	17
亜硫酸水素カリウム	〃	150
アンモニヤ水	瓶500g	35
アセトン	〃	160
イスパタ	瓶380g	65
塩化亜鉛	罐500g	150
塩酸	瓶500g	30
エーテル	瓶450g	180
塩化アンモニア	瓶500g	75
塩素酸加里	瓶500g	90
塩化鐵液	瓶500g	80
塩化石灰	瓶500g	75
塩化バリウム	瓶500g	90
黄血塩	瓶500g	250
活性炭素	袋1000g	350
活性白土	袋500g	30
苛性ソーダ	罐250g	30
苛性加里	瓶500g	180
カゼイン	袋450g	230
過酸化水素	瓶500g	150
過滿ガン酸カリ	瓶500g	250
キシロール	瓶500g	240
生石灰	罐500g	25
グリセリン	瓶500g	250
クエン酸	瓶500g	450
クロム明礬	瓶500g	45
硅酸ソーダ #1	瓶500g	45
ケレモル	〃	380
光明丹	罐 1K	260
醋酸鉛	瓶入500g	170
醋酸アミール	瓶500g	160
サリチル酸	瓶500g	430
△晒粉	瓶500g	30
四塩化炭素	瓶500g	150
蓚酸	瓶500g	140
松煙	袋100匁	90
消石灰	袋20瓩	250
	瓶500g	30
酒石酸	瓶500g	400
水酸化バリウム	瓶500g	110
硝酸	瓶500g	40
硝酸カリ	〃	150
石膏	袋 2K	70
硝酸銀 25g	瓶 25g	250
石炭酸	瓶500g	300
赤血塩	瓶500g	600
赤燐	瓶500g	280
ゼラチン(一級)	袋450g	320
ソーダ灰	袋500g	30
純無水炭酸ソーダ	瓶500g	80
炭酸アンモニヤ	瓶500g	35
炭酸マグネシヤ	袋500g	70
炭酸加里	瓶500g	170
炭酸バリウウム	瓶500g	85
重クロム酸カリ	瓶500g	150
重炭酸ソーダ	袋500g	35
次亜硫酸ソーダ	瓶500g	60
デキストリン黄	袋500g	100
デキストリン白	〃	80
テレビン油	瓶500g	100
吐酒石		300
トラカンドゴム		700
ナフタリン	450g	45
〃 錠	60ポンド入	2.700
〃	50匁	20
〃	40匁	18
ラツク・ニス	瓶450g	160
尿素	瓶500g	80
ハイドロ	罐450g	200
ハイドロ(コンク)	瓶入500g	250
パラフイン	袋500g	200
氷醋酸	瓶500g	120
ヒマシ油	瓶500g	200
フエノールフタレイン	瓶25g	100
ブロム加里	瓶500g	250
ベンゾール	瓶500g	150
硼酸	袋500g	120
硼砂	袋500g	35
ホルマリン	瓶500g	65
デリス末	袋250g	200
松脂	袋 1K	150
無水芒硝		40
無水亜硫酸ソーダ	瓶500g	80
燒明礬	袋500g	40
硫黄	袋 1K	120
沃度	瓶500g	1.300
沃度加里	瓶500g	1.300
リサージ	1K	300
硫酸	瓶500g	30
硫化ソーダ	瓶500g	170
燐酸	瓶500g	200
硫酸銅	瓶500g	110
硫酸鐵(化學用)	袋500g	30
硫酸ニツケル	瓶500g	400
硫肝硫(化カリ)	瓶500g	100
硫酸亜鉛	〃 〃	80
硫動パラピン		230
ロード油 1號	瓶500g	150
ログードX	袋450g	480
ロンガリツト	瓶380g	230
ワセリン(局方)	瓶500g	240

生藥

阿仙藥(生)	500g	180
伊保多花(〃)	〃	3,500
宇金(〃)	〃	150
△和黄連(刻)	〃	290
黄芩(〃)	〃	150
遠志(〃)	〃	500
甘草(〃)	〃	140
海人草(〃)	〃	500
和桔梗(〃)	〃	180
キササゲ實(〃)	〃	40
和杏仁(〃)	〃	120
苦楝皮(〃)	〃	50
決明子(生)	〃	60
○牽牛子(〃)	〃	150
玄ノ草(〃)	〃	55
コケモヽ葉(刻)	〃	90
山柴胡(〃)	〃	250
サフラン(〃)	25〃	1,200
芍藥(〃)	500〃	30
重藥(生)	〃	40
生姜(刻)	〃	200
和川弓(〃)	〃	45
センナ葉(〃)	〃	170
和大黄除羊蹄(刻)	〃	200
和地黄(生)	〃	400
唐丁子(〃)	〃	550
當歸(刻)	〃	90
當藥(生)	〃	380
ビゲ人蔘(〃)	〃	900
肉豆冠(〃)	〃	460
半夏(〃)	〃	440

衛生材料

注射筒 中先	2g 1個	38
〃 〃	3g 〃	40
〃 〃	5g 〃	50
〃 〃	10g 〃	70
〃 〃	20g 〃	80
〃 牧野式	10g 〃	82
〃 〃	20g 〃	95
〃 〃	50g 〃	200
〃 〃	100g 〃	380
〃 ツベルクリン用 1cc. 2cc.	〃	75
注射針 18クローム	¼1本	4.5
〃 〃	⅓ 〃	4.5
〃 〃	½ 〃	4.5
〃 〃	1/1 〃	4.5
〃 細	10g	10
〃	13クローム各30錢下リ	
注射ケース	2g用	75
〃	5g用	90
〃	20g用	250
指頭消毒器		80
ライト体温計凸型	〃	140
仁丹体温計平型	〃	100
〃 棒型	〃	120
ニユーホープ月經帶ズロース	上1組	300
〃	並〃	250
產カツパ 犬印	1枚	60
〃 (平カツパ)	〃	33
脱脂綿	50g	55
ガーゼ	1m	29
繃帶(純綿)	1反卷	480
〃 〃	半反卷	240
水枕(張製)	1ケ	200
〃シムレス(ダンロツプ)	〃	400
氷嚢ゴム上	〃	36
〃 並	〃	33
藥包紙(模造紙)	1000枚	60
藥袋	100枚	40
オブラート	1箱	10
乳吸器	1ケ	75
笛付乳豆	1打	110
ニユーホープスキン	グロス	700

塗料

シケラツクニス	15kg	4000
〃 瓶	450g	160
速乾ニス	15kg	380
〃 瓶	450g	150
コーパルニス	15kg	4000
〃 瓶	450g	150
白ニス	15kg	4000
〃 瓶	450g	120
ツヤニス	15kg	3400
〃 瓶	350g	100
シンナー瓶	375g	90
テレビン 〃	〃	70
黑ワニス	⅓立	60
(各色)エナメル	1/12立	50
〃	⅓立	130
〃	25kg	4500

ヘロイン	1g	2,450
△アンナカ	〃	3,000
液状石炭酸	〃	270
塩酸エフエドリン	5g	590
塩酸キニーネ	500g	2,100
黄色ワセリン	〃	160
オレフ油	〃	330
オリザニンレツド	10mg	140
△加香ヒマシ油	500g	225
△カフエイン	〃	3,900
過マンガンサンカリ	〃	350
カルチコール	2cc×10管	75
カリ石鹸	500g	190
含糖ペプシン	500〃	650
キノフエン	〃	3,400
稀ヨーチン	〃	430
強メタ注	10mg×10管	120
メタG注	〃 〃	135
強メタボリン錠	100錠	75
〃	300〃	175
グアヤコール	500g	2,600
クエン酸	〃	500
苦味チンキ	〃	350
グリセリン	〃	260
クレゾール石鹸液	〃	160
クレオソート	〃	700
サリチル酸	〃	500
サリチル酸ソーダー	〃	650
ザルゾール	20錠	130
サントゾール注	5%1cc×5管	200
サツカリン	500g	2,000
サントニン	25〃	8,800
〃 錠	100錠	690
〃	20〃	140
ネオシロゲン	100〃	50
次硝酸蒼鉛	500g	2,550
次サリチル酸蒼鉛	〃	2,600
重曹	〃	40
食塩	〃	42
昇汞	〃	1.200
硝酸銀	25〃	200
水銀軟膏	500〃	650
スルフアチアゾール	〃 (武田)	3,500
〃 〃	(三菱・三共)	3,300
スルフアピリヂン	1g	12

ストリキニーネ	10mg1cc×10管	145
バルビタール	25g	240
馬鈴薯澱粉	500g	90
ビタカンフアー	1×10A	175
ビタミンC	100m〃	140
フエナセチン	500g	950
ビツイタン注	5A	300
ブドウ糖	500g	580
プロパリン	25〃	150
〃	500〃	2,100
ペニシリン	10万	40
ペニシリン油性	30〃 武田	200
明乳190東レ155万有・日新・日研		
台糖・科研155昭和155立川145		
三菱135・水性10圓安		
錠	3錠入	150
軟膏	5g	20~16
硼酸	500〃	120
ホルマリン	500g	90
マーキユロクロム液	500〃	100
マグネシア	〃	200
メガネ肝油	250	200
ヤトコニン大人用	15管	650
薬用石鹸	500g	400
薬用酵母	〃	300
マスチゲン注	2cc×10管	75
ミグレニン	25g	160
ヨードチンキ	500〃	460
△硫酸キニーネ	1kg	1,800
硫マ	500g	24
リンゲル液(タカラ)	500cc	90
ロートエキス	500〃	970
ロメジン錠	10錠入	125

工業薬品

亜鉛華	袋500g	220
亜硝曹	瓶500g	110
アラビヤ	袋500g	150
洗ソーダ	繊250g	17
亜硫酸水素カリウム	〃	150
アンモニヤ水	瓶500g	35
アセトン	〃	160
イスパタ	瓶380g	65
塩化亜鉛	繊500g	150

クロム明礬	瓶500g	45
硅酸ソーダ #1	瓶500g	45
ケレモル	〃	380
光明丹	繊 1K	260
醋酸鉛	瓶入500g	170
醋酸アミール	瓶500g	160
サリチル酸	瓶500g	430
△晒粉	瓶500g	30
四塩化炭素	瓶500g	150
蓚酸	瓶500g	140
松煙	袋100匁	90
消石灰	袋 20瓩 / 瓶500g	250 / 30
酒石酸	瓶500g	400
水酸化バリウム	瓶500g	110
硝酸	瓶500g	40
硝酸カリ	〃	150
石青	袋 2K	70
硝酸銀 25g	瓶 25g	250
石炭酸	瓶500g	300
赤血塩	瓶500g	600
赤燐	瓶500g	280
ゼラチン(一級)	袋450g	320
ソーダ灰	袋500g	30
純無水炭酸ソーダ	瓶500g	80
炭酸アンモニヤ	瓶500g	35
炭酸マグネシヤ	袋500g	70
炭酸加里	瓶500g	170
炭酸バリウム	瓶500g	85
重クロム酸カリ	瓶500g	150
重炭酸ソーダ	袋500g	35
次亜硫酸ソーダ	瓶500g	60
デキストリン黄	袋500g	100
デキストリン白	〃	80
テレピン油	瓶500g	100
吐酒石		300
トラカンドゴム		700
ナフタリン	450g	45
〃 錠	60ポンド入	2.700
〃	50匁	20
〃	40匁	18
ラック・ニス	瓶450g	160
尿素	瓶500g	80
ハイドロ	繊450g	200
ハイドロ(コンク)	瓶入500g	250

硫化ソーダ	瓶500g	170
燐酸	瓶500g	200
硫酸銅	瓶500g	110
硫酸鉄(化學用)	袋500g	30
硫酸ニツケル	瓶500g	400
硫肝硫(化カリ)	瓶500g	100
硫酸亜鉛	〃 〃	80
硫動パラピン		230
ロード油 1號	瓶500g	150
ログードX	袋450g	480
ロンガリツト	瓶380g	230
ワセリン(局方)	瓶500g	240

生薬

阿仙藥(生)	500g	180	
伊保多花(〃)	〃	3,500	
宇金(〃)	〃	150	
△和黄連(刻)	〃	200	
黄芩(〃)	〃	150	
遠志(〃)	〃	500	
甘草(〃)	〃	140	
海人草(〃)	〃	500	
和桔梗(〃)	〃	180	
キササゲ實(〃)	〃	40	
和杏仁(〃)	〃	120	
苦楝皮(〃)	〃	50	
決明子(生)	〃	60	
○牽牛子(〃)	〃	150	
玄ノ草(〃)	〃	55	
コケモ、葉(刻)	〃	90	
山柴胡(〃)	〃	250	
サフラン(〃)	25〃	1,200	
芍藥(〃)	500〃	30	
重生藥(生)	〃	40	
生姜(刻)	〃	200	
和川弓(〃)	〃	45	
センナ葉(〃)	〃	170	
和大黄除羊蹄(刻)	〃	200	
和地黄(生)	〃	400	
唐丁子(〃)	〃	550	
當歸(刻)	〃	90	
當歸(生)	〃	380	
ビゲ人參(〃)	〃	900	
肉豆冠(〃)	〃	460	
半夏(〃)	〃	440	

注射ケース	2g用	75
〃	5g用	90
〃	20g用	250
指頭消毒器		80
ライト体温計凸型	〃	140
仁丹体温計平型	〃	100
〃 棒型	〃	120
ニユーホープ	月經帶ズロース 上1組	300
〃	並〃	250
產カツパ 犬印	1枚	60
〃 (平カツパ)	〃	33
脫脂綿	50g	55
ガーゼ	1m	29
繃帶(純綿)	1反巻	480
〃 〃	半反巻	240
水枕(張製)	1ケ	200
〃シムレス(ダンロツプ)	〃	400
氷嚢ゴム上	〃	36
〃 並	〃	33
藥包紙(模造紙)	1000枚	60
藥袋	100枚	40
オブラート	1箱	10
乳吸器	1ケ	75
笛付乳豆	1打	110
ニユーホープスキン	グロス	700

塗料

シケラツクニス	15kg	4000
〃 瓶	450g	160
速乾ニス	15kg	380
〃 瓶	450g	150
コーパルニス	15kg	4000
〃 瓶	450g	150
白ニス	15kg	4000
〃 瓶	450g	120
ツヤニス	15kg	3400
〃 瓶	350g	100
シンナー瓶	375g	90
テレピン 〃	〃	70
黒ワニス	1/5立	60
(各色) エナメル	1/10立	50
〃	1/5立	130
〃	25kg	4500

マルニ印 仁
純良薬品
日本藥局方医藥品
化学工業藥品
京(ミヤコ)製藥株式會社
大阪市天王寺区清水谷西之町
電話東(94)547.2416番

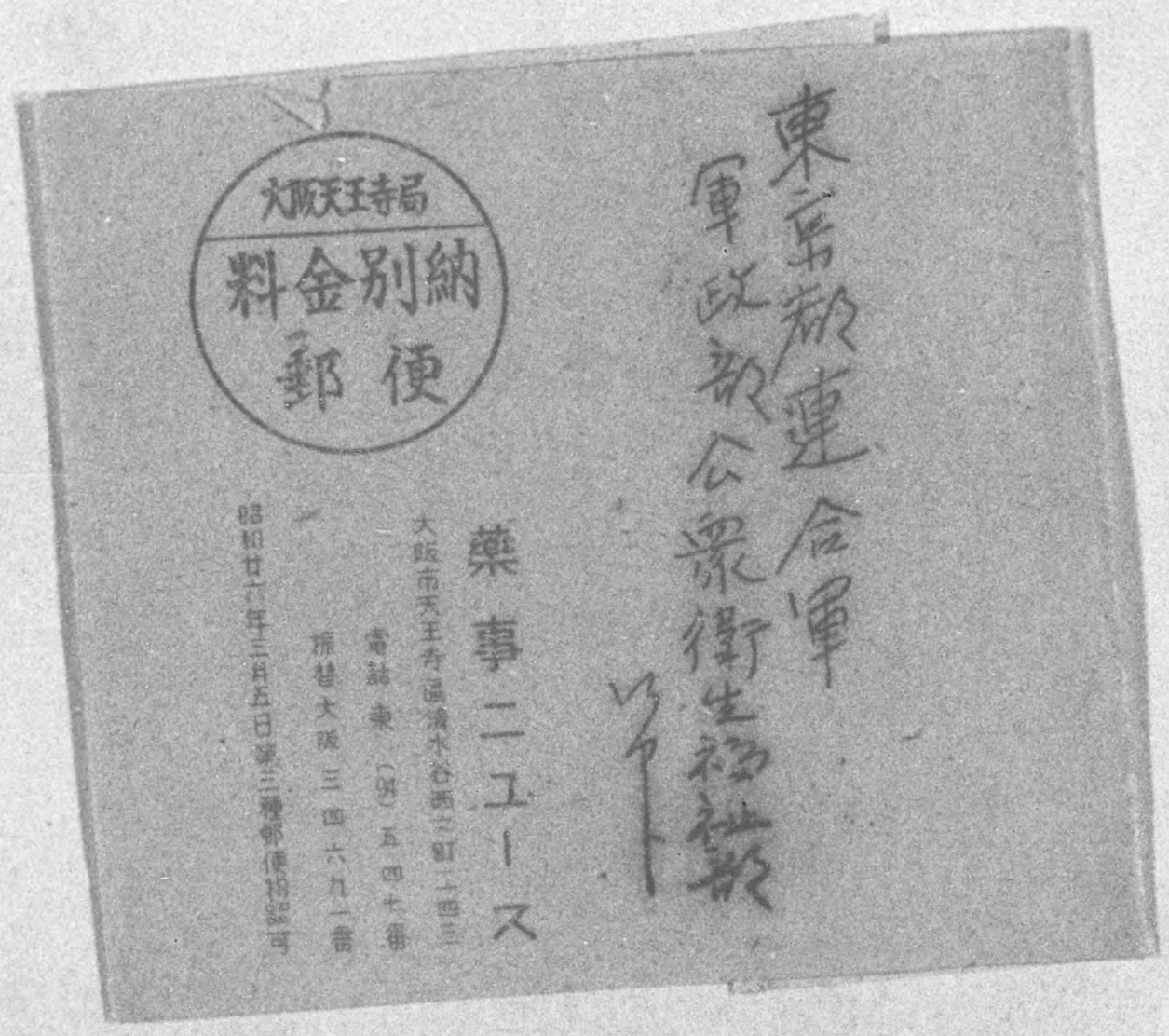
マルコー印 製菓用
勇 イスハタ
マルミ印 純良
美 洗ソーダ
製造元
小出商店
大阪市東区道修町一丁目五番地
電話北浜(23)4447番

化学工業用薬品
農業用薬品
ニス・エナメル
塗料溶剤
製薬原料
有限会社 赤壁商會
大阪市東區石町二丁目三二
電話東(94) 4318番

局方・試藥
飲食遣飲料
製菓用
ナニワ
クエン酸
酒石酸
ケレモル・コハク酸
乳酸・活性炭
醸造香料・フラボン その他
ナニワ藥品化成株式會社
本社 大阪市東区本野町二丁目四二番地
電話 北浜㉓四六〇四六〇五番
出張所 東京都千代田区神田多町一ノ六
電話神田㉙七〇三一番

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013



DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

昭和十九年

蟯蟲驅除藥服用結果調査表

山形縣西置賜郡

鮎貝村國民健康保險組合

一、服用日時　昭和十九年九月十八日午前十一時トス

一、服用者範圍　豫メ檢便ヲ行ヒ（七月中）其ノ結果、蛔蟲卵ヲ認メタル學童ヲ對象トセリ

一、服用量

初等科一、二年	二錠	
初等科三、四年	三錠	
初等科五、六年	四錠	
高等科一、二年	五錠	

一、驅蟲成績　別紙驅蟲成績表ニ依ル

一、名稱　アバラヂン錠

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

驅蟲成績表

（其ノ一）

學年別	服用人員	排蟲人員 第一日	第二日	第三日	第四日	第五日	其ノ後	計
初一	一一五	七八	五八	六三	三四	二四	二	二五七
初二	一〇三	一一二	九八	一三七	一〇七	九二	五五八	
初三	八九	六三	五〇	六一	六五	三九	二八〇	
初四	九二	三九	二五	二二	一五	二九	一三〇	
初五	八一	一八	一二	二〇	一九	一〇	八二	
初六	六三	二九	一〇	八	四	一	五三	
高一	八二	一二	七	五	一		二六	
高二	八九	一九	二六	一九	一四	二	八〇	
計	七一四	三八〇	二八六	三三五	二五九	一九七	九	一、四六六

（註）本調査ハ何レモ服用日（九月十八日）ノ翌日ヲ第一日トシテ調査セルモノナリ。

驅蟲成績表

（其ノ二）

學年別	服用人員	排蟲人員	排蟲人員百分比	排蟲數	最多數排出セルモノ	備考
初等科一年	一一五	六七	五八・二%	二五七	二二	
初等科二年	一〇三	八五	八二・五%	五五八	五七	
初等科三年	八九	四七	五二・八%	二八〇	一五	
初等科四年	九二	四〇	四三・四%	一三〇	一二	
初等科五年	八一	四〇	四九・四%	八二	七	
初等科六年	六三	二六	四一・二%	五三	八	
高等科一年	八二	一六	一九・五%	二六	三	
高等科二年	八九	二一	二三・六%	八〇	四〇	
計	七一四	三四二	四七・九%	一、四六六		

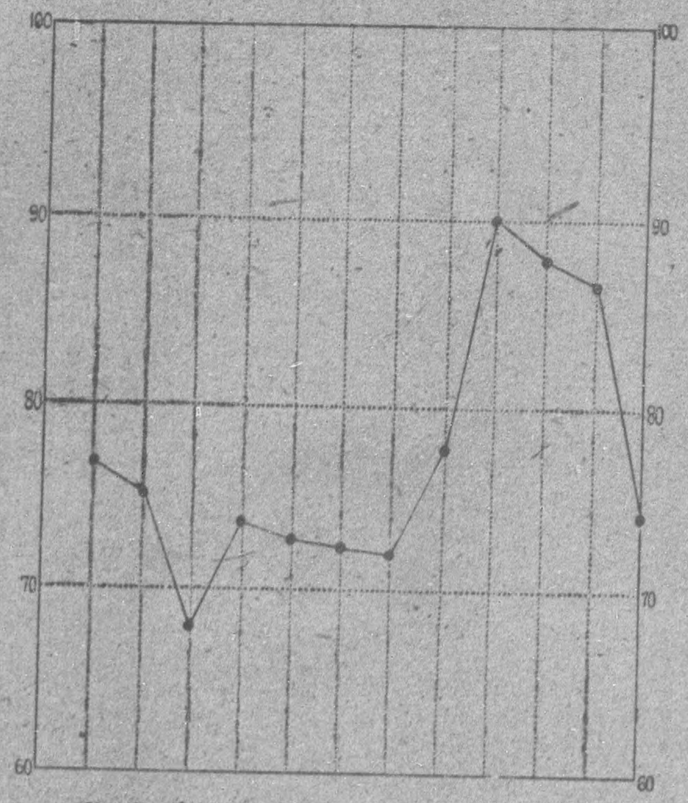
DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

鮎貝村國民學校兒童蟲卵檢査結果成績表

（十九年七月）

學年別	性別	檢査人員	計	有卵者數	有卵者百分比	蟲卵別 蛔蟲	蟲卵別 鞭蟲	蟲卵別 十二指腸蟲	全上中ニ卵保有者數	摘要
高二	男	五三	一一八	九〇	七六・二%	八八	二			以下初一迄分教場ヲ含マズ
	女	六五								
高一	男	四六	一〇五	七九	七五・二%	七八	二		一	
	女	五九								
初六	男	八〇	一五一	一〇二	六七・五%	一〇一	二		一	
	女	七一								
初五	男	四九	八九	六六	七四・一%	六六	四		四	
	女	四〇								
初四	男	三九	八八	六五	七二・七%	六五	一		一	
	女	四九								
初三	男	三二	八四	六一	七二・六%	六一	一		一	
	女	五二								
初二	男	四二	九三	六七	七二・〇%	六七	一		一	
	女	五一								
初一	男	四四	九二	七一	七七・二%	七〇	三		二	
	女	四八								
深山分教場	男	六五	一三四	一二一	九〇・三%	一二一	一		一	
	女	六九								
黒鴨分教場	男	一四	二四	二一	八七・五%	二一	二		二	
	女	一〇								
栃窪分教場	男	一二	二二	一九	八六・四%	一九	一	一	二	
	女	一〇								
高岡分教場	男	一三	二三	一七	七三・九%	一七				
	女	一〇								
計	男	四八九	一、〇二三	七七九	七六・一%	七七四	二〇	一	一六	
	女	五三四								

有卵者百分比



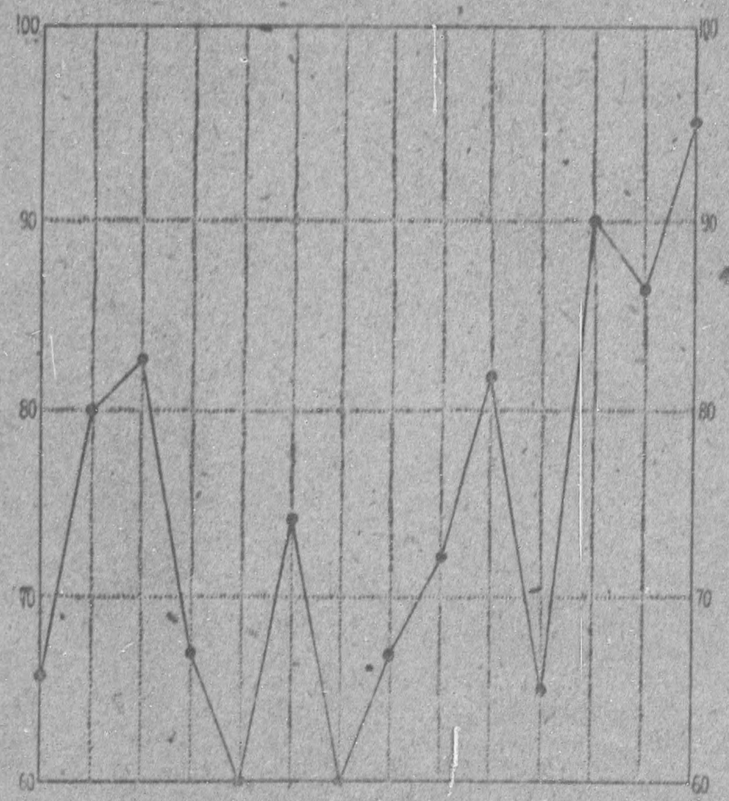
DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

町内會別有卵者百分比

（學童）

町内會別	檢査人員	有卵者數	有卵者百分比	蟲卵別 排蟲	蟲卵別 鞭蟲	蟲卵別 十二指腸蟲	全上中二卵保有者數	摘要
驛前町内會	七四	四九	六六・二%	四九	一		一	
八幡町内會	七〇	五六	八〇・〇%	五五	一			
大町西町内會	七八	六四	八二・〇%	六三	二		一	
大町東町内會	五八	四〇	六八・九%	三九	一			
内町町内會	四四	二六	五九・一%	二六	二		二	
桐町町内會	六二	四六	七四・二%	四六	一		一	
新町町内會	四五	二七	六〇・〇%	二七				
赤坂町内會	五八	三九	六七・二%	三八	一			
箕和田町内會	七二	五九	八二・〇%	五九				
櫻館町内會	六九	四九	七一・〇%	四九	五		五	
高岡部落會	九五	六三	六六・三%	六一	三		一	高岡分教場ハ含マズ
深山部落會	一二九	一一六	九〇・〇%	一一六	一		一	
黒鴨部落會	八一	七〇	八六・四%	七〇	二		二	
栃窪部落會	六二	五九	九五・六%	五九	一	一	二	

町内會別有卵者百分比



DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

REPORT of INVESTIGATION of ACTUAL EFFECT of ANTHELMINTIC "APARASIN RIGEN"

YAMAGATA PREFECTURE

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

(2)

合成

芳香族チオンカルバミン酸アルキルの生成反應 (第一報)

西村順一

昭和十七年十一月

抜刷

理化學研究所彙報

第二十一輯 第十一號

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

芳香族チオンカルバミン酸アルキルの生成反應 (第一報)*

西　村　順　一

(昭和十七年 九月二十八日 受理)

芳香族チオンカルバミン酸アルキルの生成反應に關する文獻は，數多くあるが其最一般的なのは

(A) 芳香族芥子油に，一價の脂肪族飽和アルコールの添加反應である。[1]

$$ArNCS + ROH \longrightarrow ArNHCSOR$$

玆に Ar = Aryl, R = Alkyl.

此反應は，アルコールの沸點に近い溫度で，相當圓滑に進行する。而て芳香族芥子油は，概ね次の反應によつて生成する。

(1) 芳香族第一級アミンと，チオフォスゲンとの反應[2]

$$\begin{cases} 2\,ArNH_2 + CSCl_2 \longrightarrow ArNHCSCl + ArNH_2.HCl \\ ArNHCSCl + ArNH_2 \longrightarrow ArNCS + ArNH_2.HCl \end{cases}$$

又は第三級アミンの存在に於て，

$$\begin{cases} ArNH_2 + CSCl_2 + R'_3N \longrightarrow ArNHCSCl + R'_3NHCl \\ ArNHCSCl + R'_3N \longrightarrow ArNCS + R'_3NHCl \end{cases}$$

但 R′ = 芳香族，脂肪族を通じた一價の根

(2) 芳香族イソ=トリルと硫黄との反應[3]

$$ArNC + S \longrightarrow ArNCS$$

通常 ArNC は，$ArNH_2$ を $CHCl_3$, KOH 及び C_2H_5OH と熱して生ずる故に，原料たる $ArNH_2$ との分離困難となり，若し之を含むときは，芥子油を生ぜず對稱的二置換チオ尿素 ArNHCSNHAr を生成す。

(3) 芳香族イソシアネートと五硫化燐との反應[4]

$$ArN=CO + P_2S_5 \longrightarrow ArNCS + P_2O_5$$

(4) 芳香族對稱的二置換チオ尿素と沃素[5]，鹽酸[6]，五酸化燐[7]又は無水醋酸[8]との反應

---

* 稻葉研究室報告：第三號.

(1) A. W. Hofmann: *B.*, 2 (1869), 120.
(2) B. Rathke: *A.*, 167 (1873), 218.
(3) W. Weith: *B.*, 6 (1873), 211.
(4) A. Michael, George. M. Palmer: *Am. Chem. J.*, 6 (1884) 257—260.
(5) A. W. Hoffmann: *B.*, 2 (1869) 453.
(6) Merz, Weith: *Z., Chem.*, (1867) 589.
(7) A. W. Hoemann: *J. Chem.*, (1858), 349.
(8) F. A. Kalkhoff: *B.*, 16 (1883), 1831.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

$$2\,ArNHCSNHAr + I_2 \longrightarrow ArNCS + HIArN=C<^{NHAr}_{NHAr} + HI + S$$

上の如く同時に三アリルグアニヂン鹽を生ずる.

$$3\,ArNHCSNHAr + 2\,HCl \longrightarrow 2\,ArNCS + ArNH_2HCl + HClArN=C<^{NHAr}_{NHAr} + H_2S$$

$$2\,ArNHCSNHAr + P_2O_5 + 3\,H_2O \longrightarrow 2\,ArNCS + 2\,ArNH_2H_3PO_4$$

$$ArNHCSNHAr + (CH_3CO)_2O \longrightarrow ArNCS + ArNHCOCH_3 + CH_3COOH$$

(5) 芳香族二チオカルバミン酸アムモニウムと, $COCl_2$[9] 又は $Pb(NO_3)_2$[10] との反應

$$ArNHCSSNH_4 + COCl_2 \longrightarrow ArNCS + NH_4Cl + COS + HCl$$

$$ArNHCSSNH_4 + Pb(NO_3)_2 \longrightarrow ArNCS + PbS + NH_4NO_3 + HNO_3$$

次に芥子油以外の物質より, 芳香族チオンカルバミン酸アルキルを生成する場合としては,

(B)

(1) 芳香族第一級アミンと, アルコール及び CS_2 との反應[11]

$$ArNH_2 + ROH + CS_2 \longrightarrow ArNHCSOR + H_2S$$

但し此場合主生成物は ArNHCSNHAr で, 上の反應は全く起らない場合も多い.

(2) 芳香族第一級アミンと, ヂザンソゲンとの反應[12]

$$3ArNH_2 + ROCS.S.\text{–}S.CSOR \longrightarrow ArNHCSOR + ArNHCSNHAr + H_2S + S + ROH$$

(3) 芳香族第一級アミンと, ザンソゲン醋酸カリとの反應[13]

$$ArNH_2 + ROCSSCH_2COOK \longrightarrow ArNHCSOR + SHCH_2COOK$$

(4) 芳香族對稱的二置換チオ尿素と, アルコール及び沃素との反應[14]

$$3\,ArNHCSNHAr + 2\,ROH + I_2 \longrightarrow 2\,ArNHCSOR + ArNH_2HI + HIArN=C<^{NHAr}_{NHAr} + S$$

但し此際水分があれば, 次の副反應を惹起する.

$$ArNHCSNHAr + H_2O + I_2 \longrightarrow ArNHCONHAr + 2\,HI + S$$

以上の如き文獻がある.

上の文獻中, チオ尿素を原料とする反應を要約すれば,

(I) 對稱的二置換チオ尿素より, 一旦芥子油を分離し, 之にアルコールを反應せしむるか.

(9) K. H. SLOTTA, H. DRESSLER: *B.*, **63** (1930), 891.
(10) F. B. DAINS, R. Q. BREWSTER, C. P. OLANDER: *C.*, (1932), II, 3865.
(11) S. M. LOSANITSCH: *B.*, **16** (1883), 49.
(12) A. W. HOFMANN: *B.*, **3** (1870), 774.
(13) BROR HOLMBERG: *J. pr.*, [2] **84** (1911), 639.
(14) F. BEILSTEIN, AP. KURBATOW: *A.*, **176** (1875), 48~53.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

$$3\,ArNHCSNHAr + 2\,H\bar{A} \longrightarrow 2\,ArNCS + ArNH_2H\bar{A} + H\bar{A}.\,ArN=C\langle^{NHAr}_{NHAr} + H_2S$$

$$ArNCS + ROH \longrightarrow ArNHCSOR$$

(II)　直接法としては，對稱的二置換チオ尿素にアルコール及び沃素を反應せしむるにある。

$$3\,ArNHCSNHAr + 2\,ROH + I_2 \longrightarrow 2\,ArNHCSOR + ArNH_2HI + HIArN=C\langle^{NHAr}_{NHAr} + S$$

然るに著者は，上の方式によらずに，チオ尿素より，チオンカルバミン酸エステルを生ずる反應を發見したので，之を次に述べる。

（1）芳香族一置換チオ尿素と，アルコール及び鹽酸或は燐酸との反應により，收量は理論數に遠いながらも，目的のエステルを生成する。

$$ArNHCSNH_2 + ROH + H\bar{A} \longrightarrow ArNHCSOR + NH_4\bar{A}$$

玆に $\bar{A} = Cl$ 又は H_2PO_4

此際燐酸は恰も一鹽基酸の如く作用する。

例 1:　フェニルチオ尿素 40 g をエチルアルコール 300 cc に溶解し，燐酸（90%）28·6 g を加へ 20 hr 煮沸すると，燐酸一アムモニウム $NH_4H_2PO_4$ が析出したので，之を濾別し，濾液から溶劑を回收し，殘渣をベンゾールと處すれば，不變のフェニルチオ尿素 24 g は，不溶物として殘る，之を分離し溶液からフェニルチオンカルバミン酸エチル 11 g を得た。mp 69~70° 反應したフェニルチオ尿素 16 g から生ずべき計算量の約 58% である。

例 2:　α-ナフチルチオ尿素 15 g, エチルアルコール 500 cc, 鹽酸（38%）7·1 g を 40 hr 煮沸し，のち溶劑を回收し，水で鹽化アムモニウムを除き，殘渣のベンゾール溶液から α-ナフチルチオンカルバミン酸エチル 4·4 g を得た。mp 105°

上の反應に於ては，長時の煮沸を以てしても，用ひたチオ尿素の過半は，不變に殘留する。次に，

（2）芳香族對稱的二置換チオ尿素と，アルコール及び鹽酸，燐酸又は醋酸との反應に於て特に鹽酸を用ひた場合によき收量，時として理論數に近き量を以て，チオンカルバミン酸アルキルを生成する。

$$ArNHCSNHAr + ROH + H\bar{A} \longrightarrow ArNHCSOR + ArNH_2H\bar{A}$$

玆に $\bar{A} = Cl$ 又は H_2PO_4

此場合に於ても，燐酸は一鹽基酸として作用する。

$$ArNHCSNHAr + ROH + CH_3COOH \longrightarrow ArN\ CSOR + ArNHCOCH_3 + H_2O$$

例 1:　チオカルバニリード 120 g, エチルアルコール 500 cc, 及び鹽酸（38%）54 g を 25 hr 煮沸し，放冷すれば，フェニルチオンカルバミン酸エチルの結晶 52 g を析出する。次に濾液を蒸溜のち乾固し，殘渣をベンゾールと處し，其濾液より 36 g の同一物を得た。

總收量は 88 g（理論數は 95 g）

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

例 2: チオカルバニリード 30 g, エチルアルコール 300 cc, 燐酸 (90%) 14·6 g を 24 hr 煮沸すれば, 冷却を待たずに, 燐酸一アニリン (25 g) を析出する。之を除き濾液から溶劑を回收し, 殘渣をベンゾールと處すれば, 不變のチオカルバニリード (5 g 弱) は, 不溶なので之を濾別し, 濾液からフェニルチオンカルバミン酸エチル 13 g を得た。

例 3: チオカルバニリード 20 g, エチルアルコール 270 cc, 氷醋酸 13 g (2·4 モル) を 20 hr 煮沸した後, 大部の溶劑を蒸餾し, 放冷すれば, 不變のチオカルバニリード (11 g) を析出する。之を分離し, 次に水及び炭酸加里 7 g を加へ, ベンゾール 80 cc と振盪し, ベンゾール層を分別, 蒸餾し, 殘渣に稀釋アルコール (94% アルコール舊一容に水一容を加へたもの) 50 cc を加へて不溶のフェニルチオンカルバミン酸エチル 5 g を分離した。

例 4: 4,4'-デクロルチオカルバニリード 10 g, エチルアルコール 100 cc, 鹽酸 (38%) 3·3 g を煮沸する事 20 hr にして, 鹽酸 *p*-クロルアニリン 5·1 g (理論數 5·5 g) と共に *p*-クロルフェニルチオンカルバミン酸エチル 7 g (理論數 7·2 g) を得た。mp 103°

例 5: 2,2'-ヂナフチルチオ尿素 5 g, 醋酸エチル 1 *l*, エチルアルコール 50 cc, 及び鹽酸 (38%) 1·5 g を 20 hr 煮沸し, β-ナフチルチオンカルバミン酸エチル 3 g を得た。mp 97°

例 6: チオカルバニリード 100 g, メタノール 700 cc, 鹽酸 (38%) 43 g より, 18 hr の煮沸後, フェニルチオンカルバミン酸メチル 60 g (mp 97°) を得た。

例 7: チオカルバニリード 20 g, イソプロピルアルコール 250 cc (約 194·5 g), 鹽酸 (38%) 8·9 g, 50 hr の煮沸により, フェニルチオンカルバミン酸イソプロピル 15 g を得た。mp 81°

上例の孰れの場合も, グアニヂン鹽の生成は, 之を認める事が出來なかつた。

上の (2) の反應方式により, 反應せる ArNHCSNHAr 100 g と, ROH と, HA 1 モルとより生じた ArNHCSOR の收量 Y g, 其理論數に對する %, 反應時間 T hr 及び ArNHCSOR の mp を示せば, 表の如くになる。但 exp 13 の醋酸は 2·4 モルを用ひた。

總括

(1) 芳香族一置換チオ尿素と, アルコール及び鹽酸又は燐酸との反應によつて, チオンカルバミン酸アルキルを生ずる。

(2) 芳香族對稱的二置換チオ尿素, アルコール及び鹽酸, 燐酸, 又は醋酸との反應により, 同一エステルを生じ, 特に鹽酸の場合其收量が大である。

(3) 上の反應に於ける同時生成物は, アムモニウム鹽類, アミン鹽類, 又はアセチルアミンであつて, グアニヂン鹽の生成に認める事が出來ない。

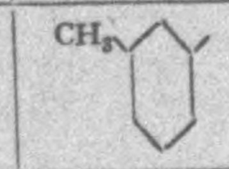
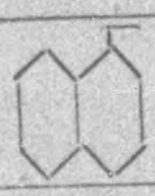
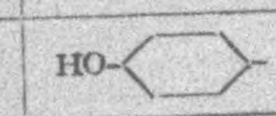
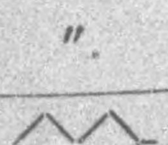
上述の如くにして, その反應式は概ね次のやうではないかと考へる。

$$ArNHCSNH_2 + ROH + HCl \text{ or } H_3PO_4 \rightleftharpoons ArNHCSOR + NH_4Cl \text{ or } NH_4H_2PO_4$$

$$ArNHCSNHAr + ROH + HCl \text{ or } H_3PO_4 \rightleftharpoons ArNACSOR + ArNH_2HCl \text{ or } ArNH_2H_3PO_4$$

$$ArNHCSNHAr + ROH + CH_3COOH \rightleftharpoons ArNHCSOR + ArNHCOCH_3 + H_2O$$

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

exp	Ar	R	HĀ	T hr	Y		mp
					g	%	
1		CH_3	HCl	18	60	82	97°
2		C_2H_5	HCl	26	73	93	69~70°
3	〃	i-C_3H_7	〃	50	75	88	81°
4		C_2H_5	〃	24	60	80	71°
5		〃	〃	48	69	90	85°
6		〃	〃	20	33	47	105°
7		〃	〃	〃	60	85	97°
8		〃	〃	20	70	97	103°
9		〃	〃	5	44	68	96°
10		〃	〃	13	63	98	108°
11		〃	〃	20	30	40	94°
12		〃	H_3PO_4	20	44	55	69~70°
13	〃	〃	CH_3COOH	20	54	68	〃
14		〃	〃	28	40	57	97°

本文は舊鈴木庸研究室當時より續行中の有機硫黄化合體の研究の一部で之を茲に謹んで故鈴木庸生博士の御靈前に捧げる。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

TEROPTERIN

TRADE MARK

Sodium Pteroyl Triglutamate

Sterile Solution

Lederle

For Intramuscular or Intravenous Use

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

IN the course of chemical investigations of the pteroyl glutamic acid compounds at the Lederle Research Laboratories at Pearl River, N. Y., there was synthesized pteroyl-gamma-glutamyl-gamma-glutamylglutamic acid, now known as TEROPTERIN Pteroyl Triglutamic Acid. This was found to possess microbiological activities identical with those of the naturally occurring fermentation *L. casei* factor. In 1944, Leuchtenberger, Lewisohn, Laszlo, and Leuchtenberger[1] reported the inhibition of Sarcoma 180, transplanted into female Rockland mice, by a folic-acid concentrate and a fermentation *L. casei* factor. Subsequent studies by the same group[2] showed complete regression of the malignancy in about one-third of single spontaneous breast cancers observed in three strains of mice, following the intravenous injection of 5 micrograms of fermentation *L. casei* factor, now known to be pteroyl triglutamic acid.

Recently, Dr. Sidney Farber[3] has reported observations on 90 patients with malignant disease, for whom established therapeutic procedures offered no hope of cure, and to whom pteroyl triglutamic acid was given. The patients ranged in age from 3 to more than 71 years and their cases included many varieties of malignant tumors. This report revealed, among other things, that this substance is nontoxic when given intravenously or intramuscularly. A substantial amount of investigation is proceed-

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

ing in this field. Final judgment upon the value of this substance as an adjunct to the treatment of malignancy must await the publication of reports based upon extensive clinical use over a period of the next several years.

INDICATIONS

TEROPTERIN Sodium Pteroyl Triglutamate is indicated for the palliation of malignancy. The palliative action of this compound in greatly improving the well-being of patients suffering from certain types of malignancy, and its ability to lessen pain in many instances, makes it well worth employing solely as a palliative. All forms of treatment—radium, X-ray, surgery—for the primary malignancy and its metastases should always be employed.

ADMINISTRATION and DOSAGE

The following dosage plan has been found appropriate by a number of clinical investigators: Inject 10 mg. (1 cc.) once daily for the first week. Beginning with the second week, two 10 mg. injections may be given daily for a period of three or four weeks. At the end of this time, it may be desirable to stop therapy to evaluate the situation and decide whether or not it is advisable to continue further medication.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

PRECAUTIONS

TEROPTERIN Sodium Pteroyl Triglutamate *Lederle* is believed to possess no toxicity in the doses recommended. This substance is not a substitute for any of the recognized methods of arresting malignant growth, and all such methods should be employed simultaneously with its administration.

REFERENCES

1 Leuchtenberger, C.; Lewisohn, R.; Laszlo, D., and Leuchtenberger, R.: Proc. Soc. Exper. Biol. & Med. 55:204 (Mar.) 1944.

2 Leuchtenberger, R.; Leuchtenberger, C.; Laszlo, D., and Lewisohn, R.: Science 101:46 (Jan. 12) 1945.

3 Farber, S.; Cutler, E. C.; Hawkins, J. W.; Harrison, J. H.; Pierce, E. C., II, and Lenz, G. G.: Science 106:619 (Dec. 19) 1947.

LEDERLE LABORATORIES DIVISION
American Cyanamid Company
30 Rockefeller Plaza New York 20, N. Y.

PRINTED IN U. S. A.

5065-100-AC-2/48

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

NUTRITION August 1949

榮養

Vol. 4 No. 3

第四卷 第三號

Edited by TADASU SAIKI M.D., PH. D.
Director of Nutrition School
Ota-ku Tokyo

目次 Contents

文化の度 Grade of Civilization 1
蛋白質の榮養價 Nutritive Value of Protein 2
榮養士誕生二十五週年記念式(續) Twenty Five Years of the Trainig of Eiyoshi 4
厚生大臣指定榮養士養成所連盟 Affiliated Body of Nutrition Schools 5
鄉土食 A Local Diet 6
榮養の知識 Knowledge of Nutrition 8

文化の度

佐伯矩

文化をC, 理想をI, 實踐をPとする。

$$C=\frac{I}{I-P}$$

卽ち、文化の度は理想の高低並にそれと實踐との距離に依つて決定される。

七分搗米論と玄米論との間に、褐色パン食と白パン食との間には、明かなる文化の差等が示されて居り、また七分搗米或は玄米を唱へながら自からは白米を食する生活の如きは斷じて文化人のものではない。

眞なる文化の名に於て胃腸を安心して働かしめる日をこそ先づ造るべきである。人間の嘘吐きを胃腸が一番よく知つて居る。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

蛋白質の榮養價

佐伯 玖

此の問題は古くて新しい事柄である。此所では、白鼠の成長、N出納を基準にした種々の養價數値と、最近の生物化學殊に原子物理學の進歩による生體內代謝の追求がもたらした數値とが、よく一致し、よく相補つている。又、既に、全榮養素の關係に於て、明瞭な實驗的根據をもつて確立されている「每回食完全說－佐伯矩」は、此所に、一つの榮養素內に於ても又適應されるという確かな證明を得て、愈々强力なものとなるに至つた。抑々蛋白質は「生・物質」中その重要性に於て特殊の地位を占める高分子化合物であつて、その研究にはなお大きな餘地を殘している。然るに、急激に進歩した各種化學的乃至物理化學的或は生物學的並に微生物學的定量法は、體內蛋白質各分屑の解析、定量、各アミノ酸の確認を可能ならしめ、Tracer としての同位元素の利用は、その生體內分解、合成の機構を解き明かす糸口を與えた。その他、分子論的な或は電子顯微鏡的な蛋白質の構造や、大きの決定、各種の變性や、酵素特異性の解釋等は、原形質の生物學的機能の解明に一步をふみ出したものと言うことが出來、又、生體外合成の研究、抗元抗體反應機序に對する單分子膜研究等も、此の問題の將來に關係がある樣に思はれる。今此所に、榮養學初學の人々の爲めに、問題の範圍を明にしてみたいと思う。

(1) 吾々の體の骨骼を除いた固形成分の中 89% は混合蛋白質である。この點からしてもこのものが、生命現象研究上除外出來ぬものであると言える。——混合蛋白質は單純蛋白と複合蛋白から成る。單純蛋白は數種のアミノ酸から成り、複合蛋白は單純蛋白と結合族から成る。

(2) 蛋白質の消化・吸收・代謝。

蛋白質→アミノ酸 →①組織固有蛋白→{酵素 / エステル型ビタミン / ホルモン}
→②貯藏蛋白(主として肝臟)→血漿蛋白
→③(殘り全部)脫アミノ化され、排泄される。
(之に伴つて、ケト酸から含水炭素、脂肪が生じ、又一部はアミノ酸に再合成される。)

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

(3) 混合蛋白質の良否。

①アミノ酸組成（割合と絶對量）。先づ第一に考慮する必要がある。併し、この化學的分析値だけを見ても混合蛋白質の良否を決定する事は出來ない。これを考察する意義は次の點にある。〔i〕：生物學的榮養價の成績を分析的に說明する場合に一つの根據となる。〔ii〕：全部の必須アミノ酸が每回食同時に必要量だけ與えられなければならない—Geiger。生體內で蛋白合成が行はれる際、その組成材料は全部そろつてその場所に到達して居らねばならないからである。これは每回食完全說の實際とよく一致している。〔iii〕：合成食品の基礎となる。

②生物學的榮養價（單に榮養價と言えば、生物學的効果の事である。）〔i〕：これは構成アミノ酸の綜合的効果を、それに關與する既知因子（例へば消化吸收、特異力學的作用等）並に未知因子（例ば食品の特自榮養價、他養素配合の影響、調理の影響等—これ等は一部食品については測定濟）の影響をも含めて判定するものである。卽ちこれが絶對的榮養價判定の基準となる。併し〔ii〕：生物學的榮養價の現はれは種々ある。卽ち、體重の消長、N-平衡、血漿蛋白の恢復、組織蛋白增加、保健、姙娠、泌乳、疾病、低榮養恢復等である。此複雜多岐な生物現象の何れをとつて榮養價判定の基準とするかは極めて困難、且つ重大な問題である。したがつて種々の方法がある。列擧すれば、(a) 成長及び體重維持法 (Osborne, Mendel)。榮養價 (O. M. 價) $=\frac{\text{體重の增加(g)}}{\text{蛋白の攝取量(g)}}$。(b) N-保留法 (Mc Collum, Shukers)。榮養價 (%) $=100\times\frac{\text{組織形成蛋白}}{\text{攝取蛋白}}$。(c) N-平衡法 (Mitchell, Nitrogen-Balance-Method)。榮養價 (M, N, B, 價%) $=100\times\frac{\text{體內に貯えられたN}}{\text{吸收された食品のN}}$。これは吸收されて後の蛋白質の効用の表現である。故に消化が悪い爲に實際の成長には餘り役立たない蛋白質でもこれでは高率を示す場合がある。(d) 白鼠最高成長體重。(e) 血漿蛋白再生速度。等がある。

(4) 蛋白質の要求量。

N－出納、血漿蛋白再生量、體重維持量等を基準にして、生物學的榮

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

養價とアミノ酸組成を參考にし、それに一定の安全率を見込み、要求量とする。小兒、老人の要求量は食品成分計算表（佐伯矩）參照。又姙婦は Slonaker によれば姙娠後半期に於て2g/prkg。授乳婦は藤本によれば、91g/日量である。最近米國にて決定された必須アミノ酸必要量を、アミノ酸組成と合せて計算すれば、或る種の食品については、より完全な標準値が定められることになる。——(圖表略)。

(5) 蛋白質の榮養價に影響する化學的分析値以外の因子。①消化吸收率、②特異力學的作用、③加熱調理、④紫外線の作用、⑤他榮養素配合の影響、⑥脫アミノ後の特殊作用。等。

(6) 蛋白質の給源。

①蛋白質性食品。獸鳥魚肉、卵、さなぎ、チーズ、豉類、②その量に於て蛋白質の相當量を供給しているもの。日本人、米（33g/1日）、歐米人、麥（26g/1日）。

蛋白質の榮養價に關する問題は、貯藏蛋白と血液蛋白との交流の機序や、この調節に參與するホルモン、酵素系の作用や、必須アミノ酸の代謝の詳細が次第に解明せられるならば、更に一段と飛躍するものと考えられる。そして、最後に、これ等が他養素との關連に於て如何なる生物學的榮養價と平行するかゞ判明されねばならぬ。榮養學の進歩はトリプトファンから生ずるアントラニール酸がビタミンLに他ならずビタミンMの本態がプテロイールグルタミン酸であり、或種のB₂群のビタミンが夫々補酵素として存する事を示してゐる。又アドレナリンがフエニルアラニン及びチロジンから生成される事は周知の事實であり、最近はインスリンのホルモン作用と、その組成アミノ酸及び共存ビタミン樣物質との關係が論ぜられてゐる等、アミノ酸、ビタミン、酵素、ホルモン間の一層密接な移行並に相關性が闡明されるに到つた。かくて問題は綜合された複雜化への道を歩んでゐる。(24.6.13)

榮養士誕生二十五週年記念式（卒業生挨拶）

記念講演の筆記は頗る多岐に亙つた內容を包含せるが、紙面の都合で玆には一部の摘錄にのみ止め餘項他日を期す。尙第十六期の春始て吾榮養士の職域に他校卒業生（榮養士とは稱せざりしも）を迎へた。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

○佐々木理喜博士　（第四期）この期の生徒數は十二・三人から漸次七十人に增した。一同家族的に熱心に勉學したこと、夏期休暇を利用して榮養聚落が榮養改善の年中行事として取り上げられたことなど、芝區金杉川口町時代を語る。

○根津仙之助技師　（第六期）金澤知事と佐伯先生合體の有名なる多井戸の榮養改善事業の爲縣廳に二年、次で給食榮養化に依る體位の向上と結核罹病率の減少等を立證するを得た群馬縣師範學校に於ける勤務五年、糧太廳榮養主任として長官の信頼に答うるに努めた五年を經て、現在は山梨縣モデル保健所在職。榮養指導の實踐に光輝あらしめた記錄。

○牟田武夫技官　（第八期）榮養學校卒業後佐伯先生所長の榮研に勉學、先生の推薦で社會局に入り、其後、社會局が內務省から厚生省に移り、今は勞働省技官兼厚生技官として任官、カロリメータに關する造詣を生かす事、榮養行政に貢献するところあらむ事に專念、席溫まるに遑あらず。

○鈴木甲　元工場組合下谷第一榮養食配給所主任　（第十二期）工場關係の勞働問題を解決せむとして榮養學校に入學し、共同炊事に邁進した。當時を偲ぶ工業人らが、事業の復興を希望して今も私の周邊に集まりつゝある。

○最後に　佐伯先生が榮養學校創設の際、校長候補者三人の著名人中から、何故に齋藤壽雄先生を選びてこれを委囑したかの懷古談があつた。榮養の歌を合唱して閉式。（記錄係：木內・小關・澤野ら五榮養士）。〔正誤——前號第四頁末行　豫て　ヲ除ク〕

厚生大臣指定榮養士養成所連盟

昭和二十四年一月二十六日公衆衞生院に於て、東京都內榮養士養成所代表者ら會合標記連盟を結成した。結成に先だち、佐伯博士よりの（1）國際的にも好感を以て迎えらるゝ性質のものであるべき事、（2）後世の歷史家が觀て適切と批判するものであるべき事、（3）養成所共通の問題をのみ採り上げる事、を骨子とするとの提言に一同賛成した。次で、全員協議次の通り規約を定め連盟が成立した。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

榮養士養成所連盟規約

一、吾等は榮養士養成所たるの責務を全うするため、榮養士養成所の連盟を作る。

一、連盟の意見は構成する養成所の決議によつて成るものに限る。

一、構成する各養成所は連盟の協定に違反せざることを誓う。

附則略。連盟代表者佐伯矩。

翌一月二十七日厚生大臣へ、同二月二十四日マ司令部並に東京都廳へ本設立の件届出でた。次で日本榮養士會宛並に全國厚生大臣指定榮養士養成所宛賛同勧誘案内狀を發した。

◉連盟參加榮養士養成所次の如し。(設立認可順)

榮養學校 Eiyo Gakko (Saiki Nutrition School)	(校長佐伯矩)	大正十三年十三月廿七日設立申請 established 大正十四年二月十三日認可 1925
食糧學校 Shoku Ryo Gakko	(校長入江魁)	昭和十四年四月九日設立認可 1939
女子榮養學園 Joshi Eiyo Gakuen	(校長香川綾子)	昭和十六年九月十六日設立認可 1941
東京高等榮養學校 Tokyo Koto Eiyo Gakko	(校長染谷榮)	昭和十六年十二月廿二日設立認可 1941
北海道榮養學校 Hokkaido Eiyo Gakko	(校長鶴岡トミ)	昭年十七年四月一日設立認可 1942
生活科學院 Seikwatsu Kwagakuin	(校長谷村信竹)	昭和十七年四月一日設立認可 1942
日本生活學院 Nippon Seikwatsu Gakuin	(校長二瓶一次)	昭和十八年四月一日設立認可 1943

鄉土食

佐伯矩

住める地の所産を食するの利は榮養の本義の第二の輪を尊重することである。地許での豊富なる物資に依存するは經濟的である。長い年月間の經驗から慣用されまたは選擇される食品は地域的に自然に概定されるようになる。それが鄉土食であり、地域の別による特色を有つものとなる。このことは所謂名物土産品とは別なる日常生活上の飲食の重大問題なのである。

往年三宅島が私の熱意を傾注した希望の對象であつたことがある。それは同島には牛乳が大量に生産するに拘らず、住む人達はこれを用いることをしないのみならず、これを飲めば發疹・嘔吐・腹痛等の症狀が呈はれるとし、中毒すると信じて居り、牛乳やバターは全部東京に送りて、それを白米に代えて白米飯を愛用したのであつた。島のこ

	established
Eiyo Gakko (Saiki Nutrition School)	1925
Shoku Ryo Gakko	1939
Joshi Eiyo Gakuyen	1941
Tokyo Eiyo Gakko	1941
Hokkaido Eiyo Gakko	1942
Seikwatsu kwagakuin	1942
Nippon Seikwatsu Gakuin	1943

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

の誤つた食生活を改革しようとしても、島には榮養士を招聘する丈の經費が無いので、島長と共に苦慮協議の結果、不取敢一榮養士を小學校の教員として採用し、學校の教員としての勤務と同時に學童並に一般住人の榮養改善に着手せしめたのである。追々と榮養改善の實が擧つて來たが、先づ牛乳を學童に飲ませると中毒するという迷信を打破するに、相當骨が折れた。この迷信の成因に就ては私は別の機會に言及したいと思う。

從來、我邦では最近まで、農村で農民指導を行う場合などにも、鷄卵は殻にヒビの出來たものまでを商品とし、合宿生らの食卓には卵料理の一つだに見られないのが普通であつた。

鄉土食を善導するには榮養の知識に立脚せねばならぬ。その知識が狹義の榮養論に足踏して居る限り空轉を繰り返すのみとなる。明治の肉食萬能時代の衞生教材用模範獻立例は毎日牛肉のステーキか鷄卵二個以上か然らざれば刺身一皿を中心としたもので、それは私が山越標本製作所をして初めて立體標本を製出させた大正にまで及んだ。國民の實踐生活からは餘りにもかけ離れがちであつたが、世は、(1)「酒と煙草は養生に害あり」と教科書に明記され教育しながら、教員も郡長も學童や公衆の前で憚るところなく教えを破るのであるから、言行は必ずしも一致せずとも可いことゝ皆が心得た事、(2)平素の食物は粗食を尊び、また旗日・朔日・お十五日に御馳走を攝れば榮養に欠ぐるところなし、丁度西洋の風習で日曜の盛餐を樂みに週間は簡粗で我慢するというのと同一態度——榮養分の食い溜め意識——を抱藏せる事に依つて、誰も異議を挿むものはなかつたのである。

此際參考になる事どもを附け加えれば——

沖繩の糸滿では漁業を始めてから、島民の體位が急角度に好轉した。今を距る五十年前余が曾遊の頃の北海道は米作の絶望をのみ聽かされたのが今では廣大な面積に於て稻が豊に穗を垂れて居る。日本で最初の榮養士を採用した榮譽を有する愛媛縣で、橋爪榮養士に私が特に實施させた仕事は(1)煮干粉の應用と、(2)縣下の物資を以て(未利用資源を用うることなしに)縣人口の榮養を確保し得るや否やの調査、であつた。また大正九年國立の榮養研究所が生れて、建築の業未だ成らず、內務省の一室に間借した時眞先に始めたのが、(1)

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

日本各地主食品の種類並にその量と調理法、(2) 精米麥の方法並に精米麥機の種類と數量、であつた。

皇室の國民榮養對策も古來「竈の煙立つや立たずや」に在つた事は史實が語る。

今だに榮養に就いては厚生が農林が安本が文部が、各々の擴聲機に依り獨り語りを放送して動もすれば混亂を招いて居るのは嘆はしい。米國の援助が無くなつたなら我邦の榮養問題がどうなるかにもつと思いを致さなければならぬ。地方の榮養課獨立が如何に榮養問題の解決を後退させたか、中央の榮養課設置が如何に不見識な人氣取りの施策でしかなかつたか、之に反して「榮養省」創設提唱の意味の重要性を有つ事なども此頃漸くにして解りかけたであろう。

鄕土食の扱いには今後抜本的の革新を要する。即ち、狹義の榮養觀念にてはこれを破綻に導き、廣義の榮養觀念によりてのみこれを活性化するものであることに充分目覺めねばならぬ。

一例を云えば戰時中甘藷・馬鈴薯・玉蜀黍・稗・麥・粟・等を常食とするもの全部を米食に轉向せしめたこと、或は鄕土食の性格の長短並に榮養價の補正問題を閑却したこと、などは重大なる失敗であつた。廣義の榮養觀念即ち榮養の本義からの警告を無視せる結果である。

榮養の知識

心利きたる老人某氏あり。一榮養士に「五穀」とは何々なりやと問いけるに答え得ざりしとて嘆いた。この老人も現今吾々日本人が食用に供する食品の種類は幾千ぞと反問されればまた正しくは答へ得まい古きをも新しきをも兼ぬる知識をこそ心がけるべきである。有名な青山胤通博士は某英語名を有する舶來の滋養劑に推薦狀を認めた處、それが後に吾國の鉄と同一物であることが判り、それからの博士は一生涯榮養劑に證明書を與えぬことにしたという。

●●●學則に依り九月入學願書受付中・榮養學校●●●

昭和 24 年 7 月 30 日 印刷納本 【葉無斷轉載】
同 24 年 8 月 1 日 發 行
發行兼編輯人 佐 伯 矩・印 刷 人 山 岡 景 恭
發 行 所 東京都大田區市野倉町四一八 榮 養 社
印 刷 所 東京都千代田區神田多町二ノ七 三美印刷所

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

醫學博士 佐伯矩

T. Saiki M.D. Ph.D. Yale (1907)
Director of Nutrition School.

東京都大森區北馬込町四一八

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

(Reprinted from Proceedings of the Sixth Pacific Science Congress, Volume VI, held at Berkeley, Stanford and San Francisco July 24 to August 12, 1939.)

THE INADEQUACIES OF THE POLISHED RICE AND FISH DIET AND PRACTICAL MEANS OF SUPPLEMENTING IT

By TADASU SAIKI

THERE ARE THREE important aspects of the polishing of rice:

1) Polishing powder. It is only within a hundred years that polishing powder has been used in Japan. It has become very popular because it helps in polishing, and makes the rice keep well and appear to be of better quality. The real reasons for its use are the attractive whiteness it gives to rice, and the mistaken idea that it is harmless. However, the prohibition of such powder and other related substances is today finding acceptance for the following reasons.

a) There are two kinds of polishing powder, one silicate, the other calcium. In spite of the experiments done previously, we have proved that silicate causes ulcer and cancerous change in the stomach (see figures 1 and 2) and calcium produces calculi in kidneys and bladder of albino rats (see figures 3 and 4).

b) Much loss of the nutritious elements of rice when it is washed before being cooked can not be avoided when polishing powder is used.

c) The production of oil from rice bran and other uses of the bran as food are decreased by the use of polishing powder.

d) The rice-germ is easily dislodged by polishing powder.

e) It is now proved that rice can be polished without powder with more economical results than with it.

The establishment of a law prohibiting the use of polishing powder was discussed for many years in parliament as well as in society at large. At last, one prefectural government, namely Shiga, passed such a law, and since then 24 prefectures out of 47 have followed this example, and the central government is recommending the law in every prefecture. It will not be very long before it is in effect in the entire country.

2) The washing of rice before cooking. After the prohibition of the use of polishing powder, the washing of rice can be omitted. By washing rice in the Japanese way 16 per cent of protein, 2 per cent of carbohydrate, 43 per cent of fat, 73 per cent of inorganic substances, and 100 per cent of vitamin are wasted. The washing of rice further polishes it in the water.

The washing of rice is detrimental to both health and economy. Twenty years ago I made a public request for the invention of a simple apparatus for cleaning rice without washing. Now there are available several different cleaners for this purpose. Rice merchants or polishing factories should have this apparatus; and large-scale kitchens should not use washing machines as they do today.

3) White rice and the degree of polishing. Baron Takagi was the first to have success in preventing beriberi. He believed that beriberi resulted from the lack of sufficient nitrogenous substance in the rice diet. In the opinion of Dr. Sakaki the use of rice fermented by storage was the cause of beriberi. These explanations made in the earlier stage of discussion on beriberi in connection with rice are interesting. The white-rice diet today, since its study by Eijkman and many other scientists, is not regarded in its connection with beriberi only but is believed to be the cause of many different bodily disorders.

No one can now refuse to believe in the ill effects of the use of white rice. It is an important problem in the East and is more serious than the white wheat flour problem in the West. For example, in Japan a meal consists of

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

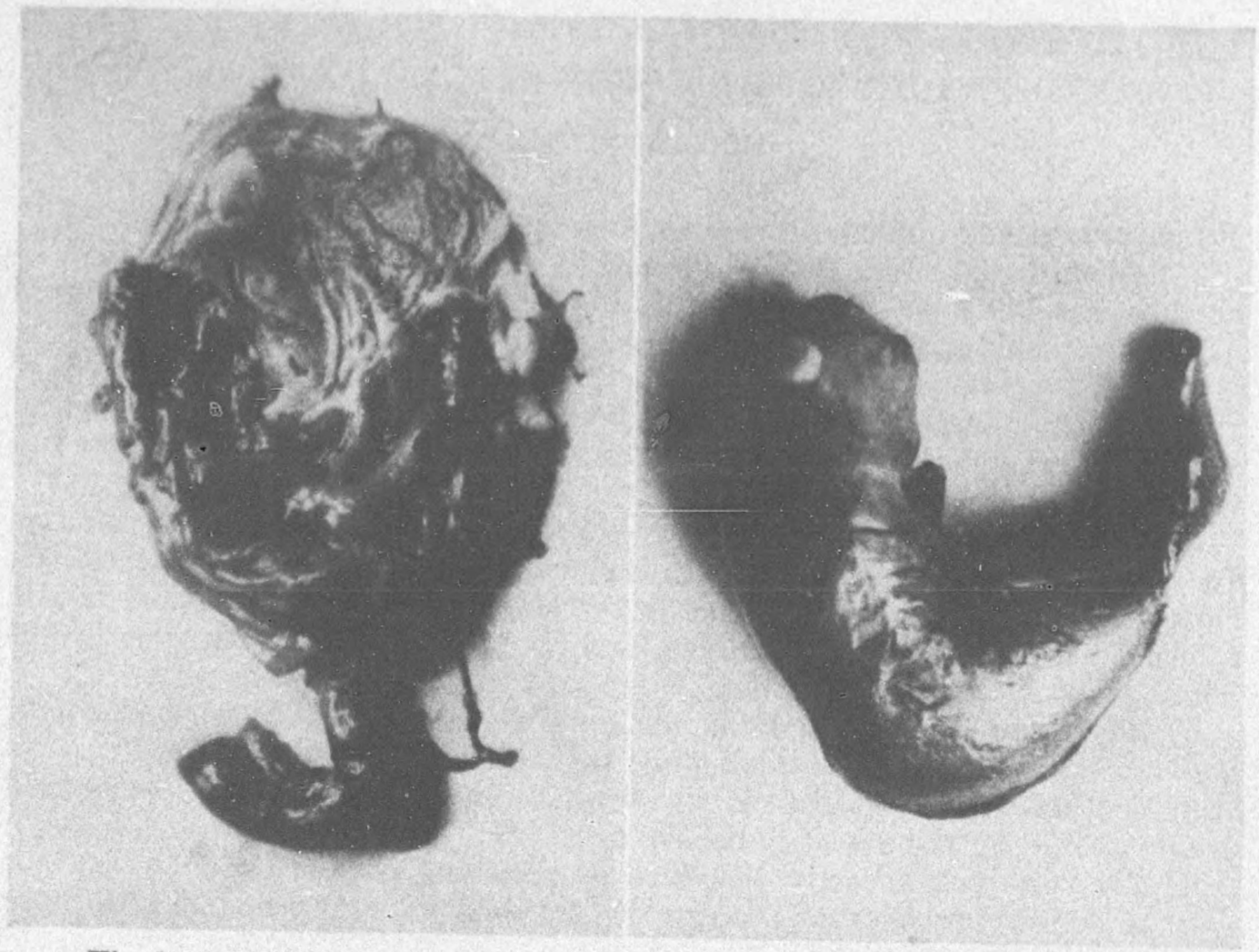


Fig. 1—Stomach ulcer and cancerous condition caused by silicate in albino rats.

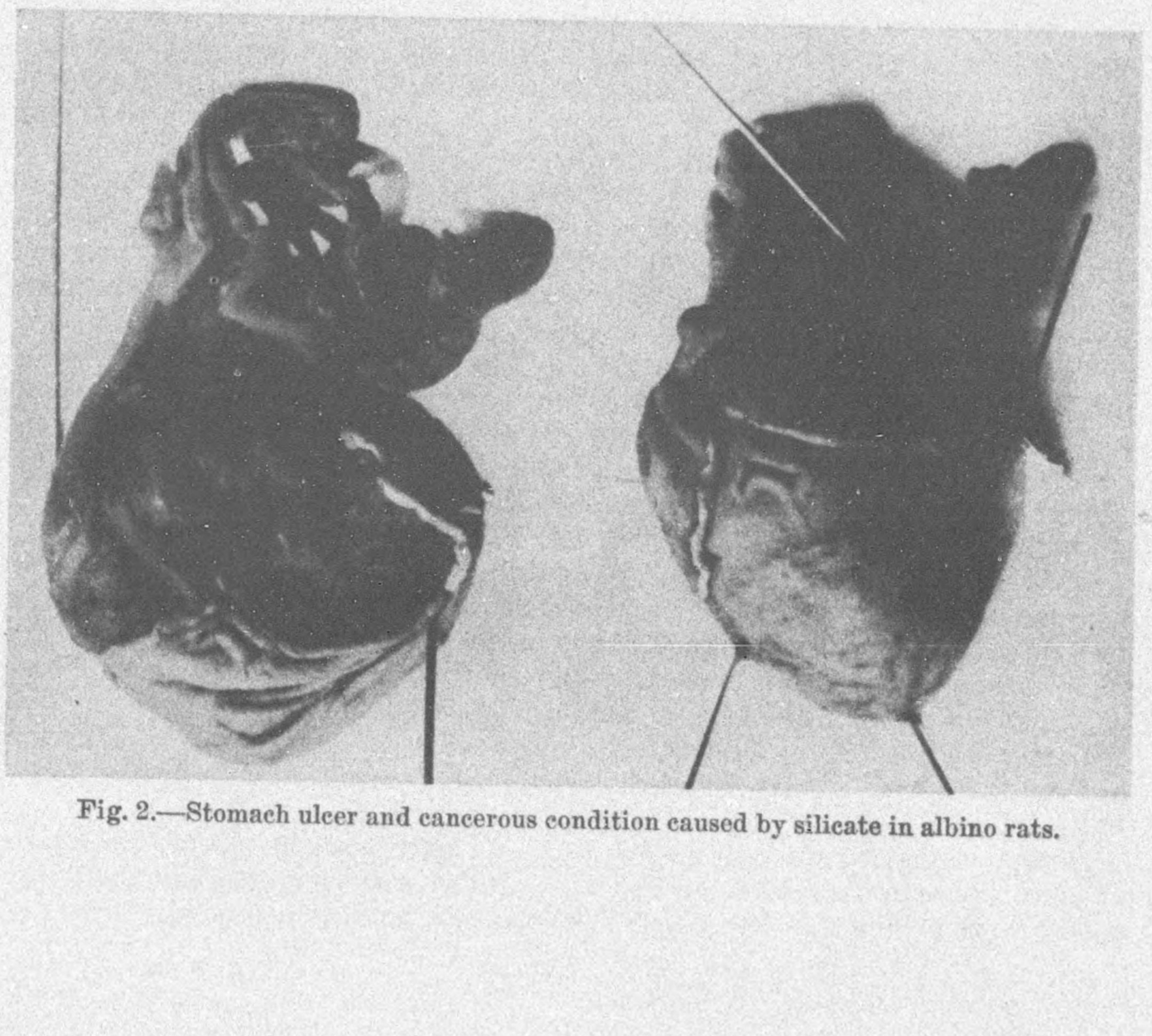


Fig. 2.—Stomach ulcer and cancerous condition caused by silicate in albino rats.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

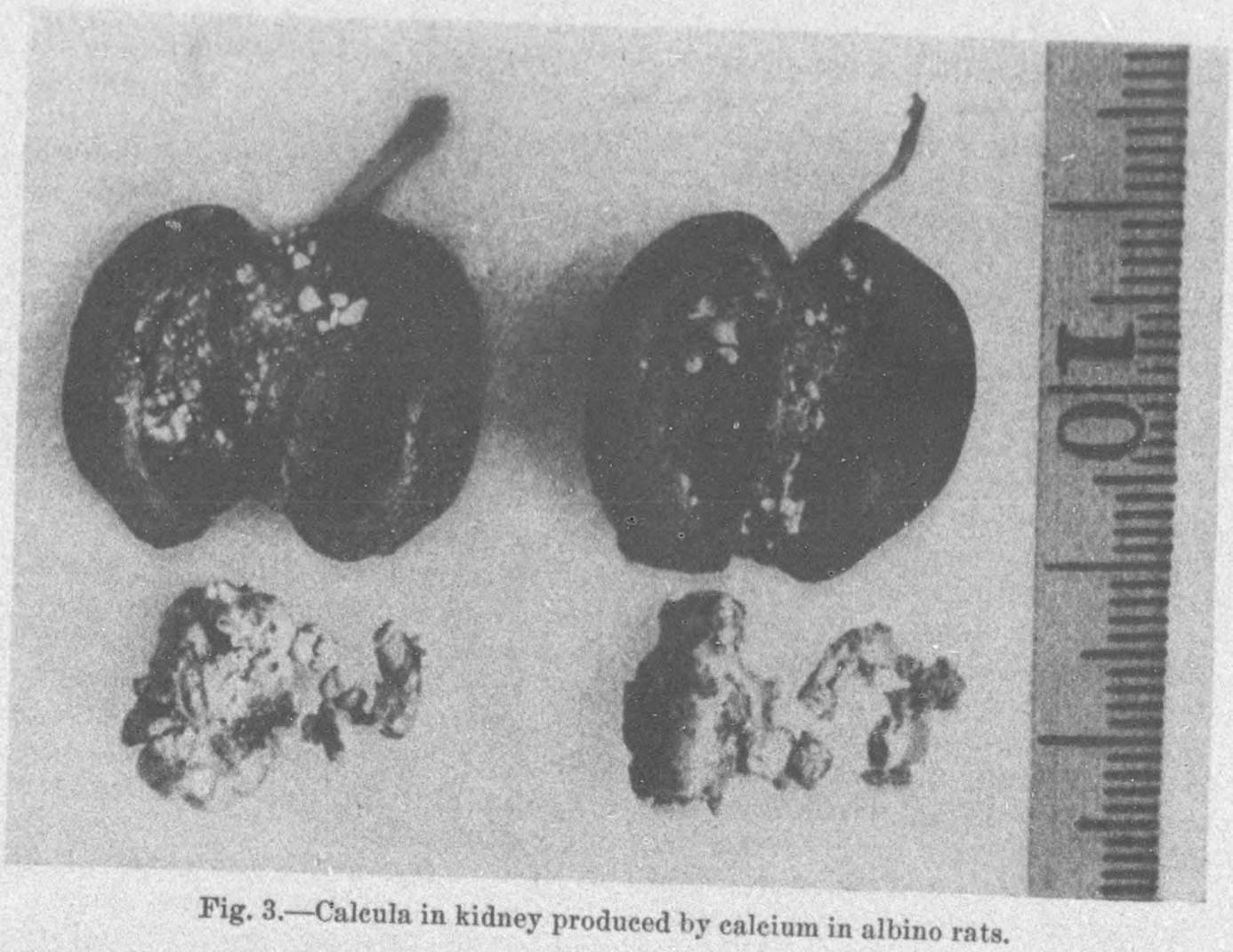


Fig. 3.—Calcula in kidney produced by calcium in albino rats.

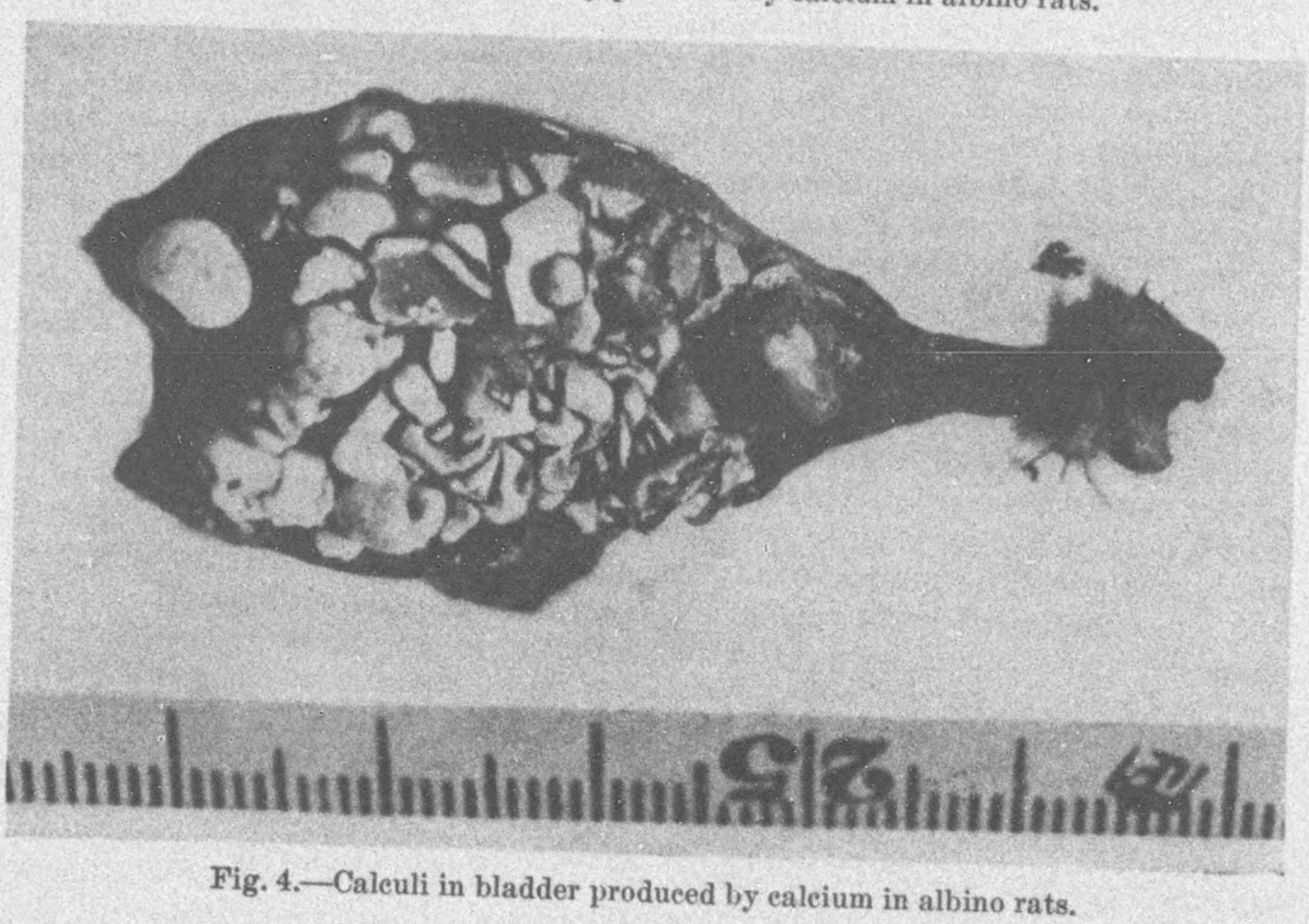


Fig. 4.—Calculi in bladder produced by calcium in albino rats.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

"main food" and "accessory food." The main food may be rice, barnyard grass, Korean millet, corn, or potatoes. Rice is the most important because it is produced in greater quantity, it is lower in price, and its flavor is preferred. Also, much white rice is used as a rule with very little accessory food.

If a sufficient amount of proper accessory food is used with less white rice, good health can be maintained, but such a meal is expensive. Instead of this use of white rice, it is far wiser and safer to prepare rice so as to preserve its nutritious elements; it is also simpler, more healthful, and more economical.

To eliminate the use of white rice, I recommended the use of a new rice in 1918, when the Nutrition Institute was still under private auspices. This new rice was polished almost to white rice, but the polishing was controlled as to three points, namely, (1) the rice polished without powder so as to be usable without washing before cooking, (2) the product must retain as much of the germ as possible, (3) the rice must be sold by weight instead of by volume. These three procedures were against the usual custom of the time. A new, large rice-milling company with a million yen capital was established, headed by Count Yanagisawa, to prepare and sell the new rice called "Haishi-mai," and I was the scientific consultant. It was too early to start this kind of work and the company was not able to continue very long. After the government took up nutritional work, we continued to study many different aspects of rice: polishing, chemistry, vitamin content, cooking, digestibility, storage, construction of rice grain, scientific tests, etc.; and studies on rice in Japan made considerable progress. In 1928, nine years after "haishi-mai" first appeared, Professor Shimazono took up the "haiga-mai" movement. Both "haishi" and "haiga" mean "germ" or "embryo," and "mai" means rice.

There was a special committee appointed in 1928 for the study of the population and food problem with the prime minister as president. Professor Shimazono proposed to establish a law that rice should not be sold unless it contained more than 80 per cent of the germ. I opposed this because of the difficulties of laboratory experiments as well as of actual practice.[1] This proposal was not passed. If it had been, the committee would have faced a most difficult and unsolvable problem in practice.

The following were the principal points of the writer's objection to the proposal: (a) The germ differs in its size after polishing, so that 80 per cent has no meaning in regard to the quantity of vitamin. (b) The germ does not always show the vitamin content, since there is often a perfect germ with poor vitamin content. (c) The germ can be retained in polishing in only a few kinds of rice among several hundreds in use in Japan. From the total amount produced, only 30 per cent can be prepared as "haiga-mai"; the remainder cannot retain the germ, no matter what method or machine is used for polishing. (d) The amount of germ remaining after polishing depends partly on the shape of the grain and germ (whether round or long), partly on whether the rice is of a soft or hard variety, and partly on the amount of fat contained in the bran. (e) If rice is to be stored more than eight months in Japan the germ cannot be retained, especially after the rainy season. (f) The vitamin content in the germ decreases faster than that of other parts.

It is plain from the above statements that *the germ cannot be used as an indicator for the elimination of white rice.* A new scientific indicator is necessary, one that can be used with all kinds of rice-polishing machines and also for stored rice. Such an indicator has been found in my method which indicates the degree of polishing, and in addition to this, Higuchi's method showing the activity of catalase which is parallel to vitamin content is recommended.

[1] See abstract of studies on rice by T. Saiki, Tokyo, Japan, 1937.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

The ratio of vitamin content in rice is 1 in the germ to 2.5 or 3.5 in other polished parts; also, protein, fat, and vitamin are contained in the inner part of the polished portion of the grain. This is next to the starch layer, and must be preserved after polishing. This preservation is accomplished by 70 per cent-polished rice ("shichibuzuki"), which is digestible and retains more of the germ than "haiga-mai" (rice further polished to the starch layer). See figure 5.

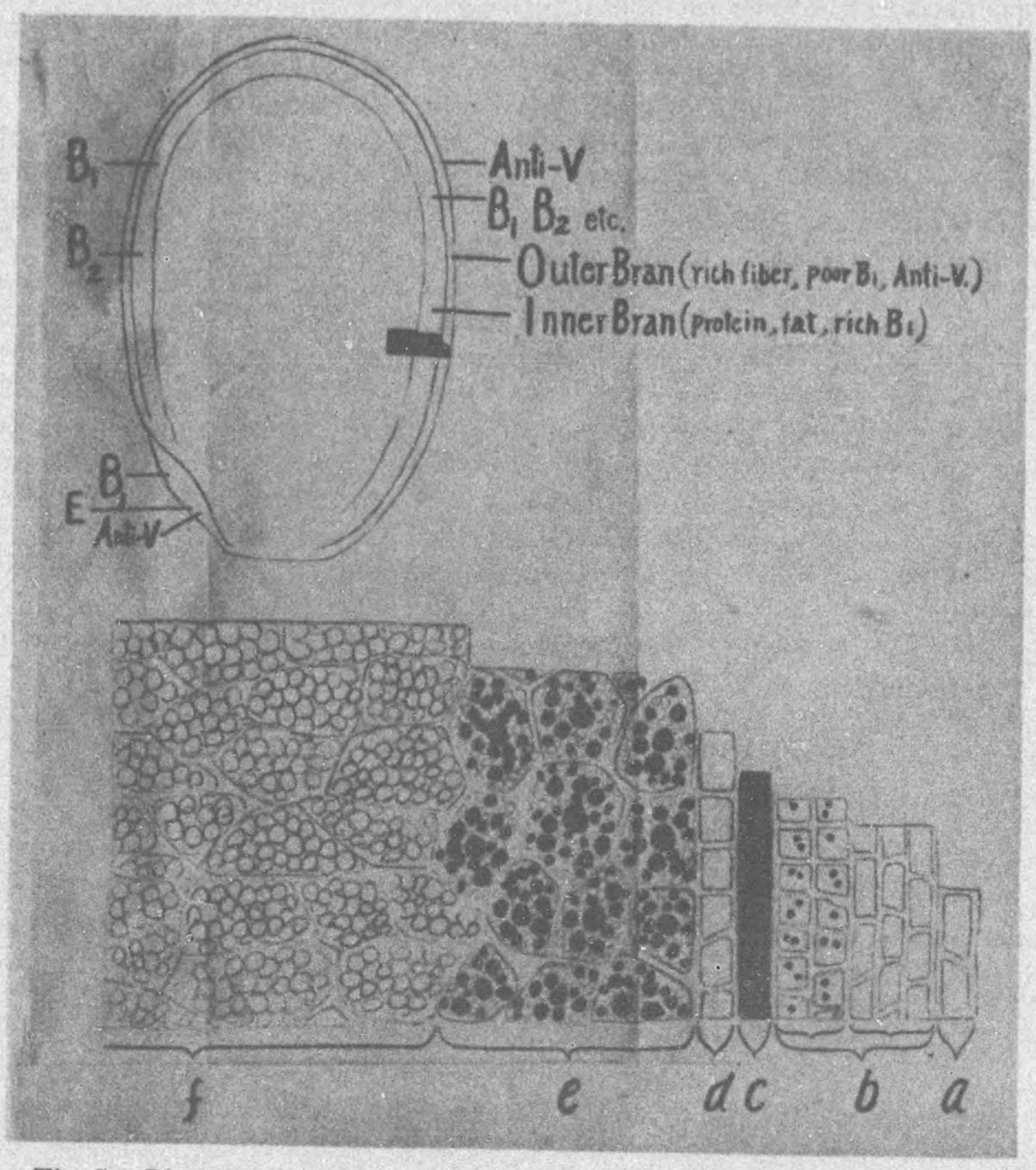


Fig. 5.—If polished to starch layer (*f*), it is white rice. If polished keeping nutritious layer (*e*), it is 70 per cent-polished rice. If polished white but with attempt to keep germ, it is Haishi or Haiga-mai.

As the result of education, 70 per cent-polished rice is gradually being accepted by a large part of the Japanese population. Though the use of white rice is gradually decreasing as a result of education by various public movements, some are not yet satisfied without its prohibition by law. As a matter of fact, the metropolitan police officials of Tokyo almost took such action last year.

On the other hand, the case for retention of white rice is stated as follows by many: White rice is not toxic. White rice keeps better in storage than polished varieties, and this is most important for commercial purposes. We must not go so far as to prohibit white rice while alcoholic drinks and tobacco are still

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

allowed. War is the only justification for controlling freedom of food choice. White rice has the most agreeable taste.

Many answers may be given to the above arguments, but at present I would propose to *put a tax on white rice, this tax to be used to promote its elimination*. It is my experience that one must know the rice problem most thoroughly to discuss it properly; not only must one know the laboratory work, but also the real facts and secrets in regard to its production, market, milling, and to other business aspects. For example, in planning to prohibit the use of polishing powder, the most serious difficulty to be overcome was to find a new use for the powder so as not to destroy the producer's business.

Education of Taste.—The education of taste is very important not only in regard to rice, but in all attempts to better nutrition. The people's taste for white rice and their dislike of that less polished should not be considered as unchangeable, but as an undesirable habit that should be corrected. After eating 70 per cent-polished rice for several months, one begins to like its flavor, and later comes to think white rice tasteless. This has been well proved. In any district where 70 per cent-polished rice has been used, the people never go back to the old desire for white rice. One can find this out by actual trial. This is what is meant by the education of taste. In general, people judge the taste of food by pure habit without knowledge, that is, by uneducated taste. Therefore it is an interesting fact that users of 70 per cent-polished rice dislike "haiga-mai" as well as white rice. It is more easy to educate children than adults, and therefore 70 per cent-polished rice is recommended for all school lunches.

The above statement is not a discussion of theory, but information upon facts established by experiments and experience.

Methods used in changing the preference for white rice to 70 per cent-polished rice.—Five methods have been tried with success:

1) A compulsory change without regard to likes and dislikes.

2) A small percentage of 70 per cent-polished rice is introduced into the diet, more being added a little at a time.

3) The addition of ground white rice into the kettle when 70 per cent-polished rice is almost cooked. Thus every grain of rice is covered by a thin coating of white rice giving the accustomed white-rice flavor. The amount of ground white rice is reduced gradually until no more is used.

4) A new practical method is as follows: Put 70 per cent-polished rice into a kettle with water, the usual amount being one-fifth more water than rice for white rice, and one-third more for 70 per cent-polished rice. A small wire sieve or colander containing white rice ($\frac{1}{10}$ of that in the kettle) is placed on the surface of the 70 per cent-polished rice. Then the kettle is covered and cooked as usual. This will produce two kinds of cooked rice without mixing them, one 70 per cent-polished and the other white. White rice, cooked in this way, contains enough vitamin to prevent vitamin B deficiency in birds, whereas the same white rice cooked alone causes fatal vitamin B deficiency.

This method is useful not only in the education of taste, but where, for some special reason, all members of a family cannot eat 70 per cent-polished rice.

5) A central kitchen system also has a great influence on those outside its membership, for it makes the use of 70 per cent-polished rice popular, so that all the merchants of the place having such a kitchen need to sell it to satisfy their clients.

Fish.—Fish can be used instead of meat and is even more nutritious in some respects. Also there are many more varieties of fish than of meat and it is more easily digested. Another consideration is that fish live in water, do not require

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

land space, and eat what can be found in the water. Thus they differ from domestic animals in that they supply us with food without requiring any in return. No doubt, the world will use more and more marine products in the future.

When only the flesh of fish is taken, it represents a good source of protein and fat and often contains vitamin A. And if the inner organs are also used, as they are of animals, more nutritious elements may be obtained. Small fish are especially recommended when prepared so that the whole body can be eaten, thus yielding all kinds of vitamin (A, B, C, D) and inorganic substances (Ca, Mg, Na, K, Fe, I, etc.), as well as protein and fat. There is record of one Japanese who tried to live on raw fish only, but in this discussion a diet of fish only is not recommended since a combination of rice, vegetables, and fish has great advantages, and makes a perfect diet with no inadequacy whatever.

Rice, "miso" (soya bean paste), and cabbage make a good food for growth, but if a small portion of fish powder is added three to four times better growth is observed. Fish powder is made from small sardines boiled hard for a minute and then dried in the sun, afterward toasted, and the whole fish finely powdered. With the addition of a little salt, this powder will keep well.

It was thought for a long time that "miso" was a product of soya bean fermentation by fungi in which the protein is digested into amino acids, making it more nutritious. Experiments, however, have shown poorer growth on "miso" diet than on that of the soya bean. The reason for this is that the cystin content of soya bean is decomposed in "miso" on account of fermentation. But perfect growth can be obtained on a "miso" diet by the addition of fish which is rich in cystin.

Conclusion.—If one tried to live on rice only, or fish only, or white rice with only the flesh of fish, one would find the result unsatisfactory. Rice, fish, and vegetables make a perfect diet. Stated in detail, an ideal meal of this kind would consist of our "standard" rice (70 per cent-polished rice, polished without the use of powder and cleaned without being washed), small fish (if the entire body is used), and vegetables, all combined according to "each meal perfect" system.

If a diet consists of white rice, the consumption is large, but if a change is made to "standard" rice, the amount consumed always decreases greatly. The diet proposed above, therefore, is economical, for after buying the necessary accessory food with the money saved from the decreased purchase of rice there will still be a balance left.

In the practice of such improved nutrition in Japan, the usual result is a remarkable improvement in health, a reduction in the cost of food, and a decrease in medical expenses.

If the above system were adopted by the whole population of Japan proper, the saving would amount to 2,300,000,000 yen a year, calculating from actual results in several districts. Lastly, the central kitchen system, one of five different systems of nutrition betterment,[2] is useful for factories, for the busy periods of agricultural districts, and for any union of households on a large scale in towns or cities. Remarkable results are seen in health, economy, efficiency, and mental as well as social betterment. The "unit system" diets of such central kitchens are as a rule prepared by a nutritionist who has had two years' training in science and ethics in the Nutrition School. The government is encouraging this system and even lending money to start such work. It is developing especially as a welfare work among laborers.

[2] See the pamphlet "My principle of nutrition," by T. Saiki, Tokyo, Japan, 1930.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

東京醫事新誌第三一八三號拔冊（昭和十五年四月廿七日發行）

Phenyl-thio-urethan の驅蟲作用に關する實驗的研究

東京慈惠會醫科大學藥理學教室

講師 堀內寬一

研究生 黑須義臣

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 77503

Laboratory reports

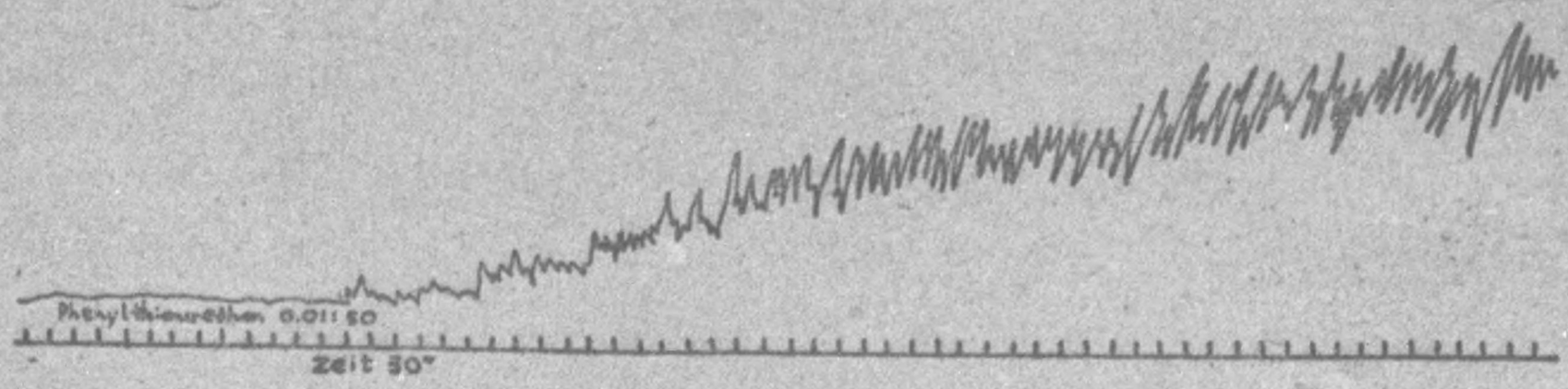
Phenyl-thio-urethan の驅蟲作用に關する實驗的研究

東京慈惠會醫科大學藥理學教室
講師 堀内寛一
研究生 黒須義臣

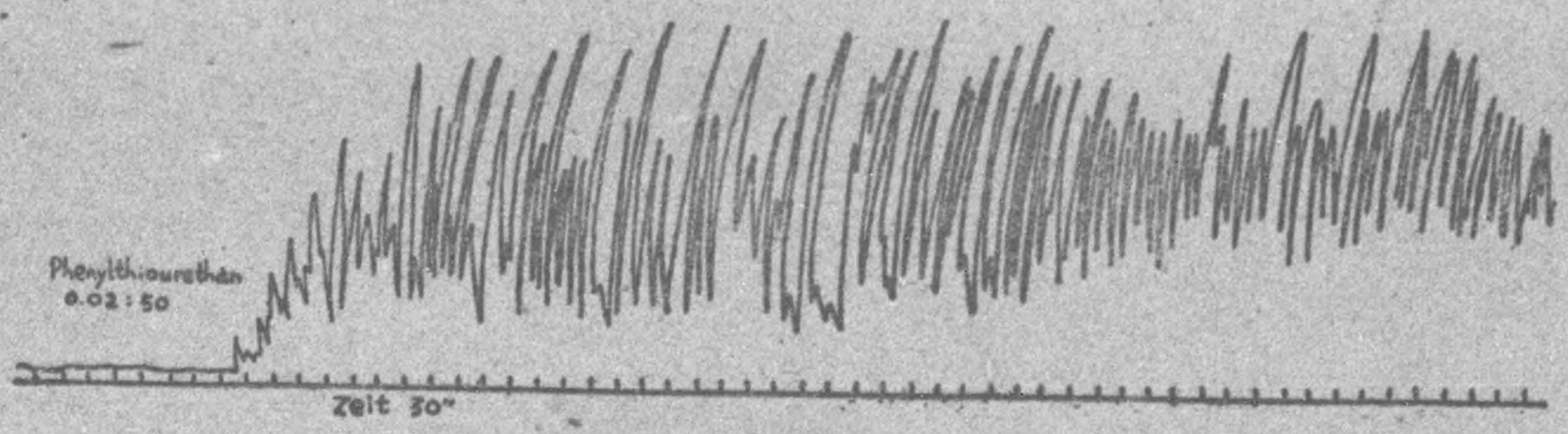
第一章 緒論

Phenyl-thio-urethan が諸多の黴類及び絲狀菌の發育抑制に對し、他の芳香族硫黄化合體に比し極めて卓越せる作用を現はすは、八谷及び西村[1]兩氏の研究報告により吾人の知悉する所なり。又新潟醫科大學の橋本及び林[2]兩氏は、本化合體のオレフ油溶液を癩患者の筋肉内に注射或は病竈部に適用して、其の病狀の輕快するを認めたりと、氏等の Phenyl-thio-urethan に依る癩療法は、其の後神宮[3]並に小松[4]氏等によりても試められ、斑紋癩に對して特に効果あるものとせられたり。其の後當教室に於て今瀧[5]氏は Phenyl-thio-urethan の藥理作用に就て詳細なる實驗を行ひ

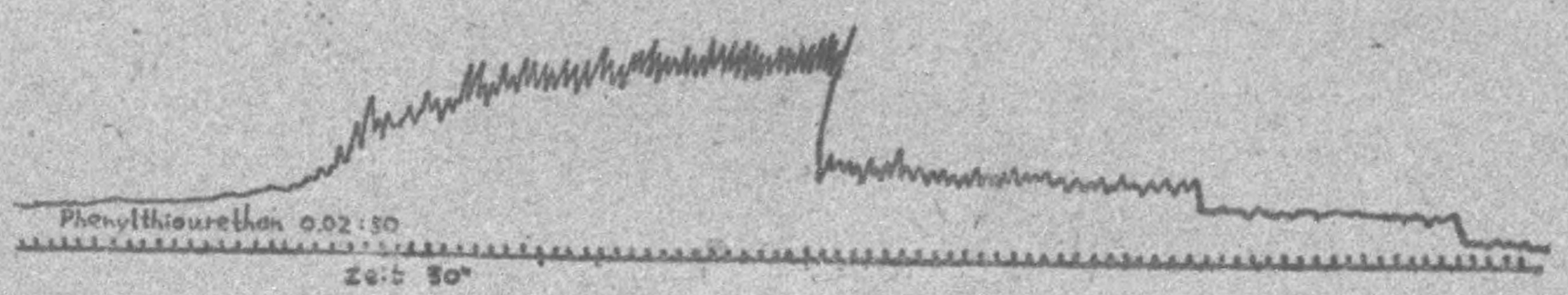
DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013



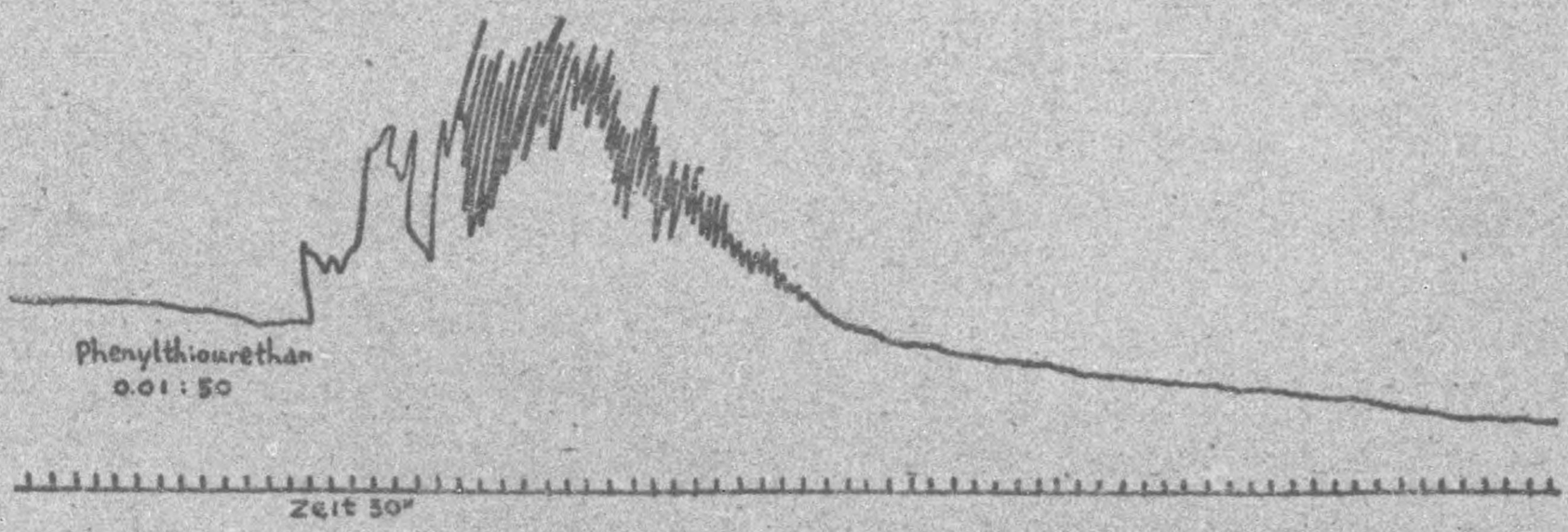
第一圖



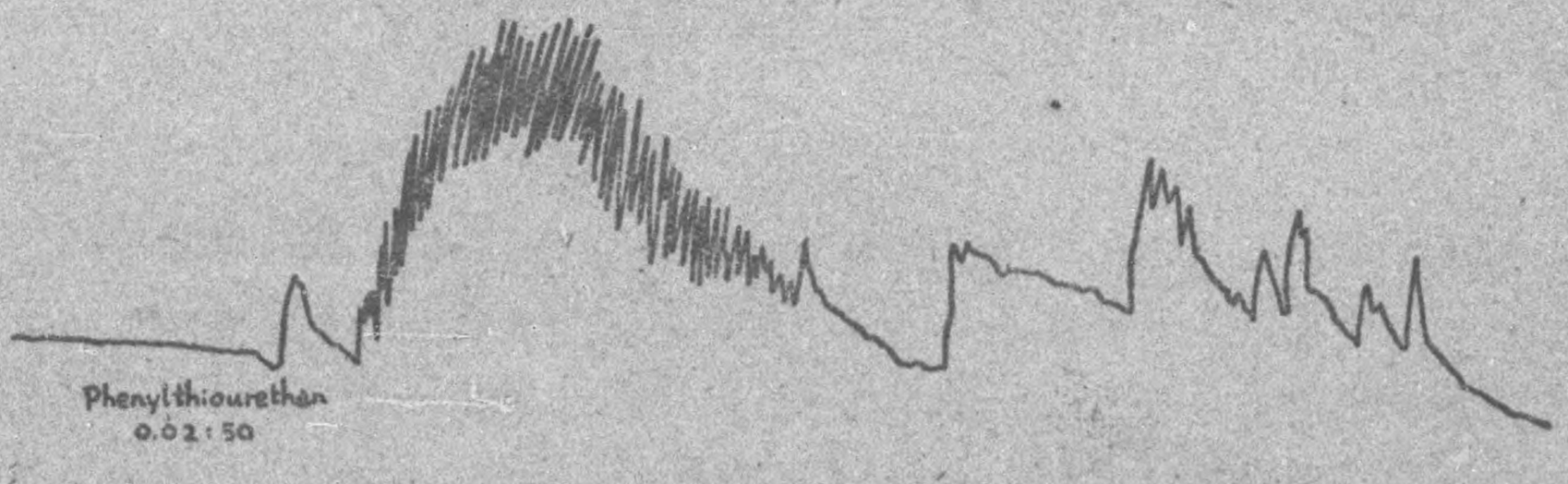
第二圖



第三圖



第四圖



第五圖

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

たり。而して余等は今瀬氏の實驗成績を檢討するに摘出腸管、同子宮筋、血管等の平滑筋に對する Phenyl-thio-urethan の作用の Santonin 若しくは Santonin-säure に類似の點あるを知りたり。故に Phenyl-thio-urethan は Santonin の如き圓蟲筋に對する作用を有するに非ざるかと思考し、本化合體はラクトン基を有する事無きも、當教室中村。氏の所見に倣ひ以下述ぐるが如き小實驗を行ひ、之が結果を報告せんとするものなり。

第二章　實驗用に供用せる藥物

第一項　Phenyl-thio-urethan

本實驗に供用せる Phenyl-thio-urethan は理化學研究所鈴木(庸)研究室に於て合成せられたるものを採用せり。

第二項　Santonin

厚生省東京衛生試驗所封緘の第五版日本藥局方のものを使用せり。

第三章　蛭筋に對する作用

第一項　實驗材料及び實驗方法

水蛭 (Hirudo nipponica) を上中下の三箇に切り其の一片を取り Trendelenburg 氏法に依りて筋標本を作り、之を Ringer 氏液五〇 cc を盛れる圓筒中に入れ、其の運動をキモグラヒオン煤煙紙面に描寫せり。標本は榮養液に浸した直後は多少運動を營むを以て三四十分後靜となるを俟ちて實驗に供せり。

試藥 Phenyl-thio-urethan (以下 P.T.U. の略符を用ふ) は水に難溶なれば半量のアラビアゴムを媒劑として乳劑を作り、之を Ringer 氏液を以て各種所要濃度に稀釋し實驗に供せり。以下蚯蚓筋、豚蛔蟲に使用せる本藥品は總て乳劑とせるものなり。尙は蛭筋、蚯蚓筋に試藥の媒劑たるアラビヤゴムを溶液として注加し、對照實驗を行ひたるも、いづれも之に因る影響を認め得ざりき。

第二項　實驗成績

P.T.U. 0.001:50 濃度に於ては蛭筋の緊張を僅かに上昇せしめ同時に輕微なる收縮運動を惹起せしめたり。然りと雖も之より稀薄なる溶液に於ては終始著明な影響を認め得ず。

0.01:50　濃度に於ては蛭筋の緊張著明に上昇し同時に收縮運動を旺盛ならしむ。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 77503

(第一圖參照)

0.02:50 濃度に於ける運動狀態を時間的に觀察せるに初期は著明なる收縮運動を營めるも、漸次緊張低下し一時間後には收縮運動減弱し、二時間後には緊張著しく低下して運動停止せるを認む。(第二圖及び第三圖)

第四章 丘引筋に對する作用

第一項 實驗材料及び實驗方法

本實驗には Lumbricidae に屬する蚯蚓の其形態稍々大なるものを選び使用せり。

實驗方法としては Trendelenburg 氏法に做ひ蚯蚓の Klitelium の下部より切斷し約三 c.m の切片として腹部の筋肉を除き腸及び神經纖維を除去し、Ringer 氏液にて內外面を充分に洗ひ斯如にして得たる標本を蛭筋の場合と同裝置にて藥物注加によりて惹起せらるゝ運動の變化を描寫せり。

第二項 實驗成績

P.T.U. 0.001:50 濃度に於ては蚯蚓筋は時に運動を起し、時に緊張も亦增加することあるも之より稀薄なる溶液中にては變化を認むる事能はず。而して 0.002:50 濃度に於ては更に其の作用强まり緊張は殆と常に著しく上昇し活潑なる運動を惹起せり。而して暫時にして緊張は著明に下降するも尙ほ運動を繼續せり。

0.01—0.02:50 濃度に於ては一過性に興奮狀態を示し著明なる緊張上昇を示すも間もなく緊張頓に下降し運動抑制せられ麻痺狀態に陷る。(第四、第五圖參照)

第五章 豚蛔蟲に對する作用

第一項 實驗材料及び實驗方法

實驗動物として豚蛔蟲 (Ascaris suilla) を使用せり。之は屠殺場にて屠殺せる豚を其の直後腹腔次で腸管を開きて蛔蟲を採取し、豫め 36°—38°C の Bunge 氏液を容れたる魔法瓶中に入れ、直ちに實驗室中に持參して實驗の用に供せり。藥養液は Lo Monaco," Straub" に做ひ其の性質腸液に近似せる Bunge 氏液五〇 c (36°—38°C) を盛り、此の內實驗方法としては稍々口徑の長き同形のエルレンマイエルコルベンの多數を用意し、之を種々濃度の藥液を注加せる Bunge 氏液五〇 c (36°—38°C) を盛り、此の內に前記の方法にて採取せる豚の蛔蟲を入れ、直ちに三七度Cを保たしめたる孵卵器中に入れ、蛔蟲の一般狀態の變化を觀察したり。又同時に同一濃度のアラビヤゴ

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 77503

ムのみを溶液となる Bunge 氏液及び之を入るゝ事無き Bunge 液中に豚蛔蟲を入れ、同一條件の下に對照實驗を行ひたり。

第二項　實驗成績

P.T.U. の乳劑を Bunge 氏液にて 1:1000 より漸次稀釋して 1:10,000 に到らしめて實驗を行ひたり。本實驗に於て 1:1,000 溶液より 1:5,000 溶液に至る迄は初め蛔蟲の運動活潑となり興奮狀態を示すも漸次運動不活潑となり終には刺戟を與ふるも運動せざるに至る。即ち麻痺狀態となり遂に軟死を來せり。1:6,000 より稀釋の場合には極めて僅に興奮狀態を現はすか或は之を見ることなく比較的長時間安靜を保ち漸次刺戟を與ふるも運動不活潑となり、遂に軟死を來せり。而して各濃度に於ける蛔蟲の斃死時間は第一表に示せるが如し。

第六章　犬の蛔蟲驅除作用

第一項　實驗材料及び實驗方法

實驗動物は生後二乃至四箇月、體重二乃至四 kg 內外の仔犬を使用し、蟲卵檢査は矢尾板氏集卵法に依り行ひ、保卵犬のみに就き投藥を行ひたり。投藥は粉末とせる P.

第　一　表

Phenyl-thio-urethan 各濃度＝於ケル蛔蟲ノ斃死時間

濃度 / 斃死時間 / 實驗例	一千倍 時	分	二千倍 時	分	三千倍 時	分	四千倍 時	分	五千倍 時	分	六千倍 時	分	七千倍 時	分	八千倍 時	分	九千倍 時	分	一萬倍 時	分	アラビヤゴムプロンシ液 時	分
1	3	40	4	10	4	25	4	50	7	50	23	10	46	30	48	50	68	00	120	00	167	00	168	00
2	4	50	3	55	6	40	6	15	17	30	28	00	48	00	77	30	46	30	96	00	168	00	172	00
3	4	15	6	59	8	45	5	00	6	00	47	40	27	00	43	20	94	30	144	00	170	00	171	00
4	3	40	4	40	4	00	6	40	10	00	44	00	46	00	50	30	76	00	123	00	169	00	167	00
5	5	35	6	20	6	50	8	30	10	20	17	30	45	00	22	40	115	00	114	00	173	00	166	00
平均	4	36	5	11	6	08	6	13	10	20	32	04	42	30	48	34	80	00	119	24	169	24	168	48

T. U. を用ひ服藥後二—三時間を經て下劑として蓖麻子油五 cc を與へり。投藥後蛔蟲を排泄せる犬の數例及び驅蟲の有無に拘はらず二週後其の半數は蟲卵の有

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

第 二 表

Phenyl-thio-urethan ニヨル蛔蟲驅除成績

投 藥 量	實驗例 No.	仔犬體重(kg.)	驅 蟲 數	投藥14日後ニ於ケル蟲體又ハ蟲卵ノ有無
P. T. U. 0.1 g 1回	1	4.0	7	—
	2	3.2	2	+
	3	2.5	8	+
	4	3.5	8	—
	5	2.6	1	+
	6	2.9	2	+
	7	3.0	5	—
	8	5.0	2	—
	9	3.0	3	+
	10	3.5	4	—
	11	3.5	1	+
	12	2.0	2	+
P. T. U. 0.1 g 2回	13	2.5	5	—
	14	3.0	1	—
	15	2.9	3	+
	16	2.0	15	—
	17	3.5	10	—
	18	2.5	7	—
	19	3.0	5	+
	20	3.2	8	+
	21	2.5	6	—
	22	2.0	4	+
	23	2.6	2	+
	24	3.1	9	—

第 三 表

Phenyl-thio-urethan ニヨル犬ノ蛔蟲驅除成績

投 與 量	實驗例 No.	仔犬體重(kg.)	驅 蟲 數	投藥日14後ニ於ケル蟲體又ハ蟲卵ノ有無
P. T. U. 0.2 g 1回	1	3.2	2	—
	2	2.5	3	+
	3	2.6	21	—
	4	3.5	15	—
	5	2.9	4	+
	6	3.0	1	+
	7	3.2	3	—
	8	2.5	4	—
	9	2.0	2	+
	10	3.0	1	—
	11	2.7	1	+
	12	3.5	2	+
P. T. U. 0.2 g 2回	13	3.2	3	—
	14	2.5	3	—
	15	2.1	2	—
	16	2.0	4	—
	17	3.1	5	+
	18	2.4	30	—
	19	2.0	1	—
	20	3.2	2	—
	21	2.5	1	—
	22	3.0	8	+
	23	2.4	12	—
	24	3.2	3	+

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 77503

無其の半數は剖檢に依り、蛔蟲の有無を檢せり。尙ほ本實驗に際し同一實驗方法の下に Santonin の通常用せらる分量を投與して、之に因る驅蟲作用を比較研究し、以て參考となせり。

第二項　實驗成績

其一　Phenyl-thio-urethan による犬の蛔蟲驅除成績

體重三乃至四kg.の仔犬に對し P.T.U. 0.1g 一回を投與したる場合は其の十二例中、之が完全驅除せられたるものは、五例にして、同一量を連用二回投與したる場合に於ては七例なり。尙同じく P.T.U. 0.2g 一回を投與したる場合には其の十二例中之が完全驅除せられたるものは六例にして、同一量を連日二回投與の場合に九例なり。（第二表、第三表參照）

其二　Santonin による犬の蛔蟲驅除成績

體重二乃至四kg.の仔犬に對し Santonin 0.02g を投與したる際に於ては、其の十二實驗例中之が完全に驅除せられたるものは七例なり。而して同一量を連日二回投與したる場合には九例なり。（第四表參照）

第四表

Santonin ニヨル犬ノ蛔蟲驅除成績

投與量	實驗例 No.	仔犬體重(kg.)	驅蟲數	投藥14日後ニ於ケル糞便又ハ尿中ノ有無
Santonin 0.02g 1回	1	2.0	3	+
	2	2.0	1	−
	3	3.0	5	−
	4	2.3	2	−
	5	2.8	1	+
	6	3.5	9	−
	7	3.8	2	−
	8	3.2	6	+
	9	2.6	1	−
	10	2.4	2	+
	11	3.9	18	+
Santonin 0.02g 2回	12	2.8	1	−
	13	4.0	15	−
	14	3.0	23	−
	15	3.6	3	+
	16	3.2	2	−
	17	2.9	1	−
	18	2.5	8	+
	19	2.8	6	−
	20	2.6	4	−
	21	3.0	2	+
	22	3.9	1	−
	23	2.9	16	−
	24	3.5	21	−

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

第七章　總括及び結論

以上の實驗成績を綜合すれば次の如し。

一、蛭筋に對し P.T.U. 0.01:50 の濃度に於ては興奮作用を現はし、0.02:50 の濃度に於ては、初期に興奮作用を示すも一乃至二時間後には麻痺狀態に陷らしむ。

二、蚯蚓筋に對して P.T.U. 0.002:50 の濃度に於ては僅かに興奮作用を現はし 0.01 乃至 0.02:50 の濃度に於ては一過性の興奮狀態を誘發するも直ちに緊張並に運動抑制せられ麻痺狀態に陷る。

三、P.T.U. Bunge 氏液中に飼養したる豚蛔蟲に對し一乃至二千倍の濃度に於ては四—五時間にて之を斃死せしめ、一萬倍の稀薄溶液に於ても對照に比し、其の生存時間を短縮せしむ。

四、仔犬の蛔蟲驅除作用に就ては余等の小實驗によりては明確なる判定を下し難きは勿論なるも Santonin に對し約十倍量の P.T.U. の適用の場合に於ては相當の驅蟲率を示すものなる事を知り得たり。

文　獻

1) 入谷、西村：藥學雜誌、第52卷、第9號。
2) 橋本、林：皮膚泌尿科雜。
3) 神宮：ヒプラ、第6卷、第1號。
4) 小松：ヒプラ、第8卷、第2號。
5) 今濱：成醫會雜誌、第56卷、第9號。
6) 中村：〃　第52卷、第3號。
7) P. Trendelenburg: Arch. f. exp. path. u. Pharmakol. Bd. 79. 3190. 1916.
8) Lo Monaco: Archivesitalienes de, Biologie 1896. 26. Bd, S. 216.
9) W. Straub. bei E. Wedekid: Archiv der Pharmazie 1906. 244 Bd. S. 623.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

REPORT of EXPERIMENT AND INVESTIGATION ON ANTHELMINTIC EFFECTS of PHENYL-THIO-URETHAN.

(27'6 APRIL, 1940)

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

日保收第一〇四號
昭和十八年六月十日

蛔蟲驅除藥「アパラヂン錠」服用調査書

山梨縣日下部保健所長
地方技師 杉本良次

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 77503

寫

日保發收第一〇四號

昭和十八年六月十日

山梨縣日下部保健所長
地方技師 杉本良次

橫濱市中區尾上町 金港化學工業株式會社
常務取締役 多々良秀次殿

蛔蟲驅除藥アパラチン錠服用後ノ調査成績ニ關スル件

貴會社製品蛔蟲驅除藥アパラチン錠試驗調査書一部及送附候也

一

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

日保發收九七號寫

昭和十八年六月一日

日下部保健所長

地方技師 杉本良次

山梨縣內政部長

宮田爲益殿

蛔蟲驅除ニ關スル件

先般衞甲收第八號ヲ以テ御指示相成候首標ノ件ニ基キ五月中國民學校生徒ニ對シ寄生蟲卵檢査ヲ行ヒ其ノ人員二千六百二十名中蛔蟲卵保有者二千百九十七名ニ金港化學工業株式會社製品**アバラヂン**錠ヲ服用セシメ蛔蟲驅除ヲ行ヒタリ其ノ成績別紙ノ通リニ有之候條此段及報告候也

蛔蟲驅除藥アバラヂン錠服用調査書

一、本調査ハ在來ノ蛔蟲驅除藥ノ不足ノ折柄其ノ代用品トシテ現今販賣セル**アバラヂン**錠ガ一般ヘ推奨スルニ足ルカ否カニ付キ本試驗ヲ行ヒタリ

一、本劑ヲ服用前糞便檢査ヲ行ヒ蛔蟲卵保有者ニ服用セシメタリ

一、副作用調査上必要アルタメ服用前頭痛、下痢、腹痛等モ調査シタルコト

一、糞便檢査ハ當所職員ニ於テ行ヒタリ

一、本劑ノ服用ニ付テハ各受持教員ニ服用上ノ注意ヲ與ヘタル後服用セシメタリ

排蟲狀況調査ハ便通ノ都度便所外ヘナシ蟲ヲ數ヘタリ

本調査受持教員ガナシタリ

一、服用ハ一回限リノモノト二回行ヒタルモノト二樣アリ、服用時間ハ空腹時ヲ選ビ各用量ヲ定メ服用セシム

一、第一回行ヒタル東雲國民學校ニ於テ錠劑ノマヽ、服用セシニ塊ノマヽ、排泄セラレタリトノ報告アリタルタメ其ノ後ハ嚙ミ碎キテ服用セシメタリ

一、副作用トシテハ幾分各種ノ症狀アリト言フモ生徒ノ自訴ニ正確ナラザル傾向アルヲ以テ明ナラズ依テ副作用トシテハ特ニ記ス可キ程度ノモノハナシ

一、服用後ノ排蟲狀況ハ五日間ノ調査ノミナルヲ以テ尙數日排蟲アルモノ、如シ

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

一、今後ニ於テ他ノ驅蟲藥ト比較試驗ヲ行ナハントス

服用上ノ方法ニ付テモ尙試ミル必要アルモノ、如シ

一、本調査成績ハ別紙ノ通リナルモ調査期間短期ナリシタメ充分ナラズ

尙長期調査スル時ハヨリ以上ノ成績アルモノト考ヘラル

一、本劑ヲ錠劑ノマヽ、服用スル時其ノマヽ、排泄セラル、モノアルト噛ミ碎キテ飲ンダ場合白クザヲザラノモノトナリ排泄セラルモノ多キヲ認メラル

本劑ノ製法等ニ就テ尙研究ノ餘地アルモノト考ヘラル

蛔蟲驅除成績

諏訪國民學校外四校合表

昭和十八年五月一日ヨリ五月二十五日迄ニ日下部保健所ニ於テ**アバラヂン**錠ヲ使用シ蛔蟲驅除ヲ行ヒタリ、其ノ成績左ノ如シ

一、檢査人員　二、六二〇名ノ內

蟲卵保有者　二、一九七名

檢査人員ニ對スル百分率

八三・八五%

一、服用方法　錠劑ヲ其ノ儘服用シタルモノト噛ミコナシテ服用シタルモノトアリ

記

學年別	服用人員	排蟲人員	百分率	排蟲數	一人平均排蟲數	排蟲一人最高數
初一年	二八五	一六二	六二・七八	五五七	三・四三	一五
〃二年	二八九	一四六	五〇・五一	三四〇	三・二〇	二七
〃三年	二八六	一〇七	三六・八〇	三五九	三・三五	二〇
〃四年	二八九	一〇〇	三四・六〇	三一六	三・一六	二二
〃五年	三〇一	八三	二七・五七	一六一	二・二〇	七
〃六年	二七八	八三。	二九・八五	一二四	一・九八	六
高等科	四六九	一三〇	二七・七一	四四五	三・四二	二八
計	二、一九七	八一一	四〇・〇	二、三〇一	三・一〇	一

備考

排蟲數不明ノモノ七十一名

諏訪國民學校外四校合表

アパラヂン服用後排蟲狀況調

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

學年別	第一日	第二日	第三日	第四日	第五日	第六日	第七日	第八日	第九日	計
初一年	一三八疋	一三二疋	一一一疋	六〇疋	七二疋	二四疋	五疋	一二疋	三疋	五五七疋
〃二年	七五〃	一一七〃	六四〃	四四〃	二一〃	一一〃	二〃	三〃	二〃	三三九〃
〃三年	八九〃	六一〃	五二〃	八四〃	五八〃	五〃	五〃	五〃	一〃	三六〇〃
〃四年	八六〃	九四〃	七三〃	三七〃	一九〃	六日以後ニ於テ排蟲日不明ノモノ七疋				三一六〃
〃五年	二九〃	四〇〃	三八〃	二八〃	二六〃	以後調査セズ				一六一〃
〃六年	五九〃	二五〃	二八〃	六〃	五〃	以後調査セズ				一二三〃
高等科	一二四〃	一四九〃	六六〃	四八〃	五六〃	以後ニ於テ排蟲日不明ノモノ三疋				四四六〃
計	六〇〇〃	六一八〃	四三二〃	三〇七〃	二五七〃	四〇〃	一二〃	二〇〃	六〃	二、三〇二〃

備考　六日以後調査ハ一部分ノモノナリ

排蟲日不明ノモノ一〇疋（六日以後）

諏訪國民學校蛔蟲驅除成績

本校ノ驅蟲ニ際シテハ檢査ノ結果蟲卵保有者ニ**アバラヂン**ヲ服用セシメ得タル成績ナリ

一、服用時間　午前十一時三十分　初一、二、三、四年

午後三時三十分　初五、六年、高等一、二年

一、服用量　初一、二年　三錠

〃三、四年　四錠

〃五、六年　五錠

高一、二年　六錠

本劑ノ服用及排蟲狀況調ハ受持教員ニ於テナシタリ

記

學年別	服用人員	排蟲人員	百分率	排蟲數	一人平均排蟲數	一人ノ最高排蟲數
初一年	八八	三五	三九・七七	一四八	四・二二	
〃二年	九四	三九	四一・四八	九六	二・四六	
〃三年	八七	三四	三九・〇八	一五五	四・五五	
〃四年	八二	二七	三二・九二	五九	二・一八	
〃五年	一〇一	二八	二七・七二	四六	一・六四	
〃六年	九〇	一七	一八・八八	二九	一・七〇	
高一年	八〇	八	一〇・〇〇	二七	三・三七	
〃二年	八七	一二	一三・九〇	四八	四・〇〇	
計	七〇九	二〇〇	二八・二〇	六〇八	三・〇四	

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

諏訪國民學校排蟲狀況調

學年別	第一日	第二日	第三日	第四日	第五日	第六日	第七日	第八日	第九日	計
初一年	一六	二二	一八	二〇	二八	二四	五	一二	三	一四八
〃二年	一一	四二	一七	四	四	一一	三	三	二	九六
〃三年	五九	二〇	一一	三四	一五	五	五	五	一	一五五
〃四年	二四	一六	七	四	一	六日以後ニ於テ排蟲セル者アリ				五九
〃五年	一二	三	一四	一二	五	以後調査セズ				四六
〃六年	一一	七	八	三	一	以後調査セズ				二九
高一年	二〇	二	二	一	三	以後調査セズ				二七
〃二年	七	二	一	七	二九	六日以後排蟲三足アリ				四八
計	一六〇	一一四	七七	八四	八五	四〇	一二	二〇	六	六〇八

排蟲不明ノモノ一〇足

蛔蟲驅除後ノ檢查成績

東雲國民學校外一校

學年別	檢查人員	驅除藥服用後蛔蟲卵除性トナリタルモノ	百分率	排蟲シテ驅除性トナリタルモノ	百分率	排蟲セザリシト言フモ驅除性トナリタルモノ	百分率
初一年	一一五	一五	一三・〇四	一三	一一・三〇	二	一・七四
〃二年	一一八	二六	二二・〇三	二一	一七・八〇	五	四・二三
〃三年	一二〇	二五	二〇・八三	一一	九・一六	一四	一一・六六
〃四年	一一七	二〇	一七・〇九	四	三・四一	一六	一三・六七
〃五年	一一五	三二	二七・八七	九	七・八二	二三	二〇・〇〇
〃六年	一〇七	三二	二九・九〇	七	六・五四	二五	二三・三六
高等科	一七二	二三	一三・三七	九	五・二三	一四	八・一二
計	八六四	一七三	二〇・〇二	七四	八・五六	九九	一一・四三

蛔蟲驅除後ニ於ケル檢查成績

東雲國民學校外一校

學年別	檢查人員	驅除藥服用後ノ檢查ニ於テ蟲卵減少シタルモノ	百分率	排蟲シテ蟲卵ノ減少シタルモノ	百分率	排蟲セザリシト言フモ蟲卵減少シタルモノ	百分率
初一年	一一五	三〇	二六・〇八	一四	一二・一七	一六	一三・九一
〃二年	一一八	三〇	一六・七八	七	五・九四	一三	一一・〇一

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

東雲國民學校蛔蟲驅除成績

昭和十八年五月三日・四日施行

本校驅蟲ニ際シテハ蟲卵檢査ノ結果蛔蟲卵保有者ニアバラヂン錠ヲ服用セシメ得タル成績ナリ

一、服用時間　午前十一時三十分

一、服用量　初一、二、三年）二錠
　　〃四、五、六年）二日間服用　三錠
　　高等科一、二年）　四錠

錠劑ノマヽ、服用セシメタリ

本劑服用排蟲狀況等ノ調査ハ受持ニ於テナシタリ

學年別	服用人員	排蟲人員	排蟲百分率	排蟲數	排蟲一人平均	排蟲一人最高數
初一年	五六	二七	四八・二一	五五	二・〇三	六
〃二年	六三	三五	五五・五五	一一四	三・二五	八
〃三年	五八	一四	二四・一三	二六	一・七八	四
〃四年	五五	九	九・〇九	二〇	二・二〇	八
〃五年	六四	三五	五四・六八	八九	二・五四	七
〃六年	五七	二六	四五・六一	六五	二・五〇	六
高一年	四〇	二六	六五・〇〇	八八	二・六二	六
〃二年	四二	八	一九・四八	二一	二・六二	八
計	四三五	一八〇	四一・三七	四五八	二・四一	—

東雲國民學校排蟲狀況調

學年別	第一日	第二日	第三日	第四日	第五日	計
初一年	一三疋	二四疋	一七疋	一疋	—	五五疋
〃二年	二六〃	三五〃	一八〃	二一〃	一三疋	一一四〃

學年別	第一日	第二日	第三日	第四日	第五日	計
〃三年	一二〇	二三	一九・一六	五	四・一六	一五・〇〇
〃四年	一一七	三四	二九・〇五	八	六・八二	二二・二二
〃五年	一一五	二三	二〇・〇〇	一四	一二・一七	七・八二
〃六年	一〇七	二二	二〇・五六	一四	一三・〇八	七・四七
高等科	一七二	三一	一八・〇二	—	八・二一	一二・七九
計	八六四	一八三	二一・一八	七一	—	一二・二九

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

六日以後調査セズ

東雲國民學校蛔蟲驅除後檢査成績

本檢査ハ驅除藥服用後十一日目ニ行ヒタリ

學年別	檢査人員	驅蟲藥服用後ノ檢査ニテ蟲卵陰性トナリタルモノ	百分率	排蟲シテ陰性トナリタルモノ	百分率	排蟲セザリシト雖モ蟲卵陰性トナリタルモノ	百分率
初一年	五六	五	八・九二	四	七・一四	一	一・七八
〃二年	六三	一三	二〇・六三	一二	一九・〇四	一	一・五八
高一年	五八	八	一三・七九	五	八・六二	三	五・一七
〃二年	五五	四	七・二七	一	一・八一	三	五・四五
計	二三〇	三〇	一三・〇四	二二	九・五七	八	三・四八

本檢査ニ於テ陰性トナリタルモ全部排蟲セシカ又ハ驅蟲藥ノタメ一時產卵ヲ停止セシカハ不明ナリ

東雲國民學校蛔蟲驅除後檢査成績

本檢査ハ蛔蟲藥服用後十一日目ニ行ヒタリ

學年別	檢査人員	驅除藥服用後ノ檢査ニテ蟲卵減少シタルモノ	百分率	排蟲シテ蟲卵ノ減少シタルモノ	百分率	排蟲セザリシト雖モ蟲卵ノ減少シタルモノ	百分率
初一年	五六	一四	二五・〇〇	八	一四・二八	六	一〇・七一
〃二年	六三	八	一二・七六	二	三・一七	六	九・五一
〃三年	五八	四	六・八九	一	一・八一	四	六・八九
〃四年	五五	一二	二一・八一	一	一・八一	一一	二〇・〇〇
〃五年	六四	一一	一七・一八	一〇	一五・六二	一	一・五五
〃六年	五七	一一	一九・二九	四	七・〇一	七	一二・二八
高一年	四〇	六	一五・〇〇	三	七・五〇	三	七・五〇
〃二年	四二	四	九・三二	三	七・一四	三	七・一四
計	四三五	六一	一四・〇二	三六	八・二七	二五	五・七四

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

〃	六年	五七	一二	二一・〇五	四	七・〇二
高	一年	四〇	八	二〇・〇〇	一	二・〇五
〃	二年	四二	一〇	二三・八〇	八	一九・〇四
計		四三五	七九	一八・一三	四一	九・四一
			八	一四・〇三	四	七・〇二
			七	一七・五〇	一	二・〇五
			二	四・七六	八	一九・〇四
			三八	八・七三	四一	九・四一

本檢査ニ於テ蟲卵減少シタルハ排蟲セシカ又ハ驅蟲藥ノタメニ産卵ヲ減少シタルカハ不明ナリ

富士見國民學校蛔蟲驅除成績

昭和十八年五月十四日・十五日施行

本校ノ驅蟲ニ際シテハ檢査ノ結果蛔蟲卵保有者ニアパラヂン錠ヲ服用セシメ得タル成績ナリ

一、服用時間　午前十一時三十分

一、服用量　初一、二、三年　二錠

〃四、五、六年　三錠　二日間服用

高等科　四錠

本劑ノ服用及ビ排蟲調査等ハ受持教員ガナシタリ

富士見國民學校排蟲狀況調

學年別	服用人員	排蟲人員	百分率	排蟲數	一人平均排蟲數	一人ニテ最高排蟲數
初一年	五九	三四	五九・三二	九六	一〇	
〃二年	五六	四〇	七一・四三	蟲體計算セズ		
〃三年	六二	一六	二五・八〇	二七	七	
〃四年	六二	二一	三三・九二	三九	六	
〃五年	五一	一〇	一九・六〇	蟲體計算セズ		
〃六年	五〇	二一	四二・〇〇	蟲體計算セズ		
高一年男	三五	一四	四〇・〇〇	二二	二	
〃二年男	二七	一一	四〇・三七	一五	二	
〃一、二年女	二九	二	六・八九	三	一	
計	四三一	一六九	三九・二一	二〇二		

學年別	第一日	第二日	第三日	第四日	第五日	計
初一年	三六疋	二九疋	二六疋	四疋	一疋	九六疋

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

富士見國民學校蛔蟲驅除後ノ檢査成績

本檢査ハ驅蟲藥服用後十三日目ニ行ヒタリ

學年別	檢査人員	驅蟲後ノ檢査ニ於テ蟲卵陰性トナリタルモノ	百分率	排蟲シテ陰性トナリタルモノ	百分率	排蟲セザリシト雖モ蟲卵ノ減少シタルモノ	百分率	排蟲シテ蟲卵ノ減少シタルモノ	百分率
初一年	五九	一〇	一六・九四	九	一五・二五	一	一・六九	六	一〇・三三
〃二年	五五	一三	二三・六三	九	一六・三六	四	七・二七	五	九・〇九
〃三年	六二	一七	二七・四一	六	九・六七	一一	一七・七四	五	八・〇六
〃四年	六二	一六	二五・八一	三	四・八三	一三	二〇・九六	三	四・八三
〃五年	五一	二二	四三・一三	三	五・八八	一九	三七・二一	三	五・八八
〃六年	五〇	二一	四二・〇〇	三	六・〇〇	一八	三六・〇〇	三	六・〇〇
高一年男	三五	六	一六・五七	三	八・五七	三	八・五七	二	五・七一
〃二年男	二七	三	一一・一一	二	七・四〇	一	三・七〇	一	三・七〇
〃一、二年女	二八	四	一四・二八	一	三・五七	四	一四・二八	一	三・五七
計	四二九	一一二	二六・一〇	三八	八・八五	七四	一七・二四	二四	五・六〇

本檢査ニ於テ蟲卵陰性トナリシハ全部排蟲セシカ又驅蟲藥ノタメニ一時產卵ヲ停止セシカハ不明ナリ

富士見國民學校蛔蟲驅除後ノ檢査成績

本檢査ハ驅蟲藥服用後十三日目ニ行ヒタリ

學年別	檢査人員	驅蟲後ノ檢査ニ於テ蟲卵ノ減少シタルモノ	百分率	排蟲シテ蟲卵ノ減少シタルモノ	百分率	排蟲セザリシト雖モ蟲卵ノ減少シタルモノ	百分率
初一年	五九	一六	二七・一一	六	一〇・三三	〇	一六・九四
〃二年	五五	一二	二一・八一	五	九・〇九	七	一二・七二
〃三年	六二	一九	三〇・六四	五	八・〇六	一四	二二・五九

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

〃四年	六二	二二	三五・四八	七	一一・二九	一五	二四・一七
〃五年	五一	一二	三三・五二	四	七・八四	八	一五・六八
〃六年	五〇	一〇	二〇・〇〇	六	一二・〇〇	四	八・〇〇
高一年男	三五	五	一四・二七	—	—	五	一四・二八
〃二年男	二七	二	七・四〇	—	—	二	七・四〇
〃一、二年女	二八	六	一五・八〇	—	—	六	二一・四二
計	四二九	一〇四	二四・二四	三三	七・六九	七一	一六・五五

本檢査ニ於テ蟲卵減少シタルハ排蟲セシカ又ハ蛔蟲藥ノ作用ニテ產卵ノ減少シタルカハ不明ナリ

岡部國民學校蛔蟲驅除成績

昭和十八年五月十七日施行

本校驅蟲ニ際シテハ檢査結果蛔蟲卵保有者ニアバラヂン錠ヲ服用セシメ得タル成績ナリ

一、服用時間　午前十一時三十分

一、服用量　初一、二年　二錠

〃三、四年　三錠

〃五、六年　四錠

高等科一、二年　五錠

本劑服用及排蟲狀況調査ハ受持教員ニ於テナシタリ

記

學年別	服用人員	排蟲人員	百分率	排蟲數	一人平均排蟲數	一人最高排蟲數
初一年	三七	三〇	八一・〇八	八三	二・七六	一一
〃二年	四六	二五	五四・三四	一一六	四・六四	二七
〃三年	四〇	一八	四五・〇〇	六五	三・三五	一〇
〃四年	三九	一一	二八・二〇	一〇三	九・三六	二二
〃五年	四四	四	九・〇九	一六	四・〇〇	六
〃六年	三七	四	一〇・八一	五	一・二二	二
高一、二年男	三三	八	二四・二四	二九	三・六三	一八
〃一、二年女	三四	二四	七〇・五八	一七二	七・一六	二六
計	三一〇	一二四	四〇・〇〇	五八九	四・七五	—

岡部國民學校蛔蟲排蟲狀況調

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

六日以後調査セズ

相興國民學校蛔蟲驅除成績

昭和十八年五月十一日施行

本校ノ驅蟲ニ際シテハ檢査ノ結果蛔蟲卵保有者ニ**アバラヂン**錠ヲ服用セシメ得タル成績ナリ

一、服用時間　午前十一時三十分

學年別	第一日	第二日	第三日	第四日	第五日	計
初一年	二〇疋	一二疋	一四疋	一〇疋	一七疋	八三疋
〃二年	三三〃	三六〃	二四〃	一九〃	四〃	一一六〃
〃三年	二〇〃	一五〃	九〃	一〇〃	一一〃	六三〃
〃四年	三三〃	四二〃	一二〃	一四〃	二〃	一〇三〃
〃五年	二〃	三〃	一〃	二〃	八〃	一六〃
〃六年	二〃	一〃	二〃	—	—	五〃
高一、二年男	二〃	二三〃	二〃	—	二〃	二九〃
〃一、二年女	三六〃	六五〃	三五〃	二二〃	一四〃	一七二〃
計	一四八〃	二〇七〃	九九〃	七七〃	五八〃	五八九〃

一、服用量　初一、二年　二錠
〃三、四年　三錠
〃五、六年　四錠
高一、二年　五錠

本劑ノ服用及排蟲狀況等ノ調査ハ受持教員ガナシタリ

記

學年別	服用人員	排蟲人員	百分率	排蟲數	一人平均排蟲率	一人多數排蟲セルモノ
初一年	四五	三六	八〇・〇〇	一七五	四・八六	一五
〃二年	三〇	七	二三・三三	一四	二・〇〇	五
〃三年	三九	二五	六四・一〇	八六	三・四四	一〇
〃四年	五一	三二	六二・七四	九五	二・九七	七
〃五年	一四	六	一四・六二	一〇	一・六六	四
〃六年	四四	一五	二五・〇〇	二四	一・六〇	三
高一年	二三	一二	五二・一七	三二	二・六六	九
〃二年	三九	五	一二・八二	八	一・六〇	三
計	三一二	一三八	四四・二三	四四四	三・二一	—

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

相興國民學校排藏狀況調

學年別	第一日	第二日	第三日	第四日	第五日	計
昭和一一年	五三足	三五足	三六足	二五足	二六足	一七五足
〃 一二年	五〃	四〃	五〃	一〃	一〃	一四六〃
〃 一三年	一〇二〃	一五八〃	一四四〃	三一〃	一五〃	八六〃
〃 一四年	一五四〃	一三五〃	一三七足	一九三〃	一二〃	五五〃
〃 一五年	一二〃	一四三〃	一一七〃	二一〃	一四〃	二〇〃
〃 一六年	九〇〃	九七〃	一一九〃	八一〃	五七足	四四四〃
計						三二四〃

六日以後調査セズ

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

REPORT OF
ACTUAL USE OF
ANTHELMINTIC
"APPRASIN RIKEN"

YAMANASHI PREFECTURE

記

一、実施要領

(一) 対象

東京都（区制施行地区に限る）横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市及び福岡市所在の病院並びに全国結核療養所又は結核病棟、精神病院及び癩療養所とする。

(二) 実施期日

昭和二十三年三月一日から二月を実施する。

(三) 実施方法

各病院は入院患者の依託により配給物質の買入れを代行し病院の責任に於て之を調理の上病状に應じ其合理形態として患者に与へること。

配給物質の取扱調理の方法その他給食運用に亦たつては別冊「病院給食指針」を参照すること。

二、実施に伴う措置

(一) 病院給食を適正円滑に実施するため、各都道府縣に病院給食委員會を設けること。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

記

一、実施要領

(一) 対象

東京都(区制施行地区に限る)横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市及び福岡市所在の病院並びに全国結核療養所又は結核病棟、精神病院及び癩療養所とする。

(二) 実施期日

昭和二十三年三月一日からこれを実施する。

(三) 実施方法

各病院は入院患者の依託により配給物質の買入れを代行し病院の責任に於て之を調理の上病状に應じた食事形態として患者に与へること。

配給物質の取扱調理の方法その他給食運用に亦たつては別冊「病院給食指針」を参照すること。

二、実施に伴う措置

(一) 病院給食を適正円滑に実施するため、各都道府縣に病院給食委員会を設けること。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

三 報告

(一) 病院は給食月報(別紙第一号様式)を翌五日までに都道府縣知事に提出すること。

(二) 都道府縣知事は給食月報總括表(別紙第二号様式)を翌月十五日までに厚生省公衆保健局長に提出すること。

四、実施上の注意

(一) 調理は栄養的か一衛生的に行い栄養障害又は中毒事件等が発生しないやう充分注意すること。

(二) 調理は特に防蠅洗槽及び排水設備を整え調理台、配膳台、食器其の他器具の清潔を保つこと。

(三) 物質の保管は厳重にし盗難、火風害、汚損等のことがない様に注意すること。

(四) 各病院は物質出納簿を備え常に其の出納を明確にしておくこと。

(五) 都道府縣知事は常に病院及び病院給食組合の事務を査察し物質の横流し其の他不正が行は水ない様に充分な指導監督を行うこと。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

までに厚生省公衆保健局長に提出すること。

四、実施上の注意

(一) 調理は栄養的か一衛生的に行い栄養障害又は中毒事件等が発生しないやう充分注意すること。

(二) 調理は特に防蠅洗槽及び排水設備を整え調理台、配膳台、食器其の他器具の清潔を保つこと。

(三) 物質の保管は嚴重にし盗難、水風害、汚損等のことがない様に注意すること。

(四) 各病院は物質出納簿を備え常に其の出納を明確にしておくこと。

(五) 都道府縣知事は常に病院及び病院給食組合の事務を査察し物資の横流し其の他不正が行はれない様に充分万指導監督を行うこと。

(六) 病院給食に関する事務は栄養主務課に於てこれを主管し指導の統一と徹底を期すること。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

様式オ-号

(オ一表)

病院給食食品量　病院名

期　日　常食延人員(1ヶ月)　軟食延人員(1ヶ月)　流動食延人員(1ヶ月)　合計(1ヶ月)

食品群別		使用量(1ヶ月)				1日1人当使用量				入荷量		
		流動食	軟食	常食	合計	流動食	軟食	常食	平均	持越	入荷	残量
1 穀類	米											
	大麦											
	小麦(粉含)											
	雑穀											
2	堅果類											
3 諸薯類	甘藷											
	馬鈴薯											
	その他芋類											
4	砂糖類											
5	油脂類											
6 豆類	大豆											
	大豆製品											
	その他豆類											
7	魚介類											
8	獣鳥肉類											
9	卵類											

食品群別	使用量(1ヶ月)	1日1人当使用量	入荷量
10 牛乳			
11	野菜類		
12	果物類		
13	きのこ類		
14	海藻類		
15	菓子類		
16	し好飲料類		
17	調味料類		